

CF2-512-H2



1200600091173

6710

14

No. 14



佛國商船紀律刑罰法並
之ニ關スル土木省訓令

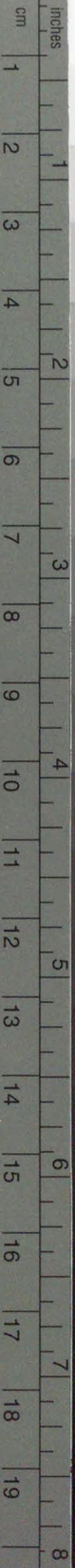
遞信省管船局

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

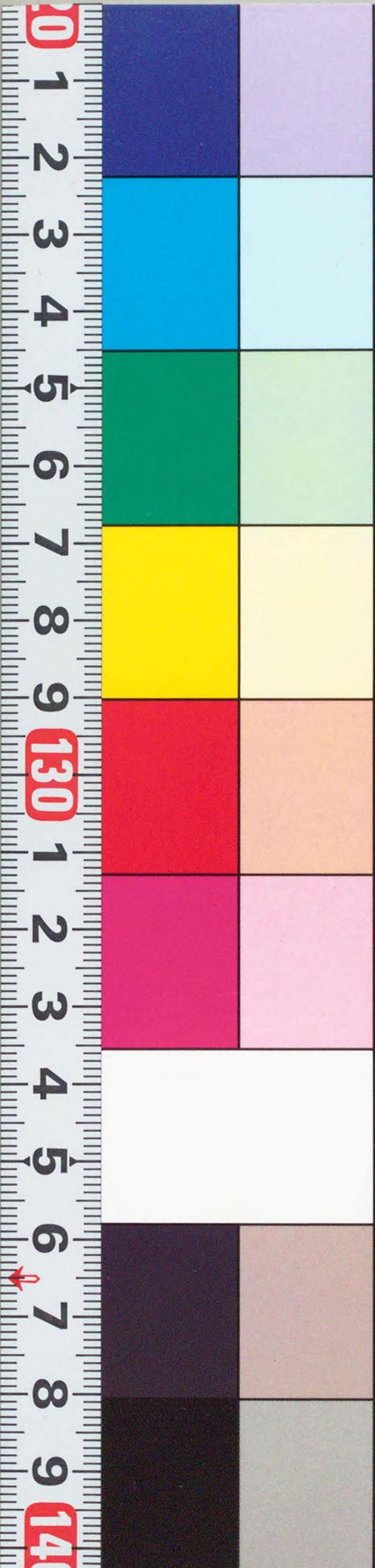
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



CF2
512
H2

緒言

本書ヲ印刷ニ附シタルハ閱覽及執務ノ便宜上筆寫
ニ代ヘタルニ止マリテ敢テ公刊スルノ趣旨ニアラ
ス

遞信省管船局海員課



I種
W



1200600091173

CF2
512
H2

海軍省官制規則

ニ升ヘスハニ由マリテ類テ公財スルハ、應旨ニマテ
本書ヲ印刷ニ關シタルハ、關費又増徴セ、便宜トテ、

前 言

目 次

○一九二六年十二月十七日附商船紀律刑罰法

第一編 總 則……………一

第二編 紀律上ノ過失……………五

第一章 總 則……………五

第二章 輕微ナル紀律上ノ過失……………六

第三章 重大ナル紀律上ノ過失……………九

第三編 海上輕罪並重罪……………一六

第一章 管轄並手續……………一六

第二章 不正當不在及職務ノ拋棄……………二四

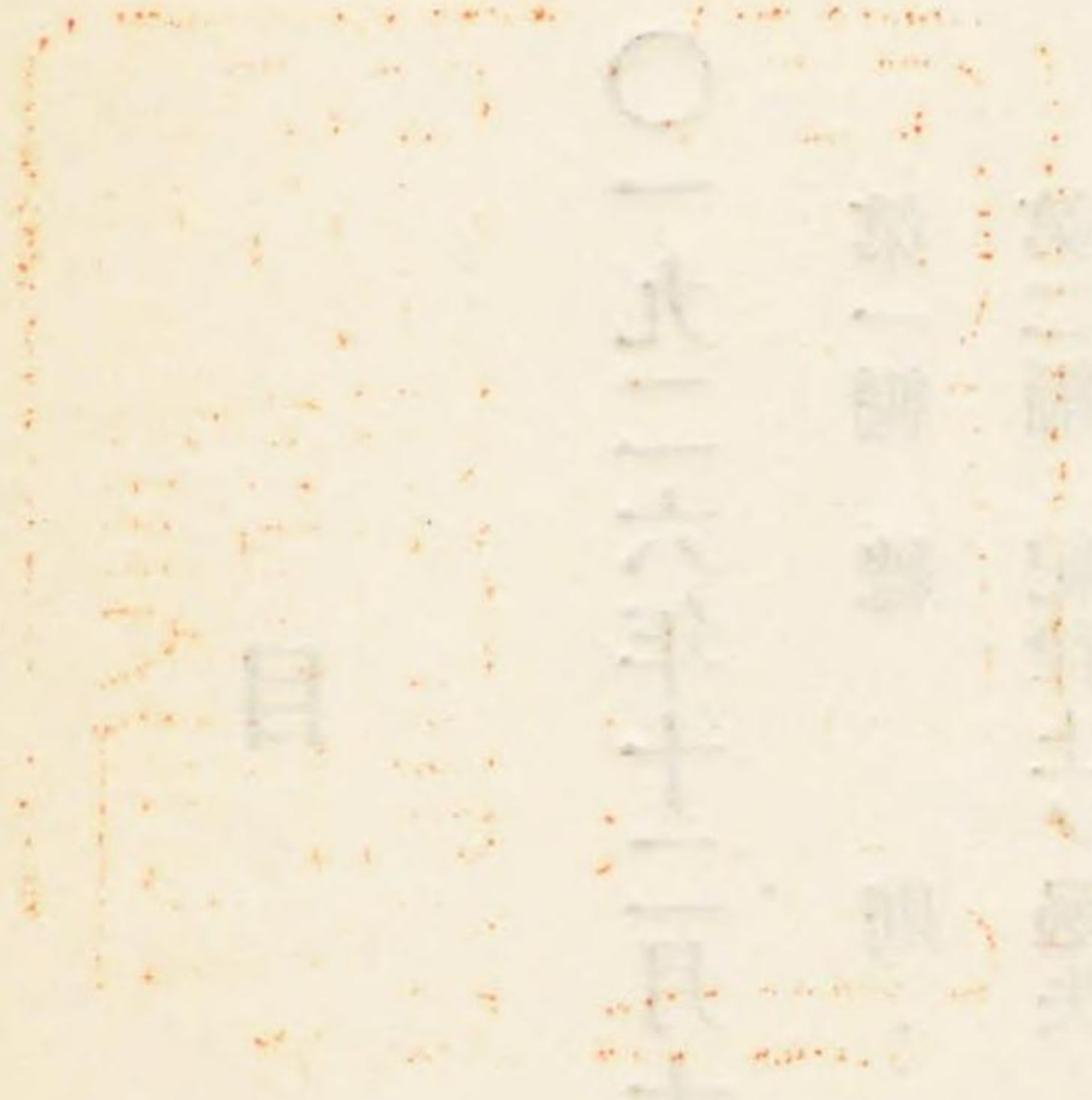
第三章 船内取締ニ關スル重罪及輕罪……………二四

第四章 航海取締ニ關スル輕罪……………三〇

第五章 船舶ノ喪失、衝突、坐礁其ノ他ノ航海事故……………三五

○一九二六年十二月十七日附商船紀律刑罰法適用ノ爲ノ
 一九二七年三月三十日附土木省訓令

三九
 四一
 四一
 四一
 四一
 四一



○一九二六年十二月十七日附商船紀律刑罰法

第一編

總

則

第一條 左ニ掲クル者ハ船舶ノ存在スル場所ノ如何ヲ問ハス本法ノ總テノ規定ニ從フモノトス但シ海軍軍事裁判法ニ依リ別ニ定メラルル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 佛蘭西又ハ「アルゼリヤ」ニ於テ登録セラレ且其ノ地ニ船籍港ヲ有スル軍艦以外ノ佛國船舶ノ船員名簿ニ登録セラルル者ハ其ノ國籍ノ如何ヲ問ハス正式ノ乗船ノ日ヨリ正式ノ下船ノ日迄（下船ノ日ヲ含ム）

二 所謂旅客トシテ又ハ航海ヲ行フタメニ事實上前號ニ掲クル船内ニ在ル者ハ其ノ國籍ノ如何ヲ問ハス船内ニ在ル全期間

遭難若ハ正當ノ理由ニ依ラスシテ不在シ又ハ遺棄セラレタル乗組員及臨時船員ニシテ送還ノ爲メ乗船セシメラレタル者ハ引續キ本令ノ規定ニ從フ但シ船舶喪失ノ場合ハ右ノ者カ佛國官憲又ハ地方外國官憲ニ引渡サルル迄トス
 其ノ他ノ乗船者ニシテ乗組員タルノ身分ヲ要求スルトキ亦同シ

本條第一項第一號ニ掲ケタル船舶ニ乗船スル陸海軍軍人ハ其ノ名義ノ如何ヲ問ハス本法ニ定ムル凡テノ輕罪又ハ重罪ニ關シ前數項ノ規定ニ拘ハラズ陸軍又ハ海軍軍法會議ノ管轄ニ屬スルモノトス前項ニ規定スル輕罪又ハ重罪ノ調査及檢證ニ關シ執ルヘキ手續並本法ニ定ムル紀律上ノ過失ノ懲罰條件ハ之等ノ犯罪及過失カ陸海軍軍人ニ依リ犯サレタル場合ニ於テハ海軍大臣、陸軍大臣、海軍大臣及殖民大臣ノ副署スル命令ニ依リ之ヲ定ム

第二條 本法諸規定ノ適用ニ際シ

「船長」(Capitaine) トハ船長 (Capitaine) 又ハ小船長 (patron) 又之ヲ缺ク場合ニ於テハ事實上正當ニ船舶ノ指揮權ヲ行使スル者ヲ謂フ

「士官」(Officier) トハ一等運轉士 (second) 甲板部士官 (lieutenant) 機關長 (chef mécanicien) 當直主任タル機關士 (mécanicien chef de quart) 士官ノ階級ニ在ル無線電信技士、事務員、醫師、見習士官トシテ乗船セル甲板部實習生免狀又ハ機關部實習生免狀ヲ有スル海員其ノ他船員名簿ニ士官トシテ登録セララルル凡テノ者ヲ謂フ

「下士官」(matre) トハ水夫長、火夫長又ハ之ト同視スヘキ者、士官ノ階級ニ在ラサル無線電信技士其ノ他船員名簿ニ勤務ノ頭又ハ主任トシテ登録セララルル凡テノ者ヲ謂フ

「船員」(homme d'équipage) トハ右ノ外其ノ男女ノ性ノ如何ヲ問ハス甲板部勤務、機關部勤務又

ハ事務部勤務トシテ船員名簿ニ登録セララルル凡テノ乗組員ヲ謂フ

「旅客」(passager) トハ所謂船客又ハ航海ヲ行フタメ實際ニ船内ニ在ル凡テノ者ヲ謂フ

「乗船者」(personnes embarquées) トハ第一條第一項(一)及(二)ニ掲ケタル者ノ凡テヲ謂フ

「海事登録官」(d'administrateur de l'inscription maritime) トハ佛蘭西及「アルゼリヤ」ニ於テハ海事登録事務ヲ擔任スル官吏、佛國殖民地及保護國ニ於テハ海事登録又ハ航海警察ヲ擔任スル官吏、外國港灣ニ於テハ代理領事以外ノ佛蘭西領事官憲ヲ謂フ

「船舶」(bord) トハ船舶、其ノ端艇及其ノ陸上トノ一定ノ交通設備ヲ謂フ

第三條 本法第三編ニ定ムル重罪及輕罪ニ關シテハ公訴權、刑ノ執行及私訴權ノ時効ノ期間ハ普通法ニ從ヒ定メラル

本法第二編第三章ニ定メララルル紀律ニ對スル重大ナル過失ニ關シテハ刑罰ヲ宣告セララルヘキ期間ノ執行セララルヘキ刑並提起セララルヘキ私訴權ハ一般警察ノ違警罪ニ付定メララルル所ニ同シ前項ニ定メタル期間ハ過失ノ行ハレタル後船舶カ佛蘭西又ハ「アルゼリヤ」ノ港ニ到着シタル日ヨリ之ヲ起算ス

第四條 本法第十九條、第二十八條及三十條ノ條件ニ依リ其ノ自由ヲ剝奪セララルル者ハ刑法第二十三條及第二十四條ニ掲ケラルル規定ノ適用ニ關シテハ凡テ未決拘留ニ在ルモノト看做ス

第五條 刑法第四百六十三條ノ規定ハ本法ニ定メラルル重罪及輕罪ニ適用セラレ

第六條 刑ノ執行猶豫ニ關スル一八九一年三月二十六日附法律ハ左ニ掲クル留保ノ下ニ本法ニ依リ宣告セララル禁錮又ハ罰金刑ニ適用セラレ

普通法ニ依ル重罪又ハ輕罪トシテ宣告セラレタル刑ニシテ猶豫ノ目的トナルカ如キ場合ニ於テハ本法ニ依リ輕罪トシテ五ケ年ノ期間内ニ於テ科セラレタル刑ハ第四十九條、第五十條、第五十一條(二)、第五十三條、第五十八條、第七十三條及第七十四條(五)ニ定メラルル輕罪ニ關スルモノニ限リ受刑人ニ對シ執行猶豫ノ特典ヲ失ハシムヘシ

本法第三十九條乃至第四十二條、第四十五條、第四十六條、第五十一條(一)、第五十二條、第五十四條乃至第五十七條、第五十九條、第六十二條乃至第六十七條、第七十條、第七十一條、第七十四條(一)及(三)乃至第七十八條、第八十條乃至第八十五條及第八十七條ニ依リ定メラルル輕罪トシテ宣告セラレタル以前ノ刑ハ之ヲ受ケタル者カ普通法ニ依ル重罪又ハ輕罪トシテ刑ノ言渡ヲ受ケタル場合ニ於テハ猶豫取得ノ障害ヲナササルモノトス

第七條 被告カ外國ニ於テ確定判決ヲ受ケタルトキハ本法ノ規定ノ適用ニ際シ同一事件ニツキ何等訴追セララルコトナシ但シ處刑セラレタル場合ハ其ノ刑ヲ受ケタルカ、時効ニカカリタルカ又ハ特赦ヲ得タルコトヲ條件トス

第二編 紀律上ノ過失

第一章 總 則

第八條 船長ハ共同ノ利益ノタメ其ノ原因ノ如何ヲ問ハス且其ノ必要ノ程度ニ應シ船内ニ於ケル凡テノ者ニ對シ秩序維持、船舶、乗船者又ハ貨物ノ安全及其ノ引受ケタル輸送ノ有利ナル實行上必要ナル權限ヲ有ス

船長ハ右目的ノタメ有效ナル凡ユル強制的手段ヲ用フルコトヲ得又乗船者ニ對シ助力ヲ要求スルコトヲ得船長ノ執リタル手段及斯ル手段ヲ執ラシムルニ至リタル事情ハ以下第九條ニ定ムル紀律簿(livre de discipline)ニ毎日記入スルコトヲ要ス

其ノ自由ヲ剝奪セラレタル者ハ紀律簿ニ定メララル不可能ノ場合ヲ除キ一日ノ内少クトモ二回毎回一時間宛甲板上ニ出タサルコトヲ要ス

第九條 「紀律簿」(livre de discipline)ト稱スル特別帳簿ハ船舶ノ艙裝ニ際シ艙裝港ノ海事登録官ニ依リ船長ニ交付セラレ

船長又ハ海事登録官ハ必要ニ應シ右紀律簿ニ紀律上ノ過失ノ性質、船内ニ於テ行ハレタル重罪又

ハ輕罪ノ事情、以下第十一條、第十八條及第二十八條ニ從ヒ行ハレタル調査ノ結果課セラレタル刑罰及第八條ノ實施上命令セラレタル手段ヲ記入スルモノトス

紀律簿ハ最近ノ出港ト着港又ハ寄港トノ間ノ期間内ニ紀律上ノ過失、輕罪又ハ重罪カ行ハレタル凡テノ場合ニ於テ海事登錄官ノ查證ヲ得ルタメ之ヲ提出スルコトヲ要スルモノトス

紀律簿ハ船舶ノ艤裝解除ノ際ハ船長ヨリ艤裝解除港ノ海事登錄官ニ委託セラル

局地沿海航路船及大漁業船又ハ常ニ七十二時間以上海上ニ出航スル總噸數二十五噸以上ノ漁船ヲ除ク漁業船ハ紀律簿ノ備付ヲ強制セラルルコトナシ之等ノ船舶ニ對シテハ各海事登錄官ハ共通ノ紀律簿ヲ備ヘ之ニ船舶着港後二日以内ニ船長ノ陳述ニ基キ本條第二項ニ定ムル記入ヲ行フ

又各海事登錄官ハ本條第五項ニ掲クル船舶以外ノ船舶ニ關シ「刑罰簿」(Livre de punitions)ト稱スル特別簿ヲ備フ右帳簿ニハ本法第十七條及第二百七十一條(第四項)ノ條件ニ於テ海事登錄官ニ依リ課セララルル刑罰ヲ記入ス

第二章 輕微ナル紀律上ノ過失

第十條 左記各號ノ一ニ該當スルモノハ輕微ナル紀律上ノ過失ト看做サレ第十二條ニ定メララルル刑ノ一ニ處セラル

- 一 立會人ノ面前ニ於テ上長ノ爲シタル正式ノ督促ニ依ル勤務上ノ凡テノ命令ニ對シ抵抗セサルモ單純ナル不柔順ヲ示シタルトキ
 - 二 第三十六條ニ定ムルモノヲ除キ粗暴ヲ伴ハサル且勤務外ニ於ケル船内ノ酩酊
 - 三 服務中ニアラサル海員又ハ船舶勤務カ港内勤務規定ニ從ヒ組織セラルトキハ監視又ハ保安以外ノ職務ニ當テラレタル海員カ本國港内ニ於テ四時間以内正當ノ理由ナクシテ船内ニ在ラサルトキ
 - 四 暴力ヲ伴ハサル喧嘩爭論
 - 五 其ノ他第十四條ニ特記セラレサル凡テノ過失
- 第十一條 船長ニシテ輕微ナル紀律上ノ過失ヲ發見セルトキハ二十四時間以内ニ關係者ヲ別室ニ出頭セシムヘシ

船長ハ問責スヘキ事件ニ關シ關係者ヲ訊問シ且有罪ヲ證明スル爲ノ證人ト無罪ヲ主張スル證人トヲ審問スヘシ

若シ關係者ノ辯明ニシテ其ノ冤ヲ雪クカ如キ性質ヲ有セサルトキハ船長ハ同人ニ對シ其ノ過失ニ對スル陳謝ヲ要求ス

船長ハ關係者ノ陳謝ヲ斟酌シ第十二條ニ定メララルル刑罰ノ一ヲ宣告スルコトヲ得

船長ハ直チニ右違反ノ性質、證人ノ氏名及陳述、關係者ノ辯明及場合ニ依リ陳謝並之ニ課シタル刑

罰ヲ紀律簿ニ記入ス次ニ船長ハ右記述ヲ關係者ニ讀ミ聞カセ且署名ヲ要求シ之ヲ拒否シタルトキハ其ノ旨ヲ記入ス

第十二條 船長ハ第十條ニ掲ケラルル場合ニ於テ左ノ刑罰ノ一ヲ課スルコトヲ得

一 戒飾

二 譴責

三 二日以内ノ拘留、但シ士官、下士官又ハ船員タルノ勤務ヲ繼續セシム

第十三條 拘留ニ處セラレタル私室ヲ有スル士官又ハ下士官及船室ヲ有スル乗客ハ室ヲ離ルヘキ相當ノ理由ナキトキ及食事時間ノ外及士官下士官ノ勤務時間ヲ除キ其ノ室内ニ留マルコトヲ要ス但シ監禁セララルコトナシ

拘留ニ處セラレタル私室ヲ有セサル下士官又ハ船員ハ室ヲ離ルヘキ相當ノ理由ナキトキ又ハ食事時間及勤務時間ヲ除キ懲戒室ニ留マルコトヲ要ス但シ監禁セララルコトナシ懲戒室ノ場所、設備及家具ハ一九〇七年四月十七日附法律ニ依リ定メラルル檢閲委員ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス又懲戒室ハ船内ノ構造ノ許ス限リ下士官及船員ノ寢室ト隔離スルコトヲ要ス
拘留ニ處セラレタル士官、下士官、船員又ハ船室ヲ有スル乗客ハ一日二回以上毎回一時間宛甲板上ニ出ツルコトヲ許可セララルコトヲ要ス

船室ヲ有スル乗客以外ノ船客ニシテ拘留ニ處セラレタルトキハ一日二時間ノ外甲板ニ出ツル權利ヲ剝奪セララル
拘留ノ刑ハ海上又ハ寄港地ニ於テノミ之ヲ受ク右刑罰ハ關係者ノ下船又ハ上陸ト共ニ當然終了ス

第三章 重大ナル紀律上ノ過失

第十四條 左記各號ノ一ニ該當スルモノハ重大ナル紀律上ノ過失ト看做サレ第十五條ニ定メラルル刑罰ノ一ニ處セララル

- 一 乗船者カ同一乗船期間内ニ再度行ヒタル紀律上ノ輕微ナル過失但シ關係者カ士官、下士官又ハ船客ナルトキハ二ヶ月以内ニ、船員ナルトキハ一ヶ月以内ニ既ニ第十二條ニ定メラルル懲戒ノ一ニ處セラレタル場合トス
- 二 第五十九條ニ定メラルル場合ヲ除キ上長ノ正式ノ督促アリタル後凡テノ勤務上ノ命令ニ對スル服從ノ拒絶又ハ抵抗
- 三 第五十六條ニ定メラルル場合ヲ除キ粗暴ヲ伴フ船内ニ於ケル酩酊
- 四 上長ニ對スル尊敬ノ缺如又ハ部下ニ直接與フル侮辱

- 五 當直又ハ監視勤務中ノ怠慢、特ニ機關勤務又ハ設備監視中舵輪、見張又ハ支錨ニ在ル際睡眠セ
ルコト
- 六 許可ナクシテ點火セルコト又ハ禁煙ノ場所ニ於テ喫煙セルコト
- 七 喪失、毀損又ハ破棄セサルモ許可ナクシテ船舶ノ端艇ヲ使用セルコト
- 八 第十條第三項ニ定メラルル條件ニ於テ不在セル海員ニシテ其ノ不在四時間ヲ超過スルトキ又ハ
監視又ハ保安ノ職務ニ當テラレシ海員ニシテ其ノ不在カ損害ヲ惹起セシムルカ如キ性質ノモノナ
ラサルトキ又ハ船舶ノ勤務カ當直勤務規定ニ從ヒ組織セラルルトキハ監視又ハ保安以外ノ職務ニ
當テラレタル海員カ本國港内ニ於テ正當ノ理由ナクシテ船内ニ在ラサル場合
- 九 服務中ナラサル海員カ船内ニ在ラサルモ船内ニ於テ該勤務ヲ再ヒ行フコトヲ妨クル如キ結果ヲ
來タササル場合ニシテ本國港以外ニ於テ正當ノ理由ナクシテ船内ニ在ラサル場合
- 十 盜取又ハ詐取ニシテ其ノ重要性カ船長又ハ海事登錄官ニ依リ竊盜トシテノ留置ヲ正當ナラシメ
サル如キ場合
- 十一 第五十二條ニ定メラルル場合ヲ除キ物品ヲ故意ニ毀損スルコト
- 十二 拘留ニ處セラレタル士官、下士官、船員又ハ船室ヲ有スル乗客カ其ノ室又ハ懲戒室ヲ不當ニ離
ルルコト又ハ拘留ニ處セラレタル船室ヲ有スル乗客以外ノ船客カ一日ニ二時間以上甲板ニ出ツル

コトノ禁止ニ服従スルコトヲ拒絶スルコト

第十五條 第六十二條ニ定メラルルモノヲ除キ凡テノ重大ナル紀律上ノ過失ハ左ノ刑罰ノ一ニ處セ

ラル

イ、士官ニ對シ

- 一 第十三條ニ定メラルル處ニ從ヒ科セラルル三日乃至十日間ノ拘留
- 二 二十法乃至二百法ノ罰金
- 三 五日間以内ノ紀律的禁錮

士官ニシテ同一乗船期間中ニ於テ二ヶ月以内ニ第二ノ重大ナル過失ヲ犯シ又ハ第三若ハ爾後ノ重大
ナル過失ヲ犯シタル場合ハ紀律的禁錮ノ刑ハ之ヲ十日ニ延長スルコトヲ得

ロ、下士官及船員ニ對シ

- 一 第十三條ニ定メラルル處ニ從ヒ科セラルル三日乃至十日間ノ拘留
- 二 五法乃至五十法ノ罰金
- 三 五日間以内ノ紀律的禁錮

下士官又ハ船員ニシテ同一乗船期間中ニ於テ一ヶ月以内ニ第二ノ重大ナル過失ヲ犯シ又ハ第三若ハ
爾後ノ重大ナル過失ヲ犯シタル場合ハ紀律的禁錮ノ刑ハ之ヲ十日ニ延長スルコトヲ得

第十三條ニ定メラルル處ニ從ヒ科セラルル三日乃至十日間ノ禁錮
前記イ及ロ項ニ定メラルル罰金ハ紀律名義ニ於テ宣告セラレ關係者ノ俸給ヨリ控除シテ徵收シ之ヲ
海員救濟基金ニ拂込ムモノトス

第十六條 紀律的禁錮ニ處セラレタル者ハ其ノ禁錮期間中ノ俸給ニ對スル權利ヲ失フ
紀律的禁錮ハ佛蘭西又ハ「アルゼリヤ」ノ港内ニ於テハ陸上ニ於テ普通法ノ重罪又ハ輕罪ニ依ル罪
人ニ對スル設備ヨリ隔離シ且士官ニ對スルト見習水夫又ハ少年水夫ニ對スルト別個ノ設備ニ於テノ
ミ之ヲ科セラルルモノトス

第十七條 重大ナル紀律上ノ過失ヲ審理スル權利ハ左ノ者ニ賦與セラル
佛蘭西「アルゼリヤ」、殖民地及保護國ニ於テハ海事登錄官

外國ニ於テハ該地ニ在ル國有船舶ノ指揮官、右指揮官ナキトキハ代理領事ヲ除ク佛國領事官

第十八條 船長ニシテ重大ナル紀律上ノ過失ヲ發見シタルトキハ直チニ調査ヲ行フヘシ
船長ハ其ノ事件ニ關シ關係者ヲ訊問シ有罪ヲ證明スル爲メ證人ト無罪ヲ主張スル證人ヲ審問スヘシ
調査ノ結果ハ調書ニ記入シ證人ヲシテ署名セシム右調書ハ該違反ノ性質、證人ノ氏名陳述並關係者
ノ辯解ヲ含ムモノニシテ之ヲ關係者ニ讀ミ聞カセタル後紀律簿ニ轉載ス

第十九條 佛國官憲ノ存在セサル海上又ハ港内ニ於テハ船長ハ第十八條ニ定メラルル調査ヲ行ヒタル
後士官、下士官又ハ船員ニ對シテハ勤務ヲ繼續セシメ又ハ之ヲ繼續セシムルコトナク拘留一日乃至
四日ノ刑ヲ被告人ニ科スルコトヲ得右ハ第八條並第十三條ニ定メラルル處ニ從ヒ行ハル
前項ノ條件ニ於テ船長ニ依リ宣告セラレタル拘留ノ未決期間ハ其ノ後海事登錄官ニ依リ關係者ニ科
セラレ得ヘキ拘留又ハ紀律禁錮ノ刑ノ期間ヨリ全部控除セラルルコトヲ要ス
拘留ニ處セラレタル士官、下士官又ハ船員ニシテ勤務ヲ繼續セサリシ場合ハ其ノ刑期中ノ俸給ニ對
スル凡テノ權利ヲ失フ

第二十條 船長ハ其ノ訴、調書並調査書類ヲ船舶ノ寄港シタル最初ノ港ノ海事登錄官ニ提出スヘシ該
寄港地カ外國港ナルトキハ第十七條ニ定メラルル如ク同地ニ在ル國有船舶ノ指揮官ニ、該指揮官ナ
キトキハ領事官ニ之ヲ提出スヘシ

第二十一條 審理ノ資格ヲ有スル官憲ニシテ船長ヨリ重大ナル紀律上ノ過失ニ關スル訴ヲ受ケタルト
キハ直チニ關係者、船長及有罪ヲ證明スル證人ト無罪ヲ主張スル證人ヲ召喚スヘシ
事件ヲ受理シタル官憲ハ其ノ事件ニ關シ關係者ヲ訊問シ且船長及證人ヲ審問スヘシ
若シ關係者ノ辯明ニシテ其ノ冤ヲ雪クカ如キ性質ヲ有セサルトキハ該官憲ハ第十五條ニ定メラルル
刑罰ノ一ヲ關係者ニ科ス刑罰ハ船舶ノ紀律簿ニ記入セララル又場合ニ依リ諸刑罰ヲ正當ナラシムル

理由ト共ニ登録區ノ刑罰簿ニ記入セラルル關係者ハ其ノ選定ニ依ル辯護人ニ依リ援助セラルルコトヲ得若シ事件ヲ受理シタル官憲ニシテ船長ノ訴ヘ出テシ違反カ第十條ニ定メラルル輕微ナル紀律上ノ過失ノ種類ニ屬スルモノト判定シタルトキハ該官憲ハ第十二條ニ定メラルル刑罰ノ一ヲ關係者ニ科ス

第二十二條 佛蘭西及「アルゼリヤ」ニ於テハ紀律事項ニ關スル海事登録官ノ判決ニ對シ被告ノ提起スル上訴ハ全二日ノ期間内ニ該海事登録官ノ屬スル海事登録局長ニ之ヲナスヘシ海事登録局長ハ直チニ海事登録官ノ説明、被告ノ辯明並其ノ必要ト認ムル凡テノ補足的證據ヲ徴シ然ル後理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ判決スヘシ

佛蘭西及「アルゼリヤ」以外ノ地ニ於テハ上訴ハ海運大臣ニ對シ直接提起セラル該大臣ハ前項ニ定メラルル處ニ從ヒ之ヲ決定スヘシ

本條第一項及第二項ノ適用ニ依リ提起セラルル上訴ハ刑ノ執行ヲ停止スルノ效力ヲ有セス

海運大臣及海事登録局長ノ判決ハ越權行爲ニ對シ參事院ニ之ヲ上訴スルコトヲ得

第二十三條 海運大臣ハ名譽ニ對スル過失、職務執行上ノ重大ナル過失又ハ身體上ノ無能力ニ關シ免狀又ハ證書ヲ受有スル海員ニ對シテ刑罰カ體刑又ハ加辱刑ニ決定シタルトキハ直接ニ、其ノ他ノ凡テノ場合ニ於テハ關係者ノ利益ニ於テノミ修正セラレ得ヘキ調査委員會ノ意見ニ基キ、關係者ノ受

有スル免狀又ハ證書ノ性質ニ屬スル權利及特權ノ一時的又ハ決定的或ハ部分的又ハ全體の停止ヲ宣告スルコトヲ得

甚タシキ肉體の無能力、體刑又ハ加辱刑ニ依ル刑罰、關係者ノ過失ニ依ル船舶ノ全損、既ニ本條第一項ニ定メラルル制裁ヲ受ケタル海員ノ其ノ後ニ於ケル調査委員會ヘノ移付等ノ場合ニ於テハ停止ハ決定的タルコトヲ得其ノ他凡テノ場合ニ於テハ停止ハ一時的トシテ三ケ年以上宣言セラルルコトナシ本法又ハ一九〇七年四月十七日附法律ニ依リ定メラルル輕罪トシテ刑罰カ決定セラルル場合海運大臣ハ場合ニ依リ既ニ普通法ノ裁判所ニ依リ被告ニ對シ宣告セラレタル刑トハ別ニ之ニ紀律刑ヲ科スルタメ被告ヲ調査委員會ニ移付スルコトヲ決定ス

調査委員會ハ左ノ者ヨリ成ル

會長トシテ海事登録官長又ハ主席登録官一名

海事登録官團體ノ上級職員一名

遠洋航路船長一名 右資格ニテ少ク共四ケ年間指揮ヲ行ヒタル者

訴訟ノ目的トナレル免狀ト同種免狀受有者二名右資格ニテ四年間職務ニ從事シタル者

當該免狀受有者ニシテ遠洋航路船長ナルトキハ遠洋航路船長一名ハ營業鑑札ヲ有スル船舶艙裝者又ハ前船舶艙裝者ヲ以テ之ニ代フ

調査委員會ノ組織及權限並判決ノ執行方法ニ關スル規定ハ命令ニ依リ定メラルヘシ
調査委員會ニ移付セラレタル凡テノ免狀又ハ證書受有海員ハ之カタメ同人ニ對シ判決セラルル迄其
ノ免狀又ハ證書ノ性質ニ屬スル權利及特權ノ行使ヲ失フ然レ共海運大臣ハ調査委員會ノ意見ヲ待ツ
間特別ノ命令ニ依リ關係者ヲシテ一時的ニ其ノ有スル權利又ハ特權ノ一部分的又ハ全部的行使ヲ繼續
セシムルコトヲ得

第二十四條 海運大臣ハ職務執行上ノ重大ナル過失又ハ肉體上ノ無能力ニ關シ凡テノ者ニ對シ或ハ決
定的ニ或ハ一時的ニ關係者ノ職務上又ハ肉體上ノ無能力ト兩立シ得サル如キ船内ノ凡テノ職務ノ執
行ヲ禁止スルコトヲ得

右禁止ハ關係者ノ審問セラルル對審的調査ヲ經タル後宣告セラル

第三編 海上輕罪並重罪

第一章 管轄並手續

第二十五條 第一條ニ掲ケラルル佛國船舶内ニ於テ行ハレシ重罪並ニ輕罪ノ審理ハ普通法ノ裁判權ノ
管轄ニ屬ス

第一條第一項第一號ニ掲ケラルル船舶乗組員タル個人ニ關シテハ召喚狀、手續書類及判決ハ印紙ヲ
免除セラレ無料ニテ登記セラルル召喚狀ハ海員總代、海上監視人、漁業監督官又ハ海軍憲兵ニ依リ無
料ニテ作成且交付セラル又判決ハ當事者ノ氏名及判決主文ヨリ成ル單ナル抄本ニ依リ送達セラル右
ノ送達ハ抗告、控訴又ハ大審院ニ對スル上訴ノ期間進行セシムルモノトス
本法ニ依リ定メラルル重罪又ハ輕罪ニ對スル凡テノ處罰ハ被告ノ登録又ハ在籍區ノ海事登録官ニ提
出スヘキ判決又ハ裁定ノ抄本ノ作成ヲ必要ナラシム

第二十六條 船内ニ於テ行ハレタル重罪又ハ輕罪ハ凡テノ關係者ノ訴ニ基キ又ハ左ノ者ニ依リ職權ヲ
以テ之ヲ調査及檢證ス

一 司法警察官

二 海事登録官、國有ノ船舶又ハ短艇ヲ指揮スル士官又ハ下士、航海監督官、海員總代、海上監視
人、海上漁業監督官、海軍憲兵尙第七十八條ニ定メラルル輕罪ニ關シテハ稅關官吏

三 重罪又ハ輕罪ノ行ハレタル船舶ノ船長

第二十七條 第二十六條第二號ニ列舉セル士官及官吏ニ依リ作成セラレ且正當ニ署名セラレタル調書
ハ反證ノアル迄之ヲ信スルニ足ルモノト認メラル右調書ハ確認ヲ要セス

國有船舶及短艇ヲ指揮スル士官又ハ下士ニ依リ作成セラレタル調書ハ右ノ者ノ滞在セル區域内ノ海

事登録官ニ移付セラレ右ニ支障アル場合ハ該士官又ハ下士ノ接觸シ得ル最初ノ海事登録官ニ移付セラレ

航海監督官、海員總代、海上監視人、漁業監督官、海軍憲兵又ハ税關吏ニ依リ作成セラルル調書ハ順序ヲ經テ其ノ勤務セル地方ノ海事登録官ニ移付セラル

第二十八條 船長ニシテ船内ニ重罪又ハ輕罪ノ行ハレタルコトヲ發見シタルトキハ刑事訴訟法第三十二條、第三十三條、第三十五條乃至第三十九條、第四十三條及第四十四條ニ從ヒ豫備的調査ヲ行フヘシ重罪又ハ輕罪ノ事情並豫備的調査ノ調書ノ記述ハ之ヲ紀律簿ニ記入スヘシ

必要ナル場合ハ船長ハ豫防ノタメ被告ヲ逮捕セシムルコトヲ得未決禁錮ハ第六條第二項及第三項ノ規定ニ從フモノトス刑期ニ未決拘留期間ヲ算入スルコトハ管轄裁判權ノ反對ノ決定ナキ限り當然ノコトトス

第二十九條 船長ハ其ノ訴及豫備的調査書類ヲ船舶ノ寄港スル最初ノ港ノ海事登録官ニ提出スヘシ

第三十條 佛蘭西、「アルゼリヤ」、佛國殖民地又ハ保護國以外ノ地ニ於テハ海事登録官ハ船長又ハ第二

十六條第一項第二號ニ列舉セラルル士官又ハ官吏ノ一ニ依リ訴ヲ受ケ又ハ職權ニ依リ活動シ必要ニ應シ第二十八條ニ基キ船長ノ行ヒタル調査ヲ補足スヘク又海事登録官ニシテ違反ヲ發見シタルトキ

ハ刑事訴訟法第三十二條、第三十三條、第三十五條乃至第三十九條、第四十三條及第四十四條ニ從ヒ

豫備的調査ヲ行フ然ル後次ニ定ムル條件ニ於テ判決スヘシ

船舶カ遠カラス佛國港ニ到着スヘキトキハ海事登録官ハ被告ニ對シ同人カ乗組員ノ一員ナルトキハ勤務ヲ繼續セシメテ一時自由ヲ與ヘ又ハ船内ニ監禁スヘキコトヲ宣告ス如何ナル場合ト雖訴訟記録ハ船舶ノ佛國港到着ト同時ニ之ヲ被告ト共ニ海事登録官ニ引渡スタメ封書封印シ船長ニ委託セラルルモノトス海事登録官ハ登録區ノ首都ノ管轄裁判所檢事ニ訴フ

船舶カ最近ニ於テ佛國港ニ到着セサルヘキトキハ海事登録官ハ行政的ニ被告ヲ下船セシメ必要ナル場合ハ直ニ未決拘留ノ手續ヲ執リ又ハ出來得ル限り速カニ軍艦又ハ商船ニ依リ或ハ其ノ運賃ヲ稼クタメ海員ノ資格ニ於テ或ハ船客トシテ或ハ拘留ノ状態ニテ佛國港ニ送還セシムヘク必要ナル手段ヲ執ルモノトス然レ共海事登録官ニシテ必要ナル強制的手段ヲ陸上ニ於テ執ル能ハサルトキハ最寄港ニ於テ更メテ判決セラルヘキコトヲ命シテ被告ヲ其ノ乗船セル船内ニ於テ未決拘留ニ處スルコトヲ得

被告遁走セルカ又ハ船舶カ最近ニ於テ佛國港ニ寄港セサルヘクシテ違反ノ性質上即時ノ處罰ヲ必要トセサル場合ハ海事登録官ハ海運大臣ニ事件ノ訴訟記録ヲ提出スルニ止マル同大臣ハ第三十七條第二項ニ舉ケラルル司法官憲ニ之ヲ訴フ

海事登録官ニ於テ訴ヘラレシ事件カ紀律上ノ過失ヲ構成スルニ止マルト認メタルトキハ被告ニ紀律

刑ヲ科ス

第三十一條 領事、領事ナキトキハ軍艦ノ指揮官ハ船舶ノ設備ノ許ス限リ佛國港ニ向フ凡テノ佛國ノ船舶ノ船長ニ對シ其ノ船内ニ封書封印セル訴訟記録ト共ニ重罪又ハ輕罪ノ凡テノ被告ヲ收容シ且航海中該被告ヲシテ船賃及食費ヲ得シムルコトヲ要求スルコトヲ得

船舶カ佛國港ニ到着シタルトキハ船長ハ被告並訴訟記録ヲ海事登録官ニ引渡スコトヲ要ス海事登録官ハ其ノ登録區ノ首都ノ管轄裁判所檢事ニ之ヲ訴フ

第三十二條 被告ノ屬スル船舶ニ依ル送還以外ノ凡テノ方法ニ依リ送還セラレタル被告ノ運送費用ハ現行規定ニ定メラルル率ニ從ヒ國家ニ依リ負擔セラルル但シ被告ニ對スル求償ヲ妨ケス

第三十三條 佛蘭西、「アルゼリヤ」、殖民地又ハ保護國ニ於テハ海事登録官ハ船長又ハ第二十六條第一項第二號ニ列舉セラルル士官又ハ官吏ノ一ニ依リ訴ヲ受ケ又ハ職權ニ依リ活動シ必要ニ應シ第二十八條ニ基キ船長ノ行ヒタル調査ヲ補足スヘク又海事登録官ニシテ違反ヲ發見シタルトキハ刑事訴訟法第三十二條、第三十三條、第三十五條乃至第三十九條、第四十三條及第四十四條ニ從ヒ豫備的調査ヲ行フ然ル後次ニ定ムル條件ニ於テ判決スヘシ

訴ヘラレタル事件カ紀律上ノ過失ヲ構成スルニ止マルトキハ海事登録官ハ被告ニ紀律罰ヲ科ス然ラサル場合ニ於テハ海事登録官ハ其ノ登録區ノ首都ノ管轄裁判所檢事ニ之ヲ訴フ

第三十四條 重罪又ハ輕罪カ船長ニ依リ又ハ之ト共謀シテ行ハレタル場合ニ於テハ海事登録官、海事登録官ナキトキニシテ該重罪又ハ輕罪カ佛蘭西、「アルゼリヤ」又ハ佛國殖民地以外ニ於テ行ハレタルトキハ該地方ニ在ル軍艦ノ指揮官ハ違反ヲ發見スルト共ニ刑事訴訟法第三十二條、第三十三條、第三十五條乃至第三十九條、第四十三條及第四十四條ニ從ヒ豫備的調査ヲ行フ

第三十五條 第三十四條ニ定メラルル重罪又ハ輕罪ニシテ佛蘭西、「アルゼリヤ」又ハ佛國殖民地以外ニ於テ行ハレタルトキハ海事登録官、海事登録官ナキトキハ軍艦ノ指揮官ハ封書封印セル事件ノ訴訟記録ヲ海運大臣ニ提出ス同大臣ハ第三十七條第二項ニ舉ケラルル司法官憲ニ之ヲ訴フ
同様ノ事情ニ於テ且訴ヘラレタル事件ノ重大ノ程度又ハ船舶或ハ船客ノ安全上必要ナリト認ムルトキハ海事登録官、海事登録官ナキトキハ軍艦ノ指揮官ハ船長ノ未決拘留又ハ其ノ佛國港ヘノ廻送ヲ宣告スルコトヲ得又成ル可ク船舶機裝者ト協定ノ上其ノ後任者ヲ供給スルタメ必要ナル手段ヲ執ルモノトス

第三十四條ニ定メラルル重罪又ハ輕罪ニシテ佛蘭西、「アルゼリヤ」又ハ佛國殖民地ニ於テ行ハレタルトキハ海事登録官ハ其ノ登録區ノ首都ノ管轄裁判所檢事ニ之ヲ訴フ

第三十六條 第一條ニ掲ケラルル佛國船舶内ニ於テ行ハレシ重罪又ハ輕罪ヲ類別シ次ニ掲クル留保ノ下ニ其ノ懲罰ヲ要求スルハ初審裁判所檢事ノ管轄ニ屬ス

本法第三十九條乃至第四十三條、第四十五條、第四十六條、第五十一條（第一項）、第五十二條、第五十四條乃至第五十七條、第五十九條、第六十二條乃至第六十七條、第六十九條乃至第七十二條、第七十四條（第一項及第三項）、第七十五條乃至第七十八條、第八十條乃至第八十五條及第八十七條ニ定メラルル輕罪ノ場合ハ檢察官ハ海事登録官ト同一ノ意見ノ場合ニ限り起訴ヲナスコトヲ得
 其ノ他ノ凡テノ輕罪ニ對シテハ檢察官ハ海事登録官ノ申立ノ理由ニ於テノミ又ハ檢察官カ書留郵便ニ依リ右申立ヲ督促シタル後八日間ノ期限終了後ニ於テノミ起訴ヲナスコトヲ得
 海事登録官ハ其ノ要求スル場合ニ裁判所ニ依リ聽問セラルヘシ

第三十七條 被害者ハ凡テノ重罪又ハ輕罪ニ對シ刑事訴訟法ノ規定ニ從ヒ民事原告人タル權利ヲ有ス
 刑事訴訟法第八十二條ノ例外トシテ被害者ハ被告ヲ直接輕罪裁判所ニ呼出スコトヲ得ス但シ豫審判事ニ訴フヘキモノトス
 管轄裁判權ハ被告ノ居住地又ハ其ノ下船港又ハ其ノ逮捕セラレタル場所又ハ船舶ノ登録港ノ裁判所ニ屬ス

第三十八條 本法第六十三條第一項及第八十條乃至第八十三條ニ定メラルル行爲ニシテ外國船舶乗組員ニ屬スル一名又ハ數名ノ者ノ責ニ歸スル如キモノニ關スルトキ緊急ノ場合ニ於テハ海事登録官ハ普通法ノ手續トハ別ニ刑罰執行ノ確保ヲ目的トスル保證金ヲ海員基金ニ寄託スル迄ニ該船舶ヲ差押

フルコトヲ得決定シタル刑罰ニシテ執行セラレサルトキハ保證金ハ民事訴訟ノ費用及賠償金ヲ控除シ海員救濟基金ニ拂込マルルモノトス

本規定ノ執行ヲ保證スルタメ海事登録官ハ港務官憲ニ對シ船舶ノ自由出港ヲ拒ムコトヲ要求シ又ハ自ラ船舶ノ出發ヲ阻止スヘキ物質的手段ヲ命令スルコトヲ得

第二章 不正當不在及職務ノ拋棄

第三十九條 士官、下士官又ハ普通船員ニシテ本國港内ニ於テ監視又ハ保安ノ職務ニ當テラレタルキ船内ニ於ケル不正當不在ノ罪ヲ犯シタル者ハ六日以上六ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス

海事登録官ハ第三十六條（第二項）ニ定メラレタル意見ヲ陳述スルニ當リ海員ノ當テラレタル職務カ監視又ハ保安ノ職務タルノ理由ヲ述フルコトヲ要ス

雇入契約カ期間ヲ定メ又ハ之ヲ定メスシテ締結セラレタル場合豫告期間カ終了シタルトキハ海員ハ自由ニ船舶ヲ去ルコトヲ得ルタメ其ノ從事セル職務ヨリ解放セラルヘキモノトス該職務ヨリ海員ヲ解放スルコトヲ妨ケタル船長ハ第四十二條第一項ノ定ムル刑罰ニ處セラル雇入契約ノ形式ノ如何ニ拘ハラス海上勞働法第九十八條第二項ニ定メラルル場合亦同シ

士官、下士官又ハ船員ニシテ本國港ニ於テハ出港準備ノ爲ノ當直勤務ニ服シタル後其ノ他凡テノ港

ニ於テハ勤務ニ在ルトキ又ハ勤務ニ在ラサリシ際ニ生シタル不在海員ヲシテ適當ナル時間ニ再ヒ勤務ニ服スル能ハサラシムル如キ結果ヲ來シタルトキ船舶ニ於ケル不正當不在ノ罪ヲ犯シタル者ハ本條第一項ニ定ムル刑ニ處ス

第四十條 不可抗力ノ場合ヲ除キ交替者ヲ得ル前ニ其ノ契約ヲ破棄シ其ノ船舶ヲ遺棄スル船長ハ船舶カ港内ニ於テ安全ナルトキハ六日以上二ケ年以下ノ禁錮ニ、船舶カ風浪ニ曝サレタル灣又ハ海上ニ在ルトキハ一ケ年以上二ケ年以内ノ禁錮ニ處ス

第四十一條 船長ニシテ港、灣又ハ河川ヲ出入スル際其ノ船内ニ在ラサルトハ百法以上千法以下ニ罰金ニ處ス

第三章 船内取締ニ關スル重罪及輕罪

第四十二條 船長、士官又ハ下士官ニシテ其ノ權限ヲ濫用シ又ハ乗船者ニ對スル權限ノ濫用ヲ命シ許可若ハ默許シタルトキハ五十法以上五百法以下ノ罰金及六日以上六ヶ月以下ノ禁錮又ハ右二刑罰ノ一ニ處ス

船長、士官又ハ下士官ニシテ船員ニ對シ言語、舉動又ハ威嚇ニ依リ之ヲ侮辱スルトキハ同一ノ刑ニ處ス

船長、士官又ハ下士官ニシテ第二條ニ定メラルル正當ノ理由アル場合ヲ除キ其ノ職務ノ執行又ハ執行ノ際ニ暴力ヲ用ヒ又ハ用ヒシメタルトキハ刑法第百八十六條及第百九十八條ニ從ヒ處罰ス

前二項ニ定ムル場合ニ於テ見習水夫又ハ少年水夫ニ關スルトキハ刑ハ之ヲ二倍トナスコトヲ得

第四十三條 船長ニシテ正當ノ理由ナク左ノ事項ヲ拒否シ又ハ怠ルトキハ左ノ違反ノ各々ニ付五十法以上五百法以下ノ罰金ニ處ス

一 船内ニ於テ重罪又ハ輕罪ノ行ハレタル場合必要ナル檢證ヲナスコト

二 左ノ書類ヲ認ムルコト

民法第五十九條、第六十二條、第八十六條、第八十七條、第九百八十八條及第九百八十九條ニ定メラルル場合ニ於ケル身分證書、行衛不明調書及遺言書

一八九三年六月八日附法律ニ依リ定メラルル委任、承諾及許可ノ證書

佛國海員救濟基金加入者ノ疾病、負傷又ハ死亡報告

三 航海日誌、紀律簿其ノ他規定ノ書類ヲ規則的ニ備付クルコト

第四十四條 船長、士官、下士官又ハ船員ニシテ船舶書類ヲ變改シ又ハ之ニ虛偽ノ事項ヲ記入セルト

キハ刑法第百四十七條ニ定メラルル刑ニ處ス

第四十五條 船長船内ノ指揮權行使ノ奪取ニ承諾ヲ與ヘタルトキハ六日以上六ヶ月以下ノ禁錮ニ處

不正ニ船舶ノ指揮權ヲ執リタル者及其ノ共犯タル船舶艙裝者ニ對シテハ前項ト同一ノ禁錮ノ刑ヲ宣告ス右ノ刑ニハ尙百法以上二千法以下ノ罰金ヲ附加スルコトヲ得

第四十六條 船長ヲ除ク凡テノ乗船者ニシテ犯罪的意思ヲ以テ且船舶艙裝者ノ知ラサル間ニ之ニ對シ刑事上ノ處罰ヲ生セシムルカ如キ性質ノ詐欺的行爲又ハ密輸入的行爲ヲ行ヒ又ハ行ハントシタルトキハ六日以上三ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス
有罪者船長ナルトキハ其ノ刑ヲ二倍トナスコトヲ得

第四十七條 船長詐欺的意思ヲ以テ自己ノ利益ノタメ其ノ運航ヲ委任セラレタル船舶ノ方向ヲ變更シ又ハ故意ニ且犯罪的意思ヲ以テ誤レル航路ヲ取り又ハ必要ナク貨物、食料或ハ船内器具ノ全部又ハ一部ヲ破壞シタルトキハ五年以上十年以下ノ苦役ニ處ス

第四十八條 船長詐欺的意思ヲ以テ商法第二百三十六條ニ定メラルル事項ノ一ニ依ル罪ヲ犯シタルトキ又ハ適法ニ證明セラレタル航行不能ノ場合ヲ除キ其ノ指揮權ヲ有スル船舶ヲ賣却シタルトキ又ハ商法第二百四十八條ニ違反シ荷揚ヲ行ヒタルトキハ第四十八條ニ定メラルル刑ニ處ス

第四十九條 乗船者カ同一船舶ノ乗船者ニ引渡スタメ托セラレタル書信ヲ名宛人ニ引渡スコトナク故意ニ隱匿シ又ハ濫リニ保持スルトキ又ハ同様ノ條件ニ於テ其ノ托セラレタル書信ヲ開封スルトキハ

六日以上三ヶ月以下ノ禁錮又ハ五十法以上五百法以下ノ罰金ニ處ス

第五十條 船長、士官、下士官又ハ船員積荷ノ一部分タル商品ヲ變質セシムルトキハ刑法第三百八十七條ニ定ムル刑ニ處ス

第五十一條 乗船者食料、飲料其ノ他ノ消費品ニ無害ノ物質ヲ混入シ故意ニ之ヲ變質セシメタルトキハ六日以上六ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス

有害物質ヲ使用シタルトキハ二年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス一人又ハ數人ニ對シ甚シキ疾病ヲ發生セシムルニ至リタルトキハ懲役ニ處ス其ノ意思ニ非サルモ死亡ニ至ラシメタルトキハ有期苦役ニ處ス

第五十二條 乗船者故意ニ船舶ノ航海、運轉又ハ安全上必要ナル物品ヲ横領、毀損又ハ賣却シタルトキ又ハ船舶用ニ積込ミタル食料ヲ賣却シタルトキハ一ヶ月以上二年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十三條 船内ニテ行ハレシ窃盜ハ刑法ノ規定ニ從ヒ處罰ス
然レ共刑法第三百八十六條第三項及第四項ニ定メラルル刑ノ加重セラルヘキ情狀ハ刑法第四百一條ニ定メラルル刑ニ處スヘキ單ナル輕罪タル違反ノ性質ヲ變更セサルモノトス

前項ノ規定ハ本法第十四條(第十號)ノ適用ヲ妨ケス

第五十四條 海員海事登録官ノ面前ニ於テ給料又ハ歩合ニ對スル前拂ヲ受ケタル後正當ノ理由ナクシ

テ船内ニ於テ其ノ勤務ヲ行ハス且與ヘラレタル前拂金ヲ償還セサルトキハ背任罪ニ關シ刑法第四百六條ニ定ムル刑ニ處ス

第五十五條 乗船者船長ノ明白ナル許可ヲ得シテ船内ニ酒精又ハ酒精飲料ヲ持込又ハ持込ヲ容易ナラシメタルトキハ六日以上一ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス

船長又ハ船舶艙裝者乗組員ノ消費ニ充ツルタメ酒精又ハ酒精飲料ヲ規定量以上ニ積込ミ又ハ積込マシメ又ハ積込ヲ許可シタルトキハ前項ノ刑ノ二倍ニ處ス

第五十六條 船長其ノ船舶内ニ於テ酩酊状態ニ在リタルトキ及士官、下士官又ハ船員常習的ニ酩酊シ又ハ當直中酩酊状態ニ在リタルトキハ六日以上六ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス

船長常習的ニ酩酊セルトキハ本法第二十三條ニ定ムル紀律的處分ニ拘ハラヌ前項ノ刑ノ二倍ニ處ス

第五十七條 士官、下士官又ハ船員上長ニ對シ言語、舉動又ハ威嚇ニ依リ侮辱ヲ加ヘタルトキハ五十法以上五百法以下ノ罰金及六日以上六ヶ月以下ノ禁錮又ハ右二刑罰ノ一ニ處ス

第五十八條 乗船者二十日以上ノ労働不能ヲ生セシムルコトナク船長ニ對シ暴力ヲ行使シタルトキハ刑法第二百三十條ニ定メラルル刑ニ處ス

暴力ノ結果二十日以上ノ労働不能ヲ生セシメタルトキハ犯罪者ハ刑法第三百九條以下ニ從ヒ處罰

ス

第五十九條 船員海上又ハ本國港以外ノ港ニ於テ船長又ハ船長ニ依リ本目的ノタメ特ニ指名セラレタル士官ノ正式ノ督促アリタル後尙船舶ノ監視又ハ保安ヲ確保スル爲ノ勤務ニ關スル命令ニ服從セス又ハ之ニ抵抗スルトキハ六日以上六ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス

船員本國港内ニ於テ船長又ハ船長ニ依リ本目的ノタメ特ニ指名セラレタル士官ノ正式ノ督促アリタル後尙船舶ノ監視又ハ保安ヲ確保スル爲ノ勤務ニ關スル命令ニ服從セス又ハ之ニ抵抗シ且該命令ノ不履行カ損害ヲ惹起セシムルカ如キ性質ノモノタルトキハ六日以上三ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス犯罪者カ士官又ハ下士官ナルトキハ前二項ニ定メラレタル刑ハ倍加トス

第六十條 乗船者武裝セルト否トヲ問ハス集合的ニ船内ニ於テ暴力ヲ行ヒタルトキ又ハ船長ノ權限ニ反抗シ且正式ニ督促アリタル後尙職務ニ服スルコトヲ拒否シタルトキハ士官又ハ下士官ハ有期苦役ニ其ノ他ノ乗船者ハ懲役ニ處ス乗船者ニシテ船内ニ於テ給料ヲ得職務ヲ行フモノニ非サルモ反抗ノ煽動者タルトキハ士官又ハ下士官ト同様ニ處罰ス

前項ノ場合ニ於テ船長及船長ニ服從セル者ノ抵抗ハ適法ノ防衛行爲ト看做ス

第六十一條 船長ノ安全、自由又ハ權限ニ對スル陰謀又ハ加害ニ連累セシ者カ士官又ハ下士官ナルトキハ有期苦役ニ其ノ他ノ乗船者ナルトキハ懲役ニ處ス

實行ノ決議カ船内ニ於ケル乗船者ノ二名以上ノ間ニ協議セラレタルトキハ之ヲ陰謀トス

第六十二條 同一乗船期間内ニ行ハレタル紀律ニ對スル第三回目ノ重大ナル過失及爾後ノ重大ナル過失ハ輕罪ト看做シ六日以上六ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス

然レ共過失ノ性質並之ヲ伴フ事情カ海事登録官ニ於テ之ヲ檢事ニ訴フルニ充分ナラスト認メタルトキハ海事登録官ハ其ノ違反ニ對シ過失タルノ性質ヲ保存シ第十五條ニ定メラルル刑罰ヲ適用スルコトヲ得第十四條第一項ニ依リ重大ナル過失ト看做サルル輕微ナル過失ハ輕罪ヲ構成スルコトナシ

第四章 航海取締ニ關スル輕罪

第六十三條 佛國又ハ外國船舶ニ乗船セル凡テノ者ハ外國人ト雖佛國領海内ノ海上ニ於テ河川及灣取締又ハ海上航行取締ニ關シ海事官憲ノ發スル規則又ハ命令ニ從ハサルトキハ六日以上六ヶ月以下ノ禁錮及五十法以上五百法以下ノ罰金又ハ是等二刑罰ノ一ニ處ス

佛國船舶ニ乗船セル凡テノ者ニシテ佛蘭西以外ニ於テ國民ニ對スル一般の秩序ノタメ又ハ海上勤務ノ必要上又ハ國旗ノ名譽ノタメ佛國總領事、領事又ハ副領事又ハ佛國軍艦ノ指揮官ニ依リ正式ニ與ヘラレタル命令ノ實行ヲ拒絕シタルトキハ前項ノ刑ニ處ス

第六十四條 第三十條及第三十一條ニ記述セララルル如ク管轄官憲ニ依リ依頼セラレタル船長ニシテ正當ノ理由ナクシテ訴訟記録又ハ證據書類ヲ引受クルコト又ハ第三十一條ニ定メラルル條件ニ於テ被告ノ運送ヲ保證スルコトヲ拒否シ又ハ其ノ引受ケタル被告又ハ訴訟記録ヲ之ヲ受取ルヘク指定セラレタル海事官憲ニ引渡ササリシトキハ百法以上二千法以下ノ罰金ニ處ス但シ遁走又ハ遁走ノ陰謀アリタル場合ハ必要ニ應シ乗船者及被告ニ刑法第二百三十七條乃至第二百四十三條ヲ適用スルコトヲ妨ケス

第六十五條 船長正當ノ理由ナク本國又ハ佛國殖民地ニ佛國人ヲ送還セシムヘキ海事登録官ノ要求ニ從フコトヲ拒否スルトキハ第六十四條ニ定メラルル刑ニ處ス

第六十六條 海軍軍事裁判法第三百六十二條ニ定メラルル場合ヲ除キ船長海上ニ於テ佛國軍艦ノ要求ニ應セス武力ノ使用ヲ餘儀ナクセシメタルトキハ六ヶ月以上二年以下ノ禁錮ニ處ス

第六十七條 船長佛國官憲ノ存在セサル港ニ疾病又ハ負傷セル士官、下士官又ハ船員ヲ遺棄シ之ニ其ノ治療及送還ヲ保證スル方法ヲ得シメサルトキハ五十法以上千法以下ノ罰金及六日以上二ヶ月以下ノ禁錮又ハ是等二刑罰ノ一ニ處ス

船長疾病又ハ負傷セル船客ヲ其ノ目的地ニ到達セサル以前ニ於テ陸上ニ遺棄シ其ノ旨ヲ下船セシメラレタル船客ノ屬スル國ノ領事、領事ナキトキハ地方官ニ通告セサルトキハ前項ノ刑ニ處ス

第六十八條 船舶艙裝者海上勞働法第七十七條ノ規定ニ違反シ陸上ニ於テ會計係ヲ使用シ若ハ使用セシメ又ハ同條ニ違反シ海員ヲシテ該船主ノ指定スル商店ニ於テ其ノ給料ノ全部又ハ一部ヲ消費セシムルトキハ五十法以上二千法以下ノ罰金ニ處ス累犯ノ場合ハ五千法迄科ス

第六十九條 船舶艙裝者又ハ船主船舶内勞働規定、食料及寢具ニ關スル海上勞働法ノ諸規定及之カ適用ニ關スル管理規則ノ諸規定ニ從ハサルトキハ檢證セラレタル各違反ニ付百法以上千法以下ノ罰金ニ處ス

船長單獨ニ又ハ船舶艙裝者或ハ船舶所有者ト合意ノ上前項ノ違反ヲ行ヒタルトキハ第二十三條ニ定ムル紀律的處分ニ拘ラス前項ノ刑ニ處ス然レ共船長カ船舶艙裝者又ハ船舶所有者ヨリ書面又ハ口頭ニ依ル命令ヲ受ケタルコトカ證明セラレタルトキハ船長ニ對シ宣告セラルヘキ刑ハ船舶艙裝者又ハ船主ニ對スルモノノ四分ノ一ニ之ヲ減スルコトヲ得

前二項ニ定メラルル刑ハ累犯ノ場合ハ之ヲ倍加スルコトヲ得違反者ニシテ其ノ前十二ヶ月以内ニ本條ニ依ル禁止事項ニ關シ處罰ヲ受ケタルトキハ之ヲ累犯トス

第七十條 佛國船内ニ於テ海事登錄官ノ許可ヲ得ス且不可抗力以外ノ場合ニ於テ海上法規ニ依リ要求セララルル條件ヲ満足スルコトナクシテ船舶ノ指揮其ノ他船内ノ職務ヲ行フ者ハ六日以上一年以下ノ

禁錮及百法以上千法以下ノ罰金又ハ是等二刑罰ノ一ニ處ス

第七十一條 法規ニ從ヒ船員名簿又ハ廻航許可書ヲ備フルコトナクシテ海上航行ニ從事シ又ハ海事官憲ノ最初ノ要求ニ應シ該名簿又ハ許可書ヲ呈示セサル者ハ該船舶カ總噸數二十五噸以上ナルトキハ二百法以上五百法以下ノ罰金、其ノ他ノ場合ニ於テハ五十法以上二百法以下ノ罰金ニ處ス關係者ニシテ廻航許可書ヲ要スル場合ニ船員名簿ノ交付ヲ受ケタルトキハ右罰金ニ一ヶ月以上一年以下ノ禁錮ヲ附加スルコトアルヘシ

第七十二條 船長乗船又ハ下船ヲ船員名簿ニ記入セシムルコトナクシテ乗組員ヲ乗船又ハ下船セシメタルトキハ不正ニ乗船又ハ下船セシメラレタル各乗組員ニ付該船舶ノ總噸數カ二十五噸以上ナルトキハ五十法以上三百法以下、其ノ他ノ場合ハ十六法以上五十法以下ノ罰金ニ處ス
船員名簿ノ終ニ記入セララルコトナクシテ乗船ヲ許サレタル各船客ノ罰モ亦前項ニ同シ但シ或ル種ノ航海ニ對シテハ命令ヲ以テ特別規定ヲ制定ス右規定ノ違反ハ十六法以上二十五法以下ノ罰金ニ處ス

第七十三條 虚偽ノ身元證明書ヲ作成シテ海員雇入契約ヲ締結シ又ハ締結セントシタル者ハ六日以上六ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス累犯ノ場合ノ刑ハ倍加ス

第七十四條 運賃ヲ支拂フコトナク又ハ船長或ハ其ノ代理人ノ同意ヲ得ルコトナクシテ局地沿岸航路

又ハ國內沿岸貿易ニ從事スル船舶ニ乗船シタル者ハ十六法以上三百法以下ノ罰金ニ處ス
累犯ノ場合ハ十六法以上五百法以下ノ罰金及六日以上六ヶ月以下ノ禁錮又ハ是等二刑罰ノ一ニ處ス

遠洋航海又ハ國際沿岸貿易ヲ行フ意思ヲ以テ詐欺的ニ船舶ニ乗船シタル者ハ十六法以上五百法以下ノ罰金及六日以上六ヶ月以下ノ禁錮又ハ是等二刑罰ノ一ニ處ス

累犯ノ場合ハ五百法以上千法以下ノ罰金及六ヶ月以上二ケ年以下ノ禁錮ニ處ス
船内又ハ陸上ニ於テ船長ノ知ラサル間ニ密航者ノ乗船又ハ下船ヲ容易ナラシメ、之ヲ隱匿シ又ハ之

ニ食料ヲ供給シタル者ハ百法以上三千法以下ノ罰金及六日以上六ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス是等二刑罰ノ最大限ハ密航ノタメノ乗船ヲ容易ナラシムルタメ團結シタル者ニ對シ宣告ス

累犯ノ場合ハ罰金ハ三千法以上一萬法以下及禁錮ハ六ヶ月以上二ケ年以下トス密航ノタメノ乗船ヲ容易ナラシムルタメ團結シタル者ニ對シテハ該刑ノ最大限ノ二倍トス

第七十五條 乗船者船長ニ告クルコトヲ運送ノ目的ニテ積荷目録ニ記入セラレサル商品ヲ船内ニ搬入シタルトキハ十六法以上五百法以下ノ罰金及六日以上六ヶ月以下ノ禁錮又ハ是等二刑罰ノ一ニ處ス但シ此ノ場合海上勞働法第二十三條ノ條件ニ於テ不正ニ船内ニ積込マレタル商品ヲ海中ニ投棄スル船長ノ權利ヲ妨ケス

第七十六條 船長正當ナル支障アル場合ヲ除キ船舶カ二十四時間以上(休日ヲ除キ)港内ニ碇泊スルトキハ其ノ佛國港又ハ佛國總領事、領事或ハ副領事ノ駐在スル外國港ニ到着シタル後二十四時間以内ニ又ハ船舶カ二十四時間以内港内ニ碇泊スルトキハ着港ト同時ニ海事登録局又ハ領事館秘書課ニ其ノ船員名簿及紀律簿ヲ提出セサルトキハ十六法以上三百法以下ノ罰金ニ處ス

第七十七條 船長ニシテ外國沿岸ニ到着ノ際正當ナル支障ノ理由ナクシテ沿岸警備ノ佛國軍艦ニ出頭セサルトキハ十六法以上三百法以下ノ罰金ニ處ス

第七十八條 船長船舶ノ標示ニ關シ命令ニ依リ定メラルル規定ニ從ハサルトキ又ハ右標示ヲ抹消、變更、隱蔽又ハ糊塗スルトキハ十六法以上千法以下ノ罰金ニ處ス

第五章 船舶ノ喪失、衝突、坐礁其ノ他ノ航海事故

第七十九條 海軍軍事裁判法ニ定メラルル場合ヲ除キ其ノ方法ノ如何ヲ問ハス如何ナル船舶ト雖故意且犯罪的意思ヲ以テ之ヲ坐礁、喪失又ハ破壊セシメタル者ハ刑法第四百三十四條及第四百三十五條ニ定メラルル刑ニ處ス

刑ノ最大限ハ其ノ名義ノ如何ヲ問ハス船舶ノ指揮ニ任シ又ハ水先案内者トシテ之ヲ指導シタル違反者ニ適用ス

三五

第八十條 船長又ハ當直主任者ニシテ夜間ニ點火スヘキ燈火及濃霧ノ際ナスヘキ信號又ハ進ムヘキ航路或ハ船舶ニ遭遇ノ際行フヘキ運轉等ニ關スル海上法規ニ依リ定メラルル規定ニ違反スルトキハ六日以上三ヶ月以下ノ禁錮及十六法以上百法以下ノ罰金又ハ是等二刑罰ノ一ニ處ス

水先案内人ニシテ進ムヘキ航路ニ關スル規定ニ違反セルトキハ前項ト同一ノ刑ニ處ス

第八十一條 第八十條ニ定メラルル違反ノ一又ハ船長、當直主任者若ハ水先案内人ノ責ニ歸スヘキ凡テノ他ノ怠慢ノ行爲ニシテ船舶又ハ他ノ船舶ニ對シ衝突又ハ明白ナル障害物ニ對スル坐礁或ハ衝突又ハ船舶或ハ積荷ノ重大ナル損害ヲ發生セシメタルトキハ有罪者ハ六日以上三ヶ月以下ノ禁錮又ハ十六法以上五百法以下ノ罰金或ハ是等二刑罰ノ一ニ處ス

右違反ニシテ船舶ノ喪失又ハ絶對的航行不能又ハ貨物ノ喪失ノ結果ヲ發生セシメタルトキ又ハ重傷或ハ一名又ハ數名ノ死亡者ヲ出シタルトキハ有罪者ハ三ヶ月以上二ケ年以下ノ禁錮及五十法以上六百法以下ノ罰金又ハ是等二刑罰ノ一ニ處ス

第八十二條 船長、當直主任者又ハ水先人ヲ除ク乗組員ニシテ其ノ勤務中辯解ノ餘地ナキ怠慢行爲、注意ノ缺如其ノ他凡テ其ノ勤務上ノ義務違背ニ依リ凡ユル船舶ニ對シ衝突又ハ明白ナル障害物ニ對スル坐礁或ハ衝突又ハ船舶或ハ積荷ニ對スル重大ナル損害ヲ發生セシメシトキハ六日以上二ヶ月以下ノ禁錮及十六法以上百法以下ノ罰金又ハ是等二刑罰ノ一ニ處ス

右違反ニシテ船舶ノ喪失又ハ絶對的航行不能又ハ貨物ノ喪失ノ結果ノ發生セシメシトキ又ハ重傷或ハ一名又ハ數名ノ死亡者ヲ出シタルトキハ有罪者ハ六日以上八ヶ月以下ノ禁錮及十六法以上二百法以下ノ罰金又ハ是等刑罰ノ一ニ處ス

第八十三條 船長ニシテ衝突ノ後自己ノ船舶、乗組員及船客ニ對シ何等ノ危害ヲ及ホスコトナクシテ之ヲ爲シ得ル場合、衝突ニ依リ生シタル危険ヨリ他ノ船舶、其ノ乗組員及船客ヲ救助スルタメ其ノ使用シ得ル凡ユル手段ヲ執ルコトヲ怠リタルトキハ二百法以上三千法以下ノ罰金及一ヶ月以上二ケ年以下ノ禁錮又ハ是等二刑罰ノ一ニ處ス

船長不可抗力ノ場合ヲ除キ他ノ船舶、其ノ乗組員及船客ニ對シ之以上長キニ亘ル助力ノ無効ナルコトヲ確ムル以前及船舶カ沈没シタルトキハ遭難者ノ救助ニ凡ユル努力ヲ費ス以前ニ於テ災害ノ位置ヲ離ルルトキハ前項ト同一ノ刑ニ處ス本項ニ定メタル義務不履行ノ結果トシテ一名又ハ數名カ死亡シタルトキノ刑ハ之ヲ二倍トナスコトヲ得

衝突ノ後相衝突シタル各船舶ノ船長自己ノ船舶、其ノ乗組員又ハ船客ニ對シ何等危険ヲ及ホスコトナクシテ之ヲ爲シ得ル場合他ノ船舶ノ船長ニ對シ自己ノ船舶ノ船名、船籍港、發航港及到達港ヲ知ラシメサルトキハ五十法以上五百法以下ノ罰金及六日以上三ヶ月以下ノ禁錮又ハ是等二刑罰ノ一ニ處ス

第八十四條 船長危險ニ際シ士官及主ナル船員ノ意見ヲ徵スルコトナクシテ航海中其ノ船舶ヲ遺棄スルトキハ六日以上六ヶ月以下ノ禁錮ニ處ス

船長危險ニ際シ其ノ船舶ヲ遺棄スル以前ニ於テ乗組員及船客ノ救助ヲ計リ且船舶書類、電信書類及、貨物中最モ貴重ナル商品ヲ救助スルコトヲ怠リタルトキハ一年以上二年以下ノ禁錮ニ處ス
其ノ船舶ヲ遺棄スヘク餘儀ナクセラレタル船長ニシテ最後迄船内ニ止マラサリシトキハ前項ノ刑ニ處ス

第八十五條 船長ニシテ自己ノ船舶、其ノ乗組員又ハ船客ニ對シ甚タシキ危險ヲ及ホスコトナクシテ之ヲ爲シ得ル場合海上ニ於テ頻出ノ危險ニ遭遇セル凡テノ者ニ對シ例ヘ敵ト雖之ニ助力ヲ與ヘサルトキハ五十法以上三千法以下ノ罰金及一ヶ月以上二年以下ノ禁錮又ハ是等二刑罰ノ一ニ處ス

第八十六條 第八十條乃至第八十五條ニ定メラルル輕罪ニ關シテハ海事登録官ハ命令ニ依リ定メラルヘキ條件ニ於テ其ノ行フ對審調査ニ依テノミ初審裁判所檢事ニ訴フルコトヲ得

第八十七條 第八十條乃至第八十三條ノ規定ハ違反カ海上ニ於テ且佛國領海範圍内ニ於テ行ハレタルトキ外國船内ニ在ル者ニ對シ假令外國人ト雖之ヲ適用ス
前項規定並第七十八條ノ規定ハ廻航認可證書ヲ備フル船舶又ハ機關ノ取扱者ニ適用ス事實ニ於テ船

舶又ハ機關ヲ指揮スル者ハ之ヲ船長ト看做ス

第八十條、第八十一條及第八十三條乃至第八十五條ニ定メラルル違反ノ一カ第七十條ニ定メラルル不正ナル條件ノ下ニ指揮權ヲ行使スル者ニ依リ行ハレタルトキハ刑ハ之ヲ倍加ス

第四編 雜 則

第八十八條 本法ニ依リ宣告セラレタル罰金ヨリ生スル金額ハ凡テ海員救濟基金ニ拂込マルルモノトス

第八十九條 本法ニ牴觸スル凡テノ規定ハ之ヲ廢止ス其ノ主ナルモノ左ノ如シ

船員名簿並海上航行ニ從事スル船舶及舟艇ノ表示ニ關スル一八五二年三月十九日附大統領令但第一條及第二條ヲ除ク

局地沿岸航行ニ關スル一九〇二年三月二十日附命令第四條及第五條

商船内ノ紀律及刑罰制度ニ關スル一八五二年三月二十四日附大統領令及一八九八年四月十五日並一

九〇二年七月十三日附ノ之カ修正ニ關スル法律

海上事故並衝突ニ關スル一八九一年三月十日附法律

海上航行ノ安全並商船内勞働紀律ニ關スル一九〇七年四月十七日附法律第三十六條

國立航海學校ニ於ケル商船機關士免狀ニ對スル豫備教育ニ關スル一九〇八年七月十七日附法律第二條第三項

海上ニ於ケル救援及救助ニ關スル一九一六年四月二十九日附法律第十一條

海員救濟基金ノ年金ニ關スル一九〇八年七月十四日附法律第三條第五項

一九〇八年七月十四日附法律第三條第四項ハ左ノ規定ヲ以テ之ニ代フ

「軍艦以外ノ船舶又ハ機關ニシテ海上ニ於テ前項ニ定メラルル職業的ナラサル航海ノ一ニ從事スルモノハ船員名簿ノ代リニ毎年ノ廻航認可證書ヲ備フルコトヲ要ス」

○一九二六年十二月十七日附商船紀律刑罰法適用ノ爲ノ
一九二七年三月三十日附土木省訓令

一九二六年十二月十七日附法律ニ依リ商船内ノ紀律及刑罰ニ關スル新法律施行セラレタルカ右ハ多年研究ノ結果海上刑法ニ重大ナル改革ヲ施セルモノナリ本法典編纂事業ハ過去二十年ニ亘リ海軍省又ハ商船廳ニ於テ起草セラレタル數個ノ草案ノ成果ヲ示スモノトス

佛蘭西國旗ヲ掲揚スル商船、漁船又ハ遊覽船ニ乗組メル者ニ對スル特別規則ハ今日ニ至ル迄次ノ如キ多數ノ法令ニ依リ定メラレ居タルモノナリ即チ原則トシテ海賊及海員ノ非行罪ノ抑壓ヲ目的トセルモノナリシカ其ノ第二章廢止ノ結果今日ニ於テハ海賊ヲ支配スルニ過キササルニ至レル一八五二年四月十日附ノ航海及商船ノ安全ニ關スル法律、一八九八年四月十五日附法律及一九〇二年七月三十一日附法律ニ依リ其ノ一部ヲ改正セラレタル一八五二年三月二十四日附商船ニ對スル紀律及刑罰ニ關スル大統領令、海員名簿ニ關スル一八五二年三月二十四日附大統領令、海上ニ於ケル災害及衝突ニ關スル一八九一年三月十日附法律等之ナリ但シ局地沿岸航海ニ關スル一八五二年三月二十四日附大統領令、海上航行ノ安全ニ關スル一九〇七年四月十七日附法律、海員救濟基金ニ關スル一九〇八年七月十四日附法律、海上ニ於ケル救援救助ニ關スル一九一六年四月二十九日附法律等ノ中ニ規定セル若干ノ附屬規

定ハ右ノ中ニ之ヲ算入セサルモノトス

然レトモ商船内ノ刑罰及紀律法制ノ根幹ヲナスモノハ一九〇八年及一九〇二年ノ法律ニ依リ修正セラレタル一八五二年三月二十四日附ノ大統領令ニシテ右ハ佛蘭西商船ニ乗組メル凡テノ者ニ付又航海海員雇入契約及船舶内部ノ警察等ニ關スル凡テノ違犯ニ對シ適用アルモノナリ

此ノ複雑ニシテ煩瑣ナル法律ハ久シキニ亘リ海運社會ニ於テ批評ノ的トナリ又異論ヲ惹起シタリ特ニ一八五二年三月二十四日附大統領令ノ適用ハ社會ノ現狀ヲ支配セル原則ト兩立シ難キカ如ク認メラレ殊ニ或ル大港ニ勃發シタル海上同盟罷業ノ場合ニハ其ノ感ヲ深クセラレタリキ、脱船ニ關スル規定ハサ如何ナル範圍ニ於テ法律的且實際的ニ罷業權ニ適用アルモノナリヤ、此ノ問題ハ新聞及議會ニ持チ出ルレ熱心ニ討議セラレサルヘカラサル運命ニ在リタルモノナリキ、右ハ雇入契約ノ集合的破棄ノ場合ニ一八五二年ノ大統領令ノ適用ヲ斷念シタル時ヨリ愈々烈シクナリ遂ニ船主ヲシテ現行法令ニ從フカ又ハ之ヲ改正スルカヲ要求セシムルニ至レルハ必スシモ理由ナシトセサルナリ

一方海商裁判所ニ於ケル訴訟手續及右裁判所ノ構成ニ關シ批評起レリ、即海運ニ對スル特別法制ノ必要ナルノ事實ノミヲ以テシテハ海上犯罪ヲ裁判スルカ爲ニ例外ノ裁判所ヲ維持スヘシトノ主張ヲナスニ十分ナラサル如ク認メラルト謂フナリ

海軍大臣ハ一九〇五年三月十六日商船ニ對スル紀律及刑罰法改正準備ニ當ルヘキ委員會ヲ組織セリ

右委員會ハ利害關係者ニ付十分ナル調査ヲ遂ケテ且外國法制ノ研究ヲ重ネタル後我海上刑罰法制改正ノ意ヲ表明シ一九一〇年ノ初頭海上航行最高委員會ニ對シ一應纏リタル原文ヲ提出シタルカ右委員會ハ一九一二年七月二十五日ノ會議ニ於テ參事院議官補タル「ロランアタラン」氏ノ報告ニ基キ滿場一致ヲ以テ一案ヲ採擇シタリ

一九一三年ニ議會ノ承認ニ附セラレタルハ即チ右案ニ僅少ノ修正ハ施サレタルモノニシテソハ一九一三年五月六日「商船内刑罰及紀律法」ナル名稱ノ下ニ提出セラレタリ其ノ目的トスル所ハ一八五二年三月二十四日附大統領令ヲ改正シ之ト同時ニ我海上刑罰法典ヲ編纂スルニ在リタルモノナリキ

一九一〇年乃至一九一四年ノ立法議會ハ本案ノ報告スラナキ中ニ突如トシテ閉會トナリ右案ハ無効トナレリ

戰爭ノ勃發ハ一九一四年ヨリ一九一八年ニ至ル迄右ノ事業ヲ續行スルコトヲ得サラシメタルカ海上刑罰法改正ノ問題ハ戰端開始ノ翌日ヨリ甚シク其ノ必要ヲ感セシメラルルニ至リシモノナレハ一九二六年十二月十三日附法律トナレル海上勞働法ヲ起草セシメタル商船廳長官ハ更ニ一九一三年ノ刑罰及紀律法案ノ詳細ナル審査ヲナサシムルコト必要缺クヘカラサルモノト思料シタリ

本法案ハ海上勞働法ノ起草以前ニ作成セラレタルモノナルヲ以テ其ノ中ニハ雇入契約ニ關スル數個

ノ規定即チ本法案ノ起草者カ之カ違反ニ關スル制裁ヲ規定スルニ當リ之ト同時ニ規定スルノ必要アリト認メタル事項ヲ編入シタルモ右ハ刑罰法中ニ置クヘキモノニアラサルコト明ナルニ依リ之ヲ海上勞働法ニ移シタリ

一方商船廳ハ出來得ル限リ船主及船員ノ職業團體ノ提起スル意見ヲ考慮シ且海上雇入契約ニ關スル使用主及被用者間ノ契約上ノ義務ト歩調ヲ合セタル法文ヲ得ルカ爲一九一三年ノ紀律及刑罰法案ヲ海上勞働法案ノ原文制定ノ責ニ任シタルト同一ノ聯合委員會ニ附議スルノ必要ヲ認メタリ

右委員會ハ斯クシテ一九二二年中ニ於テ一九一三年ノ法案ヲ再ヒ逐條審議シ總テノ點ニ亘リ一致ヲ見ルコトヲ得タリキ一九二六年十二月十七日ノ法律ハ右一致點ヲ其ノ儘踏襲シタルニ過キササルモノナリ

政府ハ聯合委員會ノ原文ニ對シ僅少ノ修正ヲ加ヘタルニ過キスシテ右ノ修正ハ何レモ右委員會ニ於テ氣付カサリシ數個ノ規定ニ關シ生シ得ヘキ不便ヲ商船廳ヨリモ一層適切ニ批判シ得ヘキ地位ニ在ル諸官省ヨリ要求セラレタルモノトス

斯クノ如クニシテ陸軍省及海軍省ハ例ヘハ渡航部隊ニ屬スル商船乗組ノ陸海軍軍人ニ依リ犯サレタル本法案所定ノ犯罪ニ對シ陸海軍ノ軍事裁判所ノ管轄ヲ要求シタリ

又海軍省ハ海賊ハ國際法上保護ヲ要求スヘキ國家ヲ有セス從テ法律ノ保護ノ外ニ置カレタル萬國民

ノ敵ニシテ之ヲ捕獲シタル國家ノ裁判所ノ管轄ニ屬スルモノナルヲ以テ同一ノ法律中ニ國際法ノ犯罪者タル國籍ヲ有セサル海賊ト普通我船舶ニ乗組メル海員ト混同シテ規定スルハ不快ナルヘキヲ主張シテ本法案ヨリ海賊ニ關スル規定ヲ削除スルコトヲ提議シタリ

議會ノ發意ニ依リ聯合委員會ノ原文ニ加ヘタル修正ハ何等右委員會ノ根本方針ニ觸ルルモノニアラスシテ後ニ示スカ如ク不正當不在及職務ノ拋棄ニ關スルモノニスキスニ關シテハ、
新ニ現ハレタル商船内紀律及刑罰法ハ斷然改革的ニシテ完備セル法制タルノ一般的特色ヲ有スルモノナリ

一、本法ハ海上犯罪ニ關スル唯一ノ法律ニシテ右ニ關スル從前ノ特別法ハ全部之ヲ本法ノ船舶内部ノ警察、海上ニ於ケル航海警察又ハ難破、船舶ノ滅失、衝突、坐洲其ノ他ノ航海事故ヲ發生セシメタル犯罪等ニ關スル本刑罰規定中ニ包含セシメタリ

二、新法ハ新シキ條件ニ於テ紀律維持ノ爲處罰スルノ權利ヲ規定セリ此ノ權利ハ今後正確ニ船長ト海事登錄官トノ間ニ分配セラルヘク前者ハ輕微ナル過失ノミヲ審査シ後者ハ重大ナル過失ニ適當セル制裁ヲ課スルノ責アルモノトス紀律上ノ過失ノ場合ニ於ケル手續ニ關シテハ辯護ニ必要ナル一切ノ方法ヲ保證シテ簡單ニ定メラル

三、犯罪特ニ海事犯罪ノ一般的改正行ハレ所定ノ刑罰ハ最モ正當ナリト認メラルル方法ニ依リ整理セ

三、ラレタリ特ニ船内ノ不正當不在ハ海員カ監視又ハ安全ニ關スル職務ヲ拋棄シタル場合ニ於テノミ犯罪ヲ構成スルニ過キスシテ其ノ他ノ場合ニ於テハ右ニ關シ定メラルル區別ニ從ヒ紀律ニ對スル重大ナル過失又ハ輕微ナル過失ヲ構成スルニ止ルモノトス

四、特別ノ裁判管轄ハ廢止セラレ船内ニ於テ行ハレタル犯罪ノ犯人ハ普通法ノ裁判管轄ニ移送セラ

ル
然レトモ訴追權ハ檢察官ニノミ屬スルモノニアラス訴追ハ純然タル海事犯罪及通常犯罪ノ申立ニ付キテハ海事登録官ノ適當ナル意見ニ基キテノミ爲サルヘク即チ凡テノ場合ニ於テ海員行政ノ衝ニ當リ且海員ノ氣風、生活並勞働狀態ニ通曉セル官憲ノ代表者ノ完全ナル同意ヲ得テ始メテ爲サルヘキモノナリ

斯クシテ職業的獨立ヲ熱望シ、常ニ海事ニ非サルコトヲ信用セサル海員ノ習慣——ソハ斟酌スルノ要アル習慣ナリ——ハ航海者ノ職業團體ノ屢々表示シタル如ク刑罰ニ關シテハ普通法ノ制度ノ下ニ置カレタシトノ希望ト調和スルヲ得タリ

五、一九二六年十二月十七日附法律ハ一八九八年四月十五日附及一九〇二年七月三十一日附法律ノ既ニ爲シタル如ク輕減ノ意味ニ於テ刑罰ヲ改正シタリ入獄ノ刑ハ殆ント凡テノ場合ニ於テ保存セラレタリト雖法定ノ最輕刑表示セラレタルカ爲刑罰ハ之ヲ各場合ニ於テ犯人ノ犯罪性ニ適應セシムル

コトヲ得タリ

新法ハ情狀酌量ニ關スル刑法第四百六十三條ノ規定ノ適用ヲ豫想セリ

刑ノ執行猶豫ニ關シテハ一八九一年三月二十六日附法律ト同様ナルカ特記ノ要アリト認めラルル條件ヲ伴フモノトス即聯合委員會案ハ其ノ第六條ニ於テ一八九八年四月十五日附法律ノ規定ヲ其ノ儘再録シタルカ其ノ規定次ノ如シ

刑ノ執行猶豫ニ關スル一八九一年三月二十六日附法律ハ商船紀律及刑罰法ニ基キ宣告セラレタル入獄又ハ罰金ノ刑ニ適用セラル普通法ノ重罪又ハ輕罪或ハ海事重罪又ハ輕罪ニ對スル一八九一年三月二十六日附法律所定ノ條件ニ基ク新シキ處罰ノ場合ニハ最初ノ刑罰ハ第二ノ刑罰ト混同セラルルコトナク先ツ執行セラル

純然タル海事犯罪ニ對シ後ニ處罰セラレタル爲其ノ以前ニ普通法ノ犯罪ニ對シ附與セラレタル執行猶豫ノ效力ヲ失ハシメ又ハ之ト反對ニ純然タル海事犯罪ニ對シ以前ニ執行猶豫ヲ與ヘタル爲其ノ後犯サレタル普通法ノ犯罪ニ對シテハ猶豫ヲ附與シ得サルコトハ甚シク苛酷ナルコト司法大臣ノ意見ニ基キ承認セラレタリ右ノ問題ハ平時ニ於テ執行猶豫ノ法律ヲ海軍ノ軍事裁判管轄ニモ適用シ且普通法ノ犯罪及普通刑法ニ依リ處罰シ得ヘキ軍事犯罪ト普通刑法ニ依リ處罰シ得サル犯罪トヲ區別セル一九〇四年七月二十八日附法律ノ規定ヲ商船刑法ニ擴張スルコトニ依リ之ヲ解決シタリ之新法

第六條ノ目的トスル所トス

- 六、今後輕罪裁判所ハ商船内ニ於テ犯サレタル犯罪ニ對シ權限ヲ有スルモノナレハ審理ハ對審ナルヘク判決ニ對シテハ上訴ヲナシ得ヘク時効ハ普通ノ時効ト同一ナルヘシ
- 七、士官ニ關シテハ纏リタル規則ヲ得タリ即チ紀律裁判管轄創設セラレ特ニ重罪ニモ輕罪ニモ非サル士官ノ職業上ノ違犯ハ其ノ管轄ニ屬セシメラレタリ

余ハ海事犯罪ノ鎮壓ニ付海事登録區ノ首長タル海事登録官ニ對シ貴下ノ監督及管理ノ下ニ全然個人的資格ニ於テナルモ新法ニ依リ附與セラレタル重大ナル權利ニ關シ特ニ貴下ノ注意ヲ喚起セムト欲スルモノナリ尙客年十二月二十一日附通牒ノ目的タル一般ノ指示ノ續キトシテ海事登録官カ今後其ノ職責トシテ紀律上ノ過失ニ付其ノ特有ノ紀律上ノ權限ヲ行使シ又ハ犯罪鎮壓ニ付檢事局ト協力スルカ如キ動モスレハ困難ナル職務ノ執行ニ當リ之ヲ指導スルニ適當ナル稍詳細ナル説明ヲ與フルハ必要ナルモノノ如ク認メラル右見地ニ基キ次ニ掲クル事項ニ關スル規定ヲ特ニ記載ルヲ適當トスヘシ

- 一、紀律上ノ過失ノ鎮壓
- 二、海事犯罪ニ關スル裁判管轄及訴訟手續ニ關スル規則

三、不正當不在及職務放棄ノ問題

四、船内警察ニ關スル犯罪ノ新決定

五、航海警察ニ關スル犯罪ノ新決定

六、航海上ノ犯罪鎮壓ニ關スル規則

七、海員特ニ商船士官ノ規律ニ關スル規則

一、紀律ニ對スル過失ノ鎮壓

紀律ニ對スル過失ノ鎮壓ニ關スル規定ハ輕微ナル過失ト重大ナル過失トノ間ノ根本的區別ニ基キ制定セラル

一八九八年四月十五日附法律ニ依リ改正セラレタル一八五二年三月二十四日附法律ハ一種ノ紀律上ノ過失ヲ規定スルニ過キスシテ之カ抑壓ニ關シテハ可成リ複雑ナル方法ヲ定メタリ紀律罰ハ同時ニ船長及海事官憲ニ依リ次ノ區別ニ從ヒ科セラレタリ即チ船舶カ佛蘭西海事官憲タル海事登録官、領事又ハ軍艦ノ指揮官ノ附近ニ在ルトキハ紀律上ノ過失ノ審理權ハ右ノ官憲ニ屬シ船舶カ凡テノ海事官憲ヨリ遠隔セル地ニ在ルトキハ右ノ權利ハ船長ニ屬セリ然レトモ船長ハ如何ナル場所ニ於テモ最少ノ權限ヲ有シタルモノニシテ換言セハ船長ハ常ニ八日ノ禁足又ハ三日ノ禁酒ヲ命スルコトヲ得タルモノナリ

右ノ區別ハ之ヲ明カニスルコト極メテ困難ナリキ法律ハ海上ニ於テ船長ニ廣汎ナル權限ヲ附與シタルモ同時ニ法律ハ右ハ批判ノ餘地アル解決ナルコトヲ認メ居ルモノナリ如何トナレハ船舶カ他ノ法律上ノ權力者ノ力ノ及フ所ニ來ルトキハ船長ヨリ右ノ權限ヲ取去ルモノナレハナリ他方港内ニ於テハ重キ刑罰ノ宣告セララルカ又ハ輕キ刑罰宣告セララルカニ從ヒ同一ノ行爲ニ對シ同時ニ權限アル二個ノ官憲存在シ居タルモノナリキ

右ノ如キ批判ノ結果船長ノ權限ヲ一定不變ノモノニ縮少シ之ヲ海事登錄官ニ委讓スルニ至レルカ此ノ解決ハ紀律ニ關シテハ船長ハ常ニ幾分審判者タルト同時ニ當事者タリトノ不平ヲ屢々洩ラセル普通船員ノ希望ニ合致セルモノナリ或ル紀律ヲ他人ニ適用セントスルトキハ個人的ノ侮辱ト自己ニ與ヘラレタル權限ノ侵害トヲ多少混同スルコトハ人情トシテ免レ難キ所ナリ船内ノ紀律ヲ著シク侵犯セル過失ト雖船長ニトリテハ多少トモ個人的侵害ト感セラルルハ免レサル所ナルヘキニ依リ可成リ重キ刑罰ヲ科スルニ至ルヘキ相當重大ナル過失ニ對シテハ之カ宣告ヲ船長ニ一任セサルコト一層慎重ナリト謂フヘシ海事登錄官ハ之ニ反シ適當ナル凡ユル權限ヲ有シ犯サレタル過失ヲ審判スルニ一層自由ナル精神ヲ抱キ又事情ヲ公平ニ判斷スルニ一層適當セル者ト認メラレタリ

右ノ動機ニ基キ法律ハ紀律ニ對スル輕微ナル過失ト看做サルル行爲(第十條)ト重大ナル過失ト看做サルル行爲(第十四條)トノ間ニ區別ヲ設ケ輕微ナル過失ハ船長ニ依リ處罰セラレ(第十一條)重

大ナル過失ハ原則トシテ海事登錄官ニ依リ處罰セララルモノトセリ(第十七條)

右ノ種類ニ屬スル違反行爲ノ各々ニ關スル規定ヲ審査スルニ先チ一方一八五二年ノ大統領令第二十三條ニ依リ定メラレタル舊刑罰日誌ニ對應スヘキ船内書類タル紀律日誌ト他方今後各海事登錄區ニ備附方規定セラレタル帳簿タル刑罰日誌トヲ規定セル第九條ノ規定ニ付注意ヲ喚起セント欲スルモノナリ

紀律日誌

從前ノ刑罰日誌ニ付既ニ定メラレタルカ如ク紀律日誌ハ船舶艙裝ノ際海事登錄官ヨリ船長ニ交附セラルヘキモノトス事實ニ於テハ船長ハ刑罰日誌ヲ商人ノ手ヨリ購入スルモノニシテ登錄官ハ艙裝ノ際右書類カ船内ニ在ルヤ否ヤヲ確ムルモノナリ紀律日誌ニ付右ノ方法カ繼續セララルコトハ一八五二年ノ大統領令第二十三條ニ定ムル規定ト異リ右日誌カ登錄官ニ依リ番號ヲ附セラレタル上署名セララルコト必要缺クヘカラサルモノナラサルカ故ニ何等不便ナリト認ムルコトヲ得ス

一八五二年ノ大統領令ノ下ニ於テハ刑罰日誌中ニハ航海中爲サレタル凡テノ紀律上ノ過失並科セラレタル制裁(第二十三條)、犯罪ノ狀況(第二十四條)、犯罪ノ略式審理調書ノ作成(第二十五條)右ノ犯罪ニツキ爲シタル海商裁判所ノ判決(第四十二條)ヲ記載スヘク右ノ判決ハ本日誌ニ登記スルコトヲ要スルモノトセラレタリ(第四十六條)

斯ル手續ノ大部分ハ同様ニ新法第九條ニ規定セラレタリ即チ船長又ハ海事登録官ハ場合ニ應シ其ノ
 審理スヘキ犯罪ノ性質ヲ記載セサルヘカラス換言セハ輕微ナル過失ナリヤ將又重大ナル過失ナリヤヲ
 明記スルヲ要スルモノニシテ科セラレタル制裁ヲ記載スヘキコト固ヨリ言フヲ俟タス尙船内ニ於テ犯
 サレタル輕罪又ハ重罪ノ狀況、紀律ニ對スル輕微ナル過失ノ場合(第十一條)、重大ナル過失ノ場合(第
 十八條)、輕罪及重罪ノ場合(第二十八條)ニ於テ船長ニ於テ爲サレタル取調ノ結果及最後ニ船内ノ秩
 序維持及航海成就ノ爲ニ船長カ船内ニ在ル凡テノ者ニ對シ有スル權限ニ基キ命シタル處置ヲ記載スル
 ヲ要ス

紀律日誌ハ從前ノ刑罰日誌ト同様紀律罰ノ正確ト機會トヲ検査スルノ責ニ任スル官憲ニ對シテノミ
 ナラス犯罪訴追ノ責アル官憲ニ對シテモ重要ナル書類タルモノトス此ノ理由ニ基キ第九條ハ紀律上ノ
 過失及輕罪又ハ重罪カ最近ノ出港ト著港又ハ寄港トノ間ノ期間内ニ行ハレタル凡テノ場合ニ於テ佛蘭
 西及「アルゼリア」ニ於テハ海事登録官ノ查證ヲ得ルカ爲ニ植民地ノ港ニ於テハ海事登録事務ヲ取扱
 フ官吏ニ、外國港ニ於テハ領事ニ各紀律日誌ヲ提出スルノ責任ヲ船長ニ負ハシメタリ新法第七十六條
 ニ定メラルル船長ニ對スル制裁ハ本規定ニ對應スルモノナリ

紀律日誌ハ一八五二年ノ大統領令第二十三條第四項カ刑罰日誌ニ付既ニ規定セルカ如ク船舶ノ艤裝
 解除ノ際船長ヨリ艤裝解除港ノ海事登録官ニ之ヲ引渡スヘキモノトス

第九條ノ最後ヨリ二番目ノ項ハ局地沿海航路又ハ大洋漁業ニ使用セラルル船舶ノ如キ或ル種ノ小船
 船ニ付テハ紀律日誌ノ備附ヲ強制セサルコトヲ規定セルモノナルコトニ留意スヘシ此ノ種船舶ニ對シ
 テハ不必要ナル凡テノ手續ヲ廢止シ實際上ノ必要ニ一層合致セル特別ノ制度定メラレタリ即チ艤裝港
 ノ海事登録官ハ之等ノ船舶ノ爲ニ一ノ共同帳簿ヲ備ヘ船舶到着後二日以内ニ船長ノ爲ス宣言ニ基キ之
 ニ前記ノ事項ヲ記載スルモノトス

刑罰日誌

第九條ノ末項ニ從ヒ各海事登録官ハ前項ニ定ムル以外ノ船舶ニ對シ刑罰日誌ト稱スル特別ノ帳簿ヲ
 備フルコトヲ要ス右ハ船内書類ニ非サルモ登録區ノ帳簿ニシテ從テ一八五二年ノ法制ノ下ニ於ケル以
 前ノ刑罰日誌ニ對應スルニ過キサル紀律日誌ト明瞭ニ區別スルヲ要ス
 海事登録官ノミカ備附ノ義務ヲ有スル新刑罰日誌ニハ紀律ニ對スル重大ナル過失タルト重大ナル過
 失ナリトシテ船長ヨリ訴ヘ出テタルモノカ登録官ニ依リ輕微ナル過失ノ部類ニ入ルヘキモノナリト判
 定セラレタル場合ナルトヲ問ハス(第十七條及第二十一條ノ兩條)其ノ科シタル刑罰ヲ記載スルコト
 ヲ要ス

此ノ刑罰日誌ヲ慎重ニ管理スヘキコトニ關スル利益ニ付貴下ノ注意ヲ喚起セントス右ハ單ニ統計ノ
 爲ノミナラス紀律ニ關シ各登録區ニ於テ必ス爲サルヘキ判決例ヲ唯一ノ書類ニ集ムルコトヲ得セシム

ルモノナリ

尙一九二七年三月十五日附通牒ノ規定ニ依ルト同様各登録區ニ於テハ雇入契約ニ關スル爭議簿ヲ備フルコトヲ要スルモノニシテ之ニハ各登録區ニ於テ治安裁判所判事ニ依リ爲サレタル判決ヲ記載スヘキモノトス同様右刑罰日誌ニハ海事登録官カ豫備的審理ヲ爲シタル後初審裁判所檢事ニ提出スヘキ輕罪事件ノ記載並必要ナル場合ニハ管轄裁判所ニ爲シ得ヘキ訴追ノ結果ノ表示ニ必要ナル餘白ヲ存シ置クコト無益ニ非サルヘシ

右ノ新刑罰日誌制度開始ノ爲必要ナル印刷物ノ正規ノ見本ニ關スル貴下ノ個人的意見ヲ成ル可ク速ニ申送ラレンコトヲ切望ス

輕微ナル過失及之ニ對スル制裁

輕微ナル過失ニ對シテハ再犯ノ場合ヲ除キ刑罰ハ緩和セラレタリ又此ノ過失ハ一八五二年ノ大統領令第五十八條ニ列舉セラレタル舊紀律過失ノ最下級ノモノノ中ヨリ選ハレタリ即チ單純ナル不服從、粗暴ヲ伴ハサル船内ニ於ケル酩酊、四時間ヲ超過セサル不正當不在刑ヲ加重スヘキ情狀ノモノヲ除キ暴行ヲ伴ハサル喧嘩及爭論並一般的ニ他ノ箇所ニ於テ特定セラレサル船内命令ニ對スル違反等之ナリ

輕微ナル過失ニ對シ定メラレタル制裁ハ船長ノ船舶指揮ノ通常權限ノ行使ニ依リ之ヲ加フ船長ニ

ハ譴責又ハ戒飭ヲ爲スノ權限ヲ與ヘタリ(第十二條)——之レ新機軸トス——如何トナレハ凡ソ長タル者ハ部下ニ付自己ノ命令ヲ實行スル仕方ヲ批判スルノ權利ヲ有スルモノナレハナリ此ノ場合ニ於ケル刑罰ハ常ニ紀律日誌ニ記載セラレタル事實ニ基クモノトス船長ハ船内警察ノ長ナルヲ以テ之ニ對シ士官、下士官及普通船員ニ對シ勤務ノ繼續ヲ伴フ二日ノ留置ヲ科スルノ權利ヲ引續キ附與シタリ此ノ場合ニ於ケル罰ハ自由ヲ剝奪シ刑罰日誌ニ記入スルコトニ在リ留置ノ罰ハ最長八日間ノ船内留置ヲ規定セル(大統領令第五十二條第一項)一八五二年ノ法制ヲ摸倣シタルモノナルモ刑罰ノ期間ハ短縮セラレタルヲ知ルヘシ之ニ反シ第十三條ニ於テハ刑ノ執行方法ハ之ヲ一層嚴肅ニ且效果アラシムル如ク明確ナラシメタルヲ知ルヘシ

船長ハ刑罰權ヲ保有スルヲ以テ本法(第十一條)ハ懲戒セラレタル違反ノ性質、證人ノ氏名及宣言、辯明若シ必要アル場合ニハ當事者ノ悔悟及科シタル刑罰ヲ直ニ紀律日誌ニ記載スルノ義務ヲ船長ニ負ハシメタリ而シテ船長ハ右ノ記述ヲ當事者ニ讀ミ聞セ署名ヲ要求シ又ハ署名ノ拒絕ヲ登録スルコトヲ要ス

當事者ノ防禦方法ヲ記載スルノ義務ハ一八五二年三月二十四日ノ大統領令第二十三條ノ原文ニ比シテ一ノ新機軸ヲ出セルモノニシテ右ニ依レハ船長ハ航海中ノ凡テノ紀律上ノ過失及科シタル凡テノ紀律上ノ刑罰ヲ刑罰日誌ニ記載スルノ義務アリタルニスキス第十一條ハ此ノ義務ニ關シテハ現行各省ノ

訓令ヲ是認スルモ之カ判決例ハ法律タルノ效果ヲ有セサリキ
重大ナル過失

紀律上ノ重大ナル過失ハ第十四條ニ列擧セラル右ハ第一ニ特ニ限定的方法ニ依リ一八五二年ノ大統領令第五十八條所定ノ紀律過失表ヲ摸倣シ第二ニ特ニ右大統領令ニ依リ以前ハ海事犯罪トセラレタルモ紀律上ノ見地ヨリ何等ノ不都合ナク除外シ得ヘシト認メラレタル違反ハ之ヲ重大ナル過失ニ包含セシメタルモノナリ

次ニ掲クルモノハ重大ナル過失中ニ數ヘラルルモノナリ

- 一、同一乗船期間内ニ於ケル輕微ナル過失ノ反覆 士官、下士官又ハ乗客ノ場合ニハ二ヶ月以内、普通船員ノ場合ニハ一ヶ月以内ニ當事者カ既ニ輕微ナル過失ノ爲制裁ヲ受ケタル場合
- 二、上長ヨリ正式ノ催告アリタル後勤務上ノ凡テノ命令ニ對スル服從拒絶又ハ受動的反抗但シ船長又ハ特ニ船長ヨリ指名セラレタル上長ノ催告アリタル後明白ナル服從ノ拒絶ニ關シ定メラレタル第十九條ノ場合ヲ除ク
- 三、粗暴ヲ伴フ船内ノ酩酊但シ第五十六條所定ノ場合ヲ除ク此ノ犯罪ハ重大ナル過失トナルカ爲ニ海事犯罪タラサルニ至レトモ第五十六條ハ當直中ニ於ケル酩酊ハ暴行ヲ伴ハサル場合ト雖之ヲ犯罪トナシタルニ留意スヘシ

- 四、上長ニ對スル無禮又ハ下僚ニ對シ直接爲サレタル侮辱 上長ニ對スル無禮ハ一八五二年ノ大統領令第五十八條ノ規定セル紀律上ノ過失ナルカ新法ハ下僚ニ對シ發セラレタル不躑ナル言語ヲ右ノ過失ト同視シタリ右ハ新シキ違反行爲ナルカ之カ採用ハ容易ニ首肯シ得ラルル所トス普通船員ハ其ノ上長ヲハ同時ニ人間及上長トシテ尊敬セサルヘカラサルモ上長モ亦其ノ部下ノ自尊心ヲ擁護スルコトヲ要スルモノナレハナリ
- 五、當直中ノ怠慢 此ノ過失ハ一八五二年ノ大統領令第五十八條第二號及第十號ニ規定セララルル所ニ對應スルモノナルカ之ニ對シ船橋ニ於ケル夜間當直中ノミナラス機關部ノ勤務又ハ船内整理ノ監視中ニ於ケル睡眠ヲ加ヘタルニ過キス之レ凡テノ種類ノ船員ニ對スル擴張ナルコトハ自然ニ了解セララルル所ナルヘシ
- 六、許可ヲ得スシテ焚火シタル行爲 右ハ既ニ一八五二年ノ大統領令第五十八條ニ於テ過失トセラレタルモノナリ從テ火災ノ危險ニ關シテハ何等ノ變更ナカリキ
- 七、許可ヲ得サル短艇ノ使用 端艇ノ使用ハ此ノ違反カ單純ナル不服從ヲ構成セサル凡テノ場合(一八五〇年七月三十一日ノ法律ニ依リ修正セラレタル一八五二年ノ法律第六十條第六號)ニ於テハ輕罪ナリキ端艇ノ喪失、破損又ハ遺棄ヲ生セサルトキハ此ノ規則ヲ緩和スル何等ノ不都合ナキモノト認メラレタリ此ノ場合ニハ違犯ハ過失ヲ構成シ然ラサル場合ニハ第五十二條ノ示スカ如ク輕罪トナ

- 八、或ル條件ノ下ニ於ケル本國港内ノ船内不正當不在
- 九、同様或ル條件ノ下ニ於ケル本國港以外ノ船内不正當不在
- 輕微ナル過失(第十條第三號)ト認メラレタルト重大ナル過失(第十四條第八號及第九號)ト認メラレタルトヲ問ハス凡テ不正當不在ニ關スルモノハ第三十九條ニ依リ了解セラルル如ク從前ノ脱船罪ニ代リ不正當不在カ犯罪ヲ構成スル場合ヲ規定セル第三十九條ト相對立スルモノトス
- 十、小窃盜 本規定ハ刑法第四百七十一條(第九號及第十號)ノ影響ヲ受ケタルモノナリ刑法ノ右ノ規定ハ輕微ナル違犯ニ單純ナル警察罰ヲ科シタルモノニシテ船員ニ依リ犯サレタル小窃盜ハ之ト同視シ得ルモノトス
- 十一、器具ノ故意ノ破損但シ第五十二條所定ノ場合即チ違犯カ輕罪トナルカ如キ破損物カ食糧品又ハ航海ニ利用スヘキモノナル場合ハ之ヲ除ク
- 十二、留置破リ 右ハ第十三條所定ノ留置執行條件ノ必然的歸結タル新違反行爲タリ留置ニ處セラレタル者ハ幽閉セラレス吾人ハ右ノ者カ指示セラレタル場所ニ止ラントスル其ノ紀律上ノ精神ヲ信賴スルモノナルヲ以テ此ノ信賴ヲ裏切リタルトキハ其ノ者ハ重大ナル過失ヲ犯シタルモノトス

重大ナル過失ニ適用スヘキ刑罰

法律所定ノ制裁ハ期間ノ延長セラレタル船内留置罰金及陸上ニ於ケル紀律的禁錮トス(第十五條)

斯クシテ禁酒ノ如キ依然體刑的性質ヲ有シタル一八五二年ノ法制ニ依リ定メラレタル凡テノ紀律的制裁ハ消失シ尙船長ノ食卓ヨリ除斥スルカ如キ陳腐ナル或ル種ノ制裁モ亦影ヲ潛メタリ此ノ廢止ト相對シテ或ル種ノ紀律的制裁ノ加重ヲ招來シタルカ此ノ加重ハ特ニ緩和シテ實現セラレタリ

斯クシテ留置換言セハ一八五二年ノ大統領令第五十二條及第五十三條ノ舊禁足ノ最長限ハ三日ヨリ十日ニ延長セラレタルカ第十三條ニ基キ留置ハ海上又ハ寄港地ニ於テノミ爲サルルコトトセラレタリ

罰金ノ額ハ士官ノ場合ハ二十法ヨリ二百法ニ、普通船員ノ場合ニハ五法ヨリ五十法ニ増加セラレタルヲ以テ右ハ現在ノ給料ニ比シ適當ナルモノトセラレタリ罰金ハ船員名簿整理ノ際職權ヲ以テ之ヲ徵收シ第十五條末項ノ規定ニ基キ之ヲ海員救濟基金ニ支拂フヘキモノトス右ノ處罰ハ從前ノ罰俸ニ代リタルモノナリ最後ニ四日ナリシ紀律上ノ禁錮ノ期間ハ五日トナサレタリ此ノ五日ノ期間ハ無方針ニ定メラレタルモノニアラスシテ右ハ單純ナル警察判事カ例ヘハ刑法第四百八十條ニ定ムル夜間ノ喧騒ノ如キ或ル種ノ警察犯ニ對シ宣告シ得ヘキ入獄ノ期間ナルナリ

紀律上ノ禁錮ハ佛蘭西又ハ「アルゼリヤ」諸港内陸上ニ於テ普通法ニ依ル受刑人ニ充テラレタル場所ト隔離セラレタル特別ノ場所ニ於テ且士官並見習水夫及少年水夫ニ對シテ別個ノ設備アル場所ニ於テノミ科セラレヘキモノナリ（第十六條）本法ハ此ノ點ニ關シテハ海商裁判所ニ依リ刑罰ニ處セラレタル者ヲ通常ノ牢獄ニ收容スルノ條件ノ爲一八五二年ノ大統領令ニ基キ與ヘラレタル各省ノ訓令ヲ確認セルニ過キス

重大ナル過失ノ管轄

新法ハ重大ナル過失ヲ審理スル權限ニ關スル公ノ規則ヲ定ムルニ當リ何等ノ新機軸ヲ出ササリキ右ノ權限ハ佛蘭西及「アルゼリヤ」ニ於テハ海事登録官ニ植民地及保護領タル國ニ於テハ登録海員又ハ航海警察ノ事務ヲ擔當セル官吏（第十七條及第二條）ニ屬ス軍艦カ外國ノ港内ニ在ルトキハ軍艦指揮官ノ權限ハ代理領事ヲ除キ領事又ハ副領事ノ權限ニ先行スルモノトス然レトモ船舶カ海上又ハ佛蘭西官憲ノ居ラサル港ニ在ルトキハ第十九條ハ重大ナル過失ノ場合船長ニ對シ紀律上ノ權限ヲ與フ船長ハ其ノ權威ヲ著シク害セララルル如キ違反ニ接シタルトキハ豫防的刑罰トシテ勤務ノ繼續ヲ伴フ又ハ伴ハサル一日乃至四日ノ留置ヲ宣告スルコトヲ得ヘシ勤務ヲ繼續セサルトキハ處罰セラレタル者ハ留置ノ期間給料ヲ受クルノ權利ヲ失フ斯ル場合船舶ノ碇泊セル最初ノ港ノ海事登録官、外國ノ港ニ在リテハ其處ニ在ル軍艦ノ指揮官若シ指揮官居ラサルトキハ領事等カ依然ト

シテ管轄權ヲ有ストノ解釋ニ基ク臨時ノ措置タルモノトス

船長ハ豫メ第十八條記載ノ調査ヲ爲シ之ヲ審理スルカ爲ニ訴狀ト手續書類トヲ權限アル官廳ニ提出スル義務アルモノトス（第二十條）權限アル官廳ハ第二十一條ノ條件ニ從ヒ事件ノ審理ヲ完成シ終局ノ判決ヲ爲スヘシ

船長ニ依リ宣告セララルル豫防的刑罰タル留置ノ期間ハ後ニ至リ當事者ニ科セララルル紀律上ノ留置又ハ禁錮ノ全期間ヨリ控除セララルヘキモノトス

重大ナル過失ニ關スル訴訟手續

重大ナル過失ニ對シ行フヘキ訴訟手續ハ第十八條及第二十一條ニ依リ定メララル重大ナル過失ハ船長カ之ヲ認知シテヨリ數日經過スルニ非サレハ之ニ對シ制裁ヲ科シ得サルモノナルヲ以テ船長カ其ノ過失ノ假調書ニ於テ原因タル主タル行爲ヲ定メ且之ヲ義務トシテ紀律日誌上ニ轉載スルコト必要缺クヘカラサルモノノ如シ之レ第十八條ノ主タル目的ナリ

重大ナル過失ニ付船長ヨリノ訴ヲ受ケタル官憲ハ直ニ關係者即チ船長及證人ヲ喚問セサルヘカラス右ニ關シ出サレタル唯一ノ新機軸ハ關係者ニ對シ自己ノ選擇スル辯護人ノ援助ヲ求ムルノ權利ヲ附與シタルニ在リ（第二十一條第四項）

上訴方法

然レトモ重大ナル過失ニ付船長ノ爲シタル訴ヲ審理スヘキ權限アル官廳ノ決定ハ處罰セラレタル者ヨリ上訴シ得ヘキ特別性質ノ行政的決定ニ過キサルトヲ記載スルノ要アルヘシ第二十二條ハ此ノ上訴ハ全二日以内ニ上級行政官廳(最モ多キ場合ニハ決定ヲ爲スヘキ海事登録官ノ所屬セル海事登録局長ナルヘシ)ニ爲シ得ヘク該局長ノ面前ニ於テハ事情ニ應シ書面ニ依リ又ハ一部口頭ニ依ル迅速ナル對質訴訟手續開始セラルヘシ局長ハ最後ニ理由ヲ附シタル決定ヲ與フヘク之ヲ以テ初審ノ決定ヲ維持シ取消シ又ハ凡ユル方法ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得ヘシ

植民地及外國ニ於テハ上訴ハ商船ヲ主管スル大臣ニ對シテノミナサレ得ヘキコト前記ノ第二十二條ニ依リ規定セラレタリ

右ハ行政的決定ニ對スル上訴ノ方法ノ問題ナルカ故ニ右ノ上訴ハ決シテ執行ヲ停止スルノ效力ヲ有スルモノニ非ス

尙海事登録局長又ハ商船ヲ主管スル大臣ノ理由ヲ附シタル決定ハ權利ヲ侵害スルコトアルヘキ行政行爲ナルヲ以テ右ノ決定ニ對シテハ通常ノ條件及形式ニ於テ權利ノ濫用ニ付權限ヲ有スル裁判所ニ訴ヘ得ヘキコト勿論ナリトス之レ第二十二條末項ノ明示スル所ナリ

二 海事犯罪ニ關スル裁判管轄及訴訟手續

第二十五條乃至第三十八條ハ海上犯罪ニ關スル裁判管轄及訴訟手續ノ規則ヲ定ム

第二十五條(第一項)ハ佛蘭西商船内ニ於テ犯サレタル重罪及輕罪ノ審理ハ今後普通法ノ裁判管轄ニ屬ストノ根本原則ヲ定ム

重罪ニ對シ管轄ヲ有スルハ重罪裁判所ニシテ此ノ點ニ關シテハ何等ノ新機軸ヲ出ササリキ海賊犯罪ハ依然トシテ一八五二年四月十日附法律ニ依リ構成セラレタル常設海事裁判所ニ依リ裁判セラルヘキモノナルコトヲ注意スヘシ輕罪ニ關シテハ之カ審理ハ輕罪裁判所ノ管轄ニ屬シ從テ一旦裁判所ニ事件繫屬ノ上ハ對質審理、上訴方法、時効等ニ關シ普通法ノ訴訟手續カ當然適用アルモノトス然シ乍ラ海事輕罪ニ對スル普通法ノ規則特ニ豫審及判決證書ノ送達方法ニ關スル刑事訴訟法ノ規定ノ適用ノ結果國庫ニ對シ相當多額ナル費用ヲ生セシムルニ至ルモノナルカ普通處分シ得ヘキ船員ノ資力ハ極メテ不確定ニシテ且船員ノ著シキ移動性ハ國庫ニ依ル差押ヲ困難ナラシムルモノナルヲ以テ右ノ費用ハ多クノ場合結局ハ國庫ノ負擔ニ屬スヘキモノナルコトヲ示スノ要アルヘシ

商船廳ハ司法省ノ同意ヲ得タル上沿岸漁業ニ關スル一八五二年一月九日附法律第二十一條ノ規定ヲ復活セシメタル特別規定中佛蘭西船舶ノ乗組員タル船員ニ關シ召喚狀、訴訟手續及判決證書ノ印紙ヲ免シ無料ニテ登録スルコト、召喚狀ハ海事登録所員ニ依リ何等ノ費用ヲ要セスシテ作成交付セラルルコト、判決ハ單純ナル謄本ニ依リ送達セラルヘキコト等ヲ定メタル規定ヲ法律中ニ挿入セシメテ右ノ狀態ヨリ生スル金錢上ノ結果ヲ緩和セント試ミタリ右ノ規定ハ紀律刑罰法第二十五條(第二項)ニ依

ヲ採用セラレタリ

一八五二年三月二十四日附命令ニ依リ制定セラレタル特別ノ制度ニシテ何等ノ經費モ何等ノ稅
(大統領令第四十六條)ヲモ要セサルモノハ新法制ノ下ニ於テモ繼續スヘシ

特別裁判管轄ノ廢止ハ訴ヲ受ケタル裁判官カ被審人ノ特別ノ氣質及特殊ノ生活狀態ニ關シ十分ナル
智識ヲ有シ得サルヘキ不便ヲ來サシムル虞アルカ此ノ不便ヲ豫防スルカ爲メ法律ハ船長及海事登錄官
ニ廣汎ナル權限ヲ與ヘタリ

船長ハ船内ニ於テ犯サレタル輕罪又ハ重罪ヲ認知シタルトキハ刑事訴訟法第三十二條、第三十三
條、第三十五條乃至第三十九條、第四十三條及第四十四條ニ定ムル處分ヲ爲スモノトス即チ船長ハ現
行犯ノ場合初審裁判所ノ檢事ノ有スル權限ヲ附與セラル(第二十八條)船長ハ其ノ調査ノ結果ヲ其ノ
船舶ノ寄港スル最初ノ港ノ海事登錄官ニ傳達ス(第二十九條)海事登錄官ハ必要ナル場合ハ船長ノ爲
シタル調査ヲ補足ス罪トセラレタル行爲カ紀律上ノ過失ヲ構成スルニ過キサル場合ニハ海事登錄官ハ
之ニ對シ紀律上ノ制裁ヲ科シ然ラサル場合ニハ之ヲ初審裁判所ノ檢事ニ移送ス(第三十三條)從テ海
事登錄官ハ起訴ノ初ニハ違犯ノ重大性ニ關スル審査權ヲ行使スヘク且明確ナル特質ヲ具ヘサル輕罪ヲ
常ニ紀律上ノ過失ト看做スコトヲ得ヘシ

然シ乍ラ一八五二年ノ大統領令ノ制度ト異リ海事登錄官カ發動シ得ルカ爲ニハ船長ヨリ告訴狀

提出セララルルノ必要ナキコトヲ注意スルノ要アルヘシ登錄官自ラ違犯ヲ認知スルコトニ依リ其ノ代理
者ノ或ル者ノ調書ニ依リ(第二十六條)或ハ領事官憲ノ告訴ニ依リ又ハ何等カノ告發若ハ一般ノ風評ニ
依リ船長ノ告訴ト關係ナク事件ヲ審理スルコトヲ得法律ハ刑事訴訟法第三十二條、第三十三條、第三
十五條乃至第三十九條、第四十三條及第四十四條ニ基キ海事登錄官ニ對シ職權ヲ以テ檢證並搜查ヲ爲
シ得ヘキ權限ヲ與ヘタリ

第三十條ハ告訴ヲ受ケ又ハ職權ヲ以テ發動スル海事官廳カ領事官憲ナル場合ヲ規定ス領事官憲ハ其
ノ場所ニ權限アル裁判所存在セサルニ依リ一時的措置ヲ爲スノ權限ヲ附與セラル領事ハ情況ニ適應セ
ル方法ニ依リ佛蘭西ニ於ケル海事登錄官ニ對スル訴訟記録ノ送付及刑事被告人ノ引渡ヲ確保セサルヘ
カラス茲ニ注意スヘキハ前記第三十條第四項ニ依リ商船ヲ主管スル大臣ニ割當テラレタル任務ハ訴訟
記録ノ送付セラレタル刑事被告人ノ罪責カ如何ナル手續ニ依リ定メラレタルカヲ審査スルニ在ラス
シテ其ノ任務ハ單ニ商船主管廳ト檢事局トノ連絡ヲ確保スルニ過キス大臣ハ第三十七條第二項ニ定メ
ラルル裁判所即チ刑事被告人ノ住所地、其ノ上陸スヘキ港又ハ船舶登錄港ノ裁判所ニ訴ヲ提起スルノ
義務アリ事實ニ於テハ裁判手續ノ最モ容易ニ行ハレ得ヘキ港即チ上陸港ヲ指定スルコト最モ多カルヘ
シ此ノ場合ニ於テハ自然領事官憲カ訴訟記録ヲ送付スルニ當リ刑事被告人ヲ運送スヘキ船舶ノ航路ヲ
指示スルノ必要アルモノトス

尙本條ノ末項ハ領事官憲ハ罪トセラレタル行爲カ紀律上ノ過失ヲ構成スルニ過キサルモノト認メタルトキハ刑事被告人ニ對シ紀律上ノ制裁ヲ科シ得ルノ權利ヲ有スル旨ヲ明確ニ規定セリ此ノ違犯ノ重大性ニ關スル審査權ハ右ニ關シ海事登錄官カ佛蘭西ニ於テ行使スルモノト同一ナリ

公訴權ノ發動ニ關スル海事登錄官ト檢事局トノ各權限ノ決定ハ商船廳ト司法省トノ間ニ面倒ナル爭論ヲ惹起シタルカ數多ノ波瀾ノ後法律第三十六條ニ採用セラレタル妥協ニ到達シタリ

本條ニ依リ初審裁判所ノ檢事ハ第二項ニ列擧セラレタル特ニ海事のナル輕罪ニ關シテハ海事登錄官ノ適當ナル意見ニ基キ又其ノ他ノ凡テノ輕罪即チ商船内ノ紀律及刑罰法ニ依リ定メラレタル特別ノ刑ヲ科セラルヘキモノタル犯人ノ資格及狀況ヲ度外視スレハ海事的特質ヲ有セサル普通ノ輕罪タル犯罪ニ付キテハ海事登錄官ノ申立ニ依ルニ非サレハ起訴ヲ爲スコトヲ得ス

從テ登錄區ノ長ハ初審裁判所ノ檢事ニ自ラ審理シタル事件ノ訴訟記録ヲ送付スル際ハ明瞭ニ自己ノ責任ヲ取り且第三十六條第二項及第三項ニ依リ義務トセラレタル意見又ハ申立ヲ右司法官ニ明確ニ知ラシムルコト必要缺クヘカラサルモノトス

右ニ關シテハ次ニ掲クル規則ニ從フコトヲ要ス

特ニ海事の性質ヲ有スル犯罪ニ付テ

一度事件ノ訴訟記録カ法律第三十三條及第三十四條ニ規定セララルル條件ニ依リ作成セラレタルトキ

ハ海事登錄官ハ初審裁判所檢事ニ宛テ事實上及法律上ノ理由ヲ附シタル特別ノ報告ヲ認メ且之ニ基キ商船内紀律及刑罰法ノ第何條ノ適用ニ依リ犯罪人ニ對シ起訴ヲ爲スヘキカ、爲スヘカラサルカニ關スル意見ヲ明瞭ニ表示スヘシ

前者ノ場合ニ於テハ初審裁判所ノ檢事ハ第三十六條第一項及第二項ヲ合セタル規定ノ適用ニ依リ事件ヲ類別スルノ權利ヲ保持スト雖起訴ヲ爲スノ權利ハ右檢事ニ屬スヘシ

後者ノ場合即チ登錄官カ起訴ノ意思ヲ有セサルトキハ初審裁判所ノ檢事ハ事件ヲ類別セサルヘカラス(法律第三十六條第二項)

特ニ海事の性質ヲ有セサル普通犯罪ニ付テ

前記ト同一ノ手續ヲ履行セラレサルヘカラサルモノナルモ唯海事登錄官ノ表示スヘキ意見カ申立ニ代ハルノ差異アルノミトス此ノ場合海事登錄官ノ爲ス申立カ如何ナルモノニセヨ初審裁判所ノ檢事ハ事件ノ類別又ハ懲罰ノ起訴ニ對シ完全ナル自由ヲ有スヘシ(法律第三十六條第一項及第二項)

海事登錄官カ希望スルトキハ裁判所ニ依リ聽問セラルヘシト規定セル第三十六條第四項ノ規定ニ關シ各登錄區ノ長ノ注意ヲ促サントス

海事登錄官ハ必要ナル場合ニハ法律ニ依リ與ヘラレタル特權ヲ主張シ斯ル方法カ公ノ秩序ニ有利ナリト認メタルトキハ聽問セラレ得ルカ爲ニ初審裁判所檢事ト連絡ヲ保チ且必要アルトキハ輕罪裁判所

長ト連絡ヲ保ツコトヲ躊躇スヘカラサルモノトス

斯ル特權ヲ行使スル結果登録區ノ長ハ一度輕罪事件ノ記録ヲ初審裁判所ノ檢事ニ交付シタルトキハ司法官憲ニ依リ之ニ與ヘラルヘキ結果ニ付無關係タルコトヲ得ス

右ノ長ハ反對ニ必要ナル場合ニハ裁判所ニ依リ聽問セララルコトヲ何時ニテモ要求シ得ル様檢事局ト連絡ヲ保タサルヘカラス

司法官憲側ニ於テハ輕罪ニ對シ又ハ商船内ニ於テ犯サレタル重罪ニ對シテモ刑ヲ言渡ス場合ニハ海事登録官憲ニ宣告シタル刑ヲ通知セサルヘカラサルコトヲ附記セントス新法第二十五條末項ハ本法ニ依リ定メラレタル重罪又ハ輕罪ニ對シ刑ヲ科シタルトキハ判決又ハ裁定ノ謄本ヲ作成スルノ要アル旨ヲ規定セルカ右ノ謄本ハ犯人カ登録海員ナルトキハ之ヲ犯人ノ登録區ノ海事登録官ニ又犯人カ登録海員ニ非サル事務部員ナルトキハ定繫區ノ海事登録官ニ送付スヘキモトス右ノ刑ノ言渡ノ記載ハ當該海員ノ登録記事ニナサルヘキコト必要缺クヘカラサルモノナリ然レトモ事件ヲ初審裁判所ノ檢事ニ提起シタル海事登録官自ラモ亦司法官憲ヨリ起訴ノ結果ニ付通知ヲ受クルコト同様ニ必要缺クヘカラサルモノニシテ右ハ法律第十九條註釋ノ際説明シタル如ク海事登録官カ前記ノ條件ニ從ヒ刑罰日誌ヲ整理シ得ルカ爲ノミナラス尙刑ノ言渡カ確定シタル際刑罰及紀律ノ新法第二十三條ニ依リ海運ヲ主管スル大臣ニ與ヘタル紀律上ノ權限ヲ行使シ免狀又ハ證書受有ノ刑ヲ科セラレタル海員ニ對シ必要ニ應ジ

爲シ得ヘキ凡ユル提議ヲ右大臣ニ爲シ得ルカ爲ニモ亦必要ナルモノトス余ハ更ニ司法省カ本件ニ關シ司法官憲ト海事登録官憲トノ間ニ密接ナル關係ヲ設定スヘキ明確ナル訓令ヲ一般檢事ニ與フヘキコトヲ要求シタリ

第三十七條ハ被害者ニ對シ凡テノ輕罪及重罪ニ付普通法ニ從ヒ輕罪裁判所ニ於テ民事原告人トシテ行動スルコトヲ許セリ本條ノ原案ハ海事聯合委員會ニ於テ定メラレタルカ如ク更ニ進ミタルモノニシテ被害者ニ對シ加害者ヲ直接召喚スルコトヲ許シタルモノナリキ此ノ規定ハ下院ニ於ケル商船委員會ノ意見ニ基キ議會ニ於テ修正セラレタリ直接召喚ノ濫用ハ危險ナリ普通ノ訴訟事件ニ於テハ右ハ面倒ヲ醸スモノニシテ海事ノ事件ニ關シテハ恐ク更ニ甚シカルヘシ何人ト雖——例ヘハ無資力者ノ如キ——自身出頭スルコトヲ要スル輕罪裁判所ニ呼出スコトニ依リ船員士官又ハ乗組員ノ一部ヲ乗船セントシツアル際陸上ニ足止メセシムルコトハ不可能ナルヘシ

動モスレハ起リ得ヘキ濫用ヲ豫防スルカ爲メ第三十七條ハ刑事訴訟法第百八十二條ノ例外トシテ被害者ハ刑事被告人ヲ直接輕罪裁判所ニ召喚スルコトヲ得サルモ豫審判事ニ訴フルコトヲ得ヘキ旨ヲ定ム

第三十八條ニ關シテハ本條ハ外國船ヲ唯一ノ目標トナセルモノナルコトニ注意スルノ要アリ外國船カ海上警察(第六十三條第一項)又ハ燈火及信號(第八十條)ニ關スル規則ニ違反スル場合又ハ衝

突、水路ヲ妨碍セル坐礁若ハ犠牲者ヲ出セル何等カノ航海事故（第八十一條乃至第八十三條）ヲ惹起セル場合ニ於テハ海事登録官ハ緊急ノ場合右船舶ニ對シ佛蘭西領海ヲ去ル以前ニ保證金ノ提出ヲ要求スルコトヲ得

處罰カ行ハレサリシ場合ニ於テハ保證金ハ民事ノ訴訟費用及賠償金ヲ控除シ海員救濟基金ノ所得トナルモノトス

保證金ヲ寄託スル迄ノ船舶差押ニ關スル決定ノ執行ヲ確保スルカ爲ニ海事登録官ハ第三十八條末項ノ規定ニ從ヒ港務官憲ニ船舶ノ自由出航ヲ差止ムルコトヲ要求シ又ハ自ラ船舶ノ出航ヲ阻止スヘキ實力的手段ヲ命スルコトヲ得ルコトニ氣付クヘシ此ノ場合必要ナルトキハ強制的手段ノ行使ヲ躊躇スヘカラサルモノナルモ常ニ當該船舶ノ掲揚スル國旗所屬國ノ領事ニ豫告シタル後ニ於テ之ヲ行フモノトス

三 不正當不在及職務ノ放棄

商船紀律及刑罰法第三十九條ニ於テハ一八五二年ノ大統領令ニ規定セラレタル犯罪即チ脱船罪ノ代リニ特ニ不正當不在及職務ノ拋棄罪ヲ規定シタルカ右ハ其ノ立案ニ當リ激烈ナル論争ヲ惹起シタルモノナリ

第四十條及第四十一條ハ船長ノ船舶放棄及港灣ニ入ル際自ラ船舶ニ在ラサル場合ニ關スル一八五二年ノ法律第八十一條及第八十三條ノ規定ヲ再録シタルニ過キササルモノナリ脱船罪ハ其ノ起源ヲ航海

ニ關スル最初ノ勅令（一六八一年及一七八四年ノ條例）ニ有スルモノニシテ其ノ名稱ハ登録海員ノ階級及制度ニ依リ商船ニ乗組ム海員ト軍艦ニ乗組ム海員トノ間ニ區別ヲ有セサルモノトス

一八五二年ノ大統領令ノ制度ノ下ニ於テハ二十四時間ノ三倍ノ期間許可ヲ得シテ船舶又ハ命セラレタル職務ヨリ離レ又ハ乗船セスシテ船舶ヲ發航セシメタル總テノ船員換言スレハ船主及船舶ニ束縛セラルル雇入契約ヲ自ラ破棄セル凡テノ海員ハ脱船者ト看做サレタリ不正當不在又ハ職務ノ放棄罪ニ對シ一八五二年ノ立法者カ與ヘタル名稱ハ最早ヤ固守シ得ラレスシテ一九二二年ノ委員會ノ凡テノ委員モ一船主又ハ海員ノ何レモ一之ヲ維持スルコトヲ主張セサリシカ如何ナル名稱ヲ新ニ附與スルカノ事實問題ハ依然重大ナルモノナリキ即凡テノ雇入契約ノ破棄ハ之ヲ刑罰ヲ以テ制裁スヘク且船員カ其ノ雇入レラレタル船舶ヲ去リタルトキハ之ヲ犯罪ヲ犯シタルモノト認ムヘキモノナリヤ反對ニ船員ヲ勞働者ト同視シ雇入契約ノ破棄ハ之カ濫用セラレタルトキハ損害賠償ノ義務ヲ發生セシムルモ刑罰ヲ以テ抑壓セラレ得ヘキモノニアラスト爲スヘキモノナリヤ

一九二二年ノ委員會ハ船内生活ニ於テ發生シ得ヘキ各種ノ事實狀態ヲ審査シタル上斯クノ如キ問題ニ付テハ絶對的ノ原則ニ準據スヘキモノニ非スシテ寧ロ各區別シテ處理スヘキモノナルコトヲ直ニ認メタリ

船員ハ特別ノ義務ヲ有シ或ル點迄其ノ乗船セル船舶ノ運命ニ結ヒ付ケラレ且其ノ雇入契約ハ官憲ノ

監督ノ下ニアルモノナルカ故ニ之ヲ勞働者ト同視スルコトヲ得ス然レトモ船員カ自ラ恣ニ其ノ雇入契約ヲ破棄セル場合常ニ之ヲ懲罰スヘキモノナリトノコトハ右ノ地位ヨリ必然的ニ生シ來ルモノニアラス重大ニシテ制裁ノ要アルモノハ船舶ノ安全及航海ノ成就ヲ害スルニ至ルカ如キ契約ノ破棄ニ止ルモノニシテソハ海員ニ委サレタル監視義務ノ放棄ナリトス

斯クシテ新法ハ脱船ナル古キ觀念ニ代フルニ不正當不在及職務ノ放棄ノ觀念ヲ以テシ刑法ハ私益ニ制裁ヲ科スト云フ批難ヲ最早ヤ生セシメサルニ至レリ

右ノ如キ新觀念ニ指導セラレ聯合海事委員會ハ最初ニ商船紀律及刑罰法第三十九條ヲ次ノ如ク規定シタリ

凡テノ士官、下士官又ハ普通船員カ本國港内ニ於テ監視又ハ安全ノ職務ニ服セシメラレタルトキ其ノ不在カ損害ヲ惹起スルカ如キ性質ノモノナル場合ニ於テ不正當不在ノ罪ヲ犯シタルトキハ之ヲ六日以上六ヶ月以内ノ入獄ニ處ス

凡テノ士官、下士官又ハ普通船員カ勤務中ナルトキ又ハ勤務中ニハアラサルモ其ノ不在カ船内勤務ニ服スルヲ妨ケアルカ如キ結果ヲ生スル場合ニ於テ本國港以外ニ於テ船内不正當不在ノ罪ヲ犯シタル場合ニハ之ヲ前項ニ規定セラレタル罰ニ處ス

右ノ原案ハ下院ノ商船委員會ニ於テ特ニ論評セラレタリ第一ノ報告ニ於テハ右委員會ハ海事登錄官ニ

對シ勤務表中ニ前記ノ如ク問題トナリタル監視及安全勤務ノ何ナルカヲ指示スルノ權能ヲ特ニ附與シ且又期間ヲ定メ又ハ定メサル契約ノ場合船員カ一定期間内ニ雇入契約ヲ解除スルノ意思ヲ表示シタルトキハ本國港ニ於テハ之ヲ前記ノ職務ニ就カシムルヲ得サル旨ヲ明ニナスコトヲ目的トセル或ル重要ナル改正ヲ爲シタリ

聯合海事委員會ハ商船廳長官ノ要求ニ基キ商船委員會ノ提議シタル原案ヲ審議シタリ若シ其ノ違反カ第三十九條所定ノ特別犯罪ヲ構成スヘキ船内ニ於ケル監視及安全勤務ノ何ナルカヲ豫メ定メ得タリトセハ右委員會ハ商船委員會ノ原案ニ全然賛成シタルナルヘシ然レ共海上航行ノ甚々複雑セル未必然性ハ専門家ノ明白ナル意見ニ從ヘハ豫メ爲ス右ノ決定ニ絶對的ニ反スルモノニシテ此ノ事實上ノ理由ノ爲メ聯合委員會ハ商船委員會ノ提議セル方法以外ニ凡テノ船員カ船長ノ權限濫用ニ對シ當然權利ノ保障ヲ求メタリ

聯合委員會ノ採用シタル觀念ニ於テハ右ノ保障ハ二重ナラサルヘカラス先ツ第一ニ海事登錄官カ法律第三十六條ノ適用ニ際シ監視又ハ安全職務ノ放棄ヲ爲シタルモノトシテ告發セラレタル船員ニ對シ提起スヘキ起訴ノ問題ニ付檢事局ニ意見ヲ開陳スルコトヲ求メラレタルトキハ同時ニ如何ナル理由ニ依リ右ノ職務カ監視及安全ニ關スルモノナリト認メラルヘキカヲ指示セサルヘカラス次テ輕罪裁判所ハ右ノ職務カ現實ニ監視又ハ安全ニ關スルモノナリシヤ否ヲ知ル點ニ付判斷ノ自由ヲ有スヘシ聯合

委員會ハ右ハ船内ニ於テ必要ナル秩序ト兩立シ得ヘキ保障ノ最大限ナリト思料シ且其ノ採用シタル規定ノ自由ナル性質ヲ強調スルカ爲ニ尙議會委員會ノ表明シタル希望ニ從ヒ第三十九條ノ最初ノ原案ヨリ不正當不在ノ損害ヲ招ク結果ニ關スル規定ヲ削除シタリ「損害ヲ招クヘキカ如キ性質」ナル極メテ不明確ナル語ハ船主ノ個人的利益ニ關スル勤務ニ付刑事訴追ヲナスト思ハシムルヲ虞レタルモノナリ商船委員會ト同一ノ懸念ニ導カレ聯合委員會ハ船長ノ動モスレハ行フコトアルヘキ專横ニ對シ適當ノ機會ニ其ノ雇入契約ヲ解除スルノ意思ヲ表示シタル後監視又ハ安全ノ職務ニ服セシメラレタル海員ヲ特ニ保障スルコトヲ求メタリ右委員會ハ豫告ヲ伴フ解除ノ權能ハ期間ヲ定メサル契約ノ場合ノミナラス期間ヲ定メタル契約ノ場合ニ於テモ之ヲ行使シ得ルモノニシテ此ノ點ニ關シテハ議會委員會ノ委員ト全然一致スルモノナリ

聯合委員會ハ豫告ノ權利ヲ行使シタル海員ハ船内ニ引止メラレ得ヘキモノニ非サルコトヲ確言スルニ付テモ同様右委員會ト意見一致セリ然レ共右ニ關シ商船委員會ノ提議セル原案ハ實ヲ云ヘハ或ル場合ニ於テハ甚タ長期ニ亘ルヘキ期間タル豫告期間進行シ始メタル後ハ船内ニ於ケル右船員ノ利用ヲ不可能ナラシメラルヘキ點ニ於テ右委員會ノ考ヨリ確ニ行キ過キタルモノノ如ク認メラレタリ聯合委員會ハ一度豫告期間カ經過シタルトキハ期間ヲ定メ又ハ之ヲ定メスシテ契約シタル船員ヲ監視又ハ安全ノ職務ニ服セシムルコトヲ明白ニ船長ニ禁止シ若シ之ヲ犯シタルトキハ船長ヲ本法第四十二條第一

項ニ依リ權限濫用ノ罪トシテ規定セラレタル制裁ヲ科スルコトトナシタルコトニ依リ商船委員會ノ意見ヲ完全ニ尊重シタリト思料セリ

同様聯合委員會ハ海上勞働法第九十八條(第二項)ノ場合即チ權限アル機關カ重大ナル理由ノ爲本國港ニ於テ雇入契約ノ形式如何ニ拘ハラズ船員ノ上陸ヲ許可セル場合ニ於テ船長カ船員ノ自由ニ船舶ヲ去ルコトヲ妨クルトキハ船長ハ同様ノ制裁ヲ受クヘキ旨ヲ定メタリ

最後ニ委員會ハ本國港ニ於テ出帆準備ノ爲當直ニ依ル勤務ニ服セシメラレタルトキ正當ノ理由ナクシテ不在セル船員ハ違犯ノ重大性ニ從ヒ監視又ハ安全ノ職務ノ不正當不在ヲ處罰セルト同様ノ刑罰ニ處セラルヘキコトヲ明瞭ニ定ムルコトニ依リ第三十九條ノ最初ノ原案ニ缺ケタル正確性ヲ齎スコト必要ナリト思料セリ第三十九條ノ最初ノ案文ニ於テハ本國港ニ於ケル監視又ハ安全職務ノ不正當不在ノミ掲ケラレタルカ一度當直ニ依リ勤務ヲ開始シタルトキハ船舶カ海上ニ在ル場合即チ船舶カ完備セル乗組定員ヲ要求スルモノトシテ右原案ノ定ムル懲罰ハ右職務ノ放棄ニ對シテモ行ハルヘシトハ委員會ノ思考セル所ナリキ

右ハ斯クシテ聯合委員會ニ依リ改正セラレタル原案ニシテ議會ノ協賛ヲ得テ法第三十九條トナリタルモノナリ

前記第三十九條ト法律第十條(第一項)及第十四條(第二項)ノ組合セニ依リ船内ノ不正當不在ハ

場合ニ應シ輕微ナル過失、重大ナル過失又ハ輕罪トナリ得ルコトナレリ

「輕微ナル過失」本國港ニ於テ勤務ニ服セサル海員カ四時間以内許可ヲ得スシテ不在セルトキ又ハ勤務カ港内ニ於ケル勤務ノ規則ニ從ヒ組織セラレタル場合、監視又ハ安全ノ職務ニ充テラレサル海員カ四時間以内不在シタルトキ

「重大ナル過失」本國港ニ於テ不在カ四時間以上繼續シタルトキ更ニ不在ノ時間如何ニ拘ハラス船員カ監視又ハ安全ノ勤務ニ充テラレタル場合不在セルトキ船舶ノ勤務カ當直勤務ノ規則ニ依リ組織セラレタル場合ニ在リテハ不在セル船員カ監視又ハ安全ノ職務以外ノ職務ニ充テラレタルトキ亦同シ

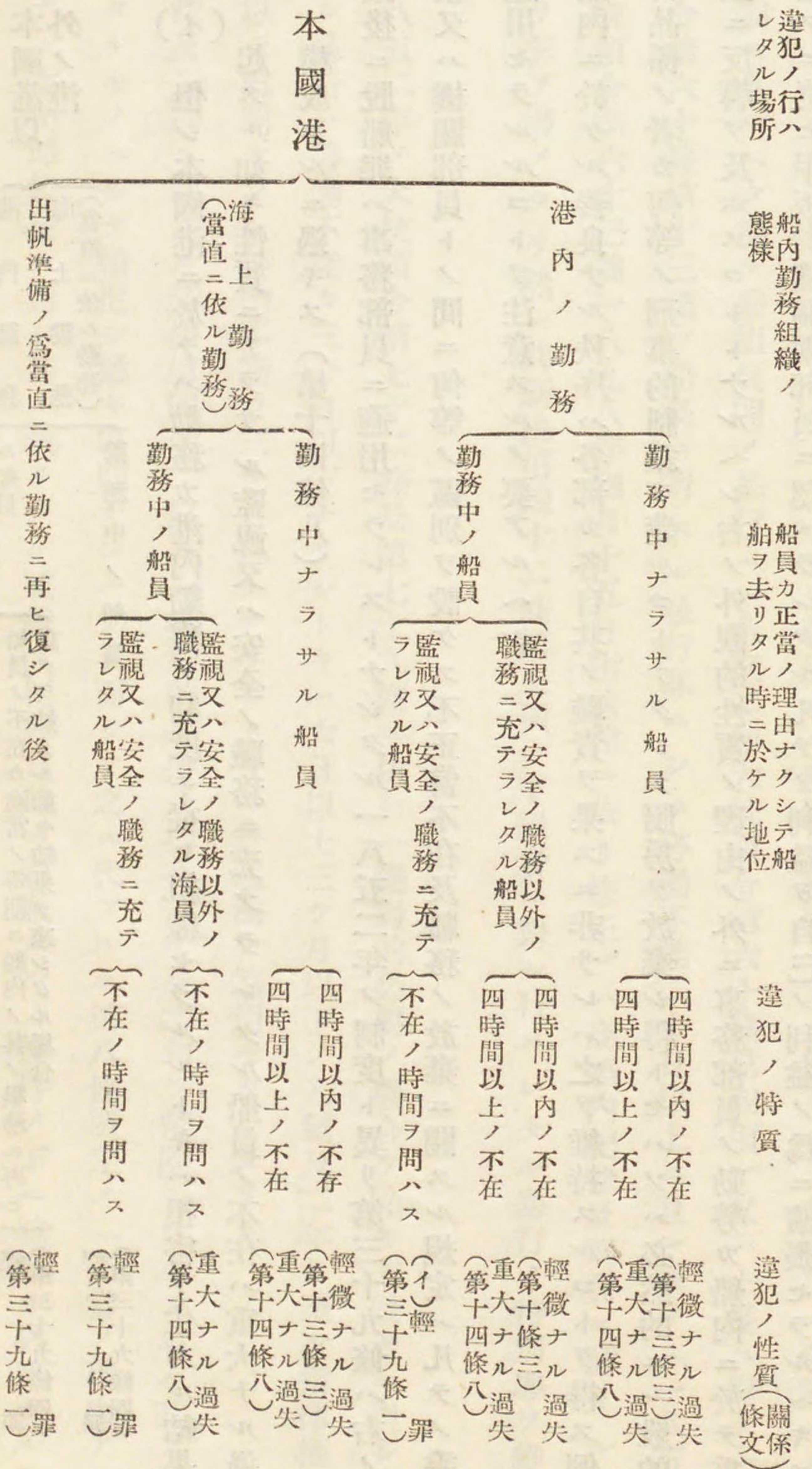
「重大ナル過失」本國港以外ニ於テ不在セル船員カ勤務ニ服セス且其ノ不在カ再ヒ勤務ニ就クヲ妨クル如キ結果ヲ來ササリシトキ

「輕罪」本國港ニ於テ正當ノ理由ナクシテ不在セル船員カ監視又ハ安全ノ職務ニ充テラレ居タルトキ

「輕罪」出帆準備ノ爲ノ當直勤務ニ服シタル後船員カ本國港ニ於テ不正當不在ノ罪ヲ犯シタルトキ又ハ其ノ他ノ港ニ於テ船員カ勤務中不在セルトキ或ハ其ノ不在カ當時勤務ニ服シ居ラサリシモ適當ナル時ニ再ヒ勤務ニ就クコトヲ妨クル如キ結果ヲ生シタルトキ

右ノ規定ハ之ヲ次表ノ如ク取纏ムルコトヲ得

佛蘭西又ハ外國港内ニ於テ惹起セラレタル船内不正當不在



本國港以
外ノ港

港内勤務
勤務中ナラサ
ル船員
（當直ニ依ル勤務）

海員ノ不在カ適當ナル時間ニ船内ノ其ノ職務ニ再ヒ就クヲ妨クル如キ結果ヲ來ササリシ場合
（第十四條九）
船員ノ不在カ適當ノ時期ニ船内ノ其ノ職務ニ再ヒ就クヲ妨クル如キ結果ヲ來シタル場合
（第三十九條四）

勤務中ノ船員

（第三十九條四）
輕罪

(イ) 但シ本國港ニ於テハ勤務カ港内勤務ノ制度ニ從ヒ組織セラルルトキハ損害ヲ生スル結果ヲ惹起スル如キ性質ニアラサル監視又ハ安全ノ職務ニ充テラレタル船員ノ不在ハ重大ナル過失ヲ構成スルニ過キス（第十四條八）

最後ニ脱船罪ハ事務部員ニ適用セラレストナシタル一八五二年ノ制度ト異リ第三十九條ハ右ノ者ト甲板又ハ機關部員トノ間ニ何等ノ區別ヲ設ケス不正當不在及職務ノ放棄ニ關スル規定ハ凡テノ乗組員ニ適用セラルルコトヲ注意スルノ要アルヘシ

船内ニ於ケル善良ナル秩序ハ各部カ各自其ノ職責ヲ果スニ非サレハ之ヲ維持スルコトヲ得ス例ヘハ食料品係ノ者カ何等ノ刑事的制裁ヲ蒙ルコトナクシテ厨房ヲ放棄シ得トセハソハ必然的ニ一般的紀律ノ上ニ反響ヲ及ホスコトトナルヘシ右ノ外觀的性質ノ理由ノ外ニ事務部員ノ勤勞カ船内ニ於テ重要性ヲ増スニ從ヒ甲板、機關兩部員ニ認メラレタル凡テノ利益ヲ自己ノ利益ノ爲ニ擴張セラルヘキモノナリトノ正義的理由モ加ハレルモノナリ

四 船舶内部ノ警察ニ關スル違犯

船舶内部ノ警察ニ關スル違犯ハ新法第四十二條乃至第六十二條ノ目的タルモノトス一八五二年三月二十四日附大統領令所定ノ右ノ違反ニ對シテハ重要ナル改正加ヘラレタリ右ノ違犯カ一般的ニ刑法ニ依リ取扱ハレ且刑罰カ十分ナルトキハ凡テ特別ナル處罰ヲ廢棄シタリ斯クシテ普通法ノ刑罰ノミニ依リ處罰セラルヘク從テ乗組員間ノ暴行（一八五二年大統領令第六十條第四項）又ハ上長ニ對スル暴行（同令第六十條第十三項）船長ニ對スル暴行罪ニシテ勞働不能二十日以上ニ亘ルモノ（一八五二年ノ大統領令第六十三條一八九八年四月十五日附法律ニ依リ修正）ハ商船内紀律及刑罰ニ關スル新制度ヨリ影ヲ潜メタリ然レ共新法第四十二條第三項ハ下級者ニ對シ行ハレタル暴行ノ特別罪ヲ維持セリ

一八五二年ノ大統領令第七十二條及第七十九條ニ依レハ絶對的必要ノ場合ヲ除キ下級者ニ對シ行ハレタル暴行ハ勞働不能カ三十日以下ナリシトキハ六日以上三ヶ月以下ノ入獄及二年ニ至ル指揮權ノ剝奪ヲ以テ處罰セラレ勞働不能カ三十日以上ナリシトキハ普通法カ適用セラレタリキ

紀律及刑罰ニ關スル新法第四十二條ハ「絶對的必要ノ場合」ナル字句ヲ削除シタルカ右ハ其ノ性質漠然タルモノニシテ捕捉シ難キ原則ナレハナリ而シテ之ニ代フルニ第八條所定ノ「正當ノ理由アル場合」ナル文句即船長ニ對シ其ノ執リタル處置ヲ紀律日誌ニ記載スルノ條件ノ下ニ航海ニ必要ナル凡テノ強制力ヲ附與セル條文ヲ以テセルモノナリ

本法ハ結局船長ヲ船内ニ於ケル法律上ノ權力者ト認メタルモノナリ船長カ第八條所定ノ場合ニ於テ正當ニ暴行ヲ行ヒタルトキハ何等ノ罪ヲ犯シタルモノニ非スシテ職務上ノ義務ヲ履行シタルモノナリ之ニ反シ船長カ正當ノ理由ナクシテ暴行ヲナシタルトキハ船長ハ特ニ法律ニ依リ保護セララルモノナルヲ以テ何人ヨリモ重キ責任ヲ負フモノトスサレハ新法カ大統領令ニ於ケル如ク輕減セラレタル制裁ヲ支持セスシテ反對ニ原則トシテ且情狀酌量スヘキ場合ヲ除キ輕減セラレサルヘキ制裁ヲ支持シタルハ正當ナリ右ハ官吏及公吏カ其ノ職務ヲ執行スルニ當リ正當ノ理由ナクシテ犯シタル暴行ニ關スル刑法第百八十六條及第百九十八條ヲ引用シテ第四十二條第三項ノ採用セル普通法ヘノ完全ナル復歸トス

或犯罪ニシテ刑法中ノ既定犯罪ト其ノ性質及重要性ノ類似セルモノアルトキハ此ノ兩者ヲ結付クルコトニ努力拂ハレタリ

斯クシテ第四十四條ハ船内書類上ノ虛偽ノ記載ハ商業帳簿贗造罪(刑法第一四七條)ト同様ノ刑ニ處セララル旨ヲ規定シ第五十條ハ乗組員ニ依ル食料品以外ノ商品ノ變質ハ運送ヲ依託セラレタル陸上運送人ニ依ル商品ノ變質ト同一ノ刑罰(刑法第三八七條)ニ處セララルヘキコトヲ規定シ又第五十三條ハ乗組員ニ依ル船内貨物ノ竊盜ヲ陸上運送人ノ竊盜(刑法第三八六條)ト同視シ尙第五十八條ハ船長ニ對スル暴行ニシテ勞働不能二十日以内ナルモノハ公務ヲ依託セラレタル市民ニ對スル暴行(刑

法第二三〇條)ト同視セリ

他方或ル違犯ノ處罰セララル條件ハ新シキ區別ニ從ヒ改正セラレタリ右ノ種類ニ屬スルモノトシテハ「正式ノ催告アリタル後ニ於ケル命令不服從」ヲ舉クルコトヲ要ス第五十九條ハ如何ナル場合ニ右ノ違犯ハ輕罪トナルカヲ明確ナラシメ且此ノ點ニ關スル一八五二年ノ法律第六十四條ノ規定即チ之ニ依レハ明白ナル命令不服從ハ常ニ輕罪トセラレタルモノヲ著シク改正シタリ海員ノ爲シタル不服從ノ行爲ニ對シ刑罰ヲ科スルニ當リ海事登錄官ヲ指導スルカ爲ニ余ハ後ニ掲クヘキ右ニ關スル新法ノ規定ノ略說ニ其ノ注意ヲ向ケンメントスルモノナリ

證人ノ面前ニ於テ上級者ヨリ勤務上ノ命令ニ關シ正式ノ督促アリタル後之ニ對シ反抗ヲ伴ハサル單純ノ不服從ヲ示シタルトキハ紀律上ノ輕微ナル過失ヲ構成シ(法典第十條第一項)且如何ナル場所ニ於テモ然リトス

勤務上ノ命令ニ對スル不服從又ハ反抗ハ違犯カ一方本國港ニ於テ行ハレタルカ他方海上又ハ本國港以外ノ港ニ於テ行ハレタルカニ應シテ詮議セラレサルヘカラス

本國港ニ於テハ命令カ船舶ノ監視又ハ安全ヲ確保スル爲ニ發セラレ且其ノ不履行カ損害ヲ與フル結果ヲ惹起スルカ如キ性質ノモノナル場合ニ於テ違犯カ船長又ハ船長ヨリ特ニ指名セラレタル士官ニ依ル正式ノ催告アリタル後行ハレタルトキハ輕罪ヲ構成ス(第五十九條第二項及第三項)又違犯カ船長

ニ依リ特ニ指名セラレタルニ非サル上長ニ依ル正式ノ催告アリタル後行ハレタルトキハ重大ナル過失ヲ構成ス(第十四條第二項) 上長ニ依ル正式ノ催告アリタル後命令カ前記條件ニ依ラスシテ與ヘラレタルトキモ亦違犯ハ重大ナル過失ヲ構成ス(第十四條第二項)

海上及本國港以外ノ港ニ於テハ命令ノ性質如何ニ拘ハラズ違犯カ船長又ハ船長ニ依リ特ニ指名セラレタル士官ニ依ル正式ノ催告アリタル後行ハレタルカ又ハ之カ特ニ指名セラレタルニ非サル上長ニ依ル正式ノ催告アリタル後行ハレタルカニ應シ之ヲ區別セサルヘカラス第一ノ場合ニハ輕罪トナリ(第五十九條第一項及第三項) 第二ノ場合ニ於テハ重大ナル過失トナル(第十四條第二項)

或ル違犯ニ對シテハ刑ハ加重セラレタリ右ノ種類ニ屬スルモノトシテハ上長ノ權限濫用ヲ舉クルコトヲ要ス一八五二年ノ大統領令第七十九條ニ依レハ權限ノ濫用ニ對スル制裁ハ最長二年間ノ指揮權ノ禁止ヲ伴フ六日以上三ヶ月以内ノ入獄ナリシカ新法第四十二條ハ裁判所ヲシテ重大ナル場合ニ於テハ懲戒罰ヲ宣告スルコトヲ得シムルカ爲ニ入獄ノ最長期ヲ六ヶ月トセリ

最後ニ次ノ如キ新シキ違犯規定セラレタリ
下級者ニ對スル侮辱

一八五二年ノ大統領令ハ下級者ニ對スル侮辱ヲ豫想セル何等ノ規定ヲ包含セサリシカ新法第四十二條第二項ハ船舶乗組員ニ對スル言語、舉動又ハ威嚇ニ依ル侮辱ヲ輕罪ト爲シ之カ刑罰ハ上長ニ對スル

侮辱ニ付第五十七條ノ規定スルモノト同一ナラシメタリ海員代表ノ要求ニ基キ聯合委員會ハ士官ト普通船員トノ間ニ同様ナル權衡ヲ保ツヲ公平ナリト認ムルコトニ一致シタリ各自ハ其ノ職務ヲ執行スルニ當リ其ノ下級者ニ對シテモ上長ニ對シテモ正確ト自尊心ヲ保ツノ義務ヲ有ス此ノ義務ニ違反シタル者ハ同様ノ刑罰ニ依リ制裁ヲ與ヘラレサルヘカラス

乗船者ニ交付セラルヘキ手紙ノ隱匿

然シ乍ラ第四十九條所定ノ刑罰ハ官吏ニ依リ犯サレタル類似ノ犯罪ヲ規定セル刑法第一八七條ノ刑罰ヨリ輕シ第四十九條ノ場合ニ於テハ本來ノ職務カ通信ノ配付ニシテ其ノ爲ニ報酬ヲ受ケ居ル者ニ關スルニアラサルコトヲ忘ルヘカラス

前拂金ノ騙取

第五十四條ハ不幸ニシテ特ニ海上漁業ニ於テ頻繁ニ起ル場合ヲ目途トス海上漁業ニ於テハ船主ヨリ前拂金ヲ受領シタル海員ハ船内勤務ニ服スル爲乗船セス且前渡金ヲ返還セスシテ不正直ニ船主ノ金ヲ騙取スルモノアルナリ右ノ行爲ハ竊盜トモ詐欺取財トモナラス刑法ノ適用ノ範圍ニ入ラサルモノナリシカ第五十四條ハ今後法制ノ此ノ缺陷ヲ補フコトトナレリ

正規以外ノ量ノ酒精ノ秘密搭載

酒精中毒ト抗爭スルカ爲ニ一九〇七年四月十七日附法律第三十一條ハ商船廳長官ニ對シ省令ヲ以テ

船内ニ搭載シ且乗組員ニ分配シ得ヘキ酒精飲料ノ最大限ノ分量ヲ定メ得ヘキ權限ヲ與ヘタルカ制裁ノ見地ニ於テハ一九〇七年ノ法律ハ不完全ナルモノナリキ該法律ハ其ノ規定ヲ無視シタル船主ニ對シ罰金ノ刑ヲ定メタルカ船主ノ知ラサル間ニ且航海監督官ノ検査ヲ侵シテ爲サレタル酒精ノ搭載ニ關シテハ何等規定スル所ナカリキ此ノ缺點ハ新法第五十五條ニ依リ補足セラレタリ

紀律ニ對スル重大ナル過失ノ反覆カ輕罪トナル場合ヲ規定セル第六十二條ハ特記ニ價值アルモノトス新法第十五條ニ依レハ重大ナル過失ノ同一乗船期間内ニ於ケル最初ノ累犯ハ單ニ重大ナル過失ニ止ルヲ知ルヘシ若シ右ノ累犯カ二ヶ月又ハ一ヶ月ノ期間内ニ於テ行ハレタリトセハ紀律上ノ禁錮ノ刑ハ士官ナルカ又ハ普通船員ナルカニ從ヒ單ニ加重セラレ十日ニ至ルモノトス從テ輕罪ト認メラルモノハ同一乗船期間内ニ行ハルル第三番目ノ重大ナル過失及之ニ引續ク重大ナル過失トス然レトモ第六十二條ハ過失ノ性質及事情カ緩和ヲ許シ得ヘキモノナルトキハ海事登錄官ハ違犯ニ對シ重大ナル過失タル性質ヲ保存シ且之ニ對シ新法第十五條ニ定ムル刑罰ノ一ヲ適用スルコトヲ得

兎モ角同法第十條ニ依リ紀律ニ對スル輕微ナル違犯ト認メラレタル違反ハ假令反覆セラルルトモ決シテ輕罪ヲ構成スルコトヲ得ス或ル者カ累犯者トナリタル場合ト雖輕微ナル過失ニ對シ輕罪裁判所ニ送致セララルルハ法外トセラレタリ犯罪者ノ受クル禁錮ノ刑ニ關シテハ第六十二條ハ六日乃至六ヶ月

ノ入獄ヲ定ム一八五二年ノ制度(令第六十條)ノ下ニ在リテハ右ハ二年ニモ達スルコトヲ得タルモノナリキ

最後ニ次ノ如キ船長ニ特別ナル違反ヲ目的トセル若干ノ條文ノ規定ニ付注意ヲ喚起スルノ要アルヘシ

第四十三條ハ一八五二年ノ大統領令第四十八條、第八十三條及第八十六條ニ對應スルモノニシテ船内ニ於テ行ハレタル輕罪又ハ重罪ノ檢證ニ關シ又ハ戶籍吏ノ資格ニ於テ船長カ其ノ義務ヲ履行セサルコト並船舶日誌、紀律日誌及船内備付ヲ必要トスル法定ノ其ノ他ノ書類ヲ備付クル義務ヲ履行セサルコトニ對シ制裁ヲ加フルモノトス特記スヘキ新機軸ハ船長カ正當ノ理由ナクシテ佛蘭西人海員救濟基金關係者ノ疾病、傷痕又ハ死亡報告ノ提出ヲ怠リ又ハ之ヲ拒ミタルトキハ之ヲ身分證書ノ作成ヲ拒絕ト同視セル輕罪ヲ犯セルモノト爲セル點ニアリ

第四十四條ハ船内書類上ノ虛偽ノ記載ヲ公正證書又ハ商業若ハ銀行帳簿ノ贗造罪ト同視セルモノトス

第四十五條ハ船舶ノ指揮權ヲ放棄シ且承諾ニ依リ指揮權ノ奪取ヲ援助セル船長ニ關スルモノナリ一八五二年ノ大統領令第八十二條ニ依レハ奪取カ船舶ノ運航又ハ操縦ニ關スル場合ニ於テノミ違犯アリトセラレタリキ右ノ制限ハ新條文ニ於テハ消失シタリ輕罪トナルカ爲ニハ指揮權行使ニ依リ生スル船長

ノ本來ノ職務例ヘハ紀律上ノ職務ノ如キモノノ全部又ハ一部ヲ第三者カ奪取セルヲ以テ足レリトス但シ指揮權ニ關係ナキ船長ノ商業上ノ權限ヲ除外スルハ當然ノコトトス

第五十六條ハ船長カ其ノ船内ニ於テ酩酊ノ状態ニアル場合ニ關スルモノナリ一八五二年ノ大統領令第七十八條ハ船舶操縦ノ責ニ當レルトキ酩酊セル船長ノミニ適用アルモノトス然レトモ違反ハ船舶カ港灣ニ在ル時ト雖存在スヘキモノナルコト明カナリ船長ノ權限ハ繼續的ニ行使セラルルモノニシテ運航ノ安全紀律ハ上長ノ威信ト共ニ如何ナル場合ト雖酩酊罪ノ懲罰ヲ必要ナラシムルモノナリ之レ第五十六條カ常習的ニ酩酊スル船長ニ對シ特ニ刑罰ヲ倍加セル所以ナリ但シ法律第二十三條ニ依リ商船廳長官ニ附與セラレタル紀律上ノ權限ヲ船長ニ對シ行使スルヲ妨ケサルモノトス

五 航海警察ニ關スル違犯

航海警察ニ關シ規定セラレタル違犯ハ以前ニ於テハ船員名簿ニ關スル一八五二年三月十九日ノ大統領令又ハ局地沿海航路ニ關スル一八五二年三月二十日ノ大統領令或ハ一八五二年三月二十四日附大統領令ニ依リ更ニ海上航行ノ安全ニ關スル一九〇七年四月十七日附法律等ニ依リ抑壓セラレ居タリ右ハ今日ニ於テハ新法第六十三條乃至第七十八條ノ規定ノ目的タルモノトス

然レトモ右ニ關スル違反ノ種類ハ新犯罪ノ創設ニ依リ著シク増加セラレタリ其中ニハ船長ニ依リ訴訟記録ノ引受又ハ犯人輸送ノ拒絶(第六十四條)權限アル佛蘭西官憲ニ通知セスシテ船長ニ依リ爲サ

レタル乗組員又ハ疾病若ハ傷痍海員ノ陸上ヘノ遺棄(第六十七條)航海ヲナスカ爲ノ船内潜入ノ行爲(第七十四條)右ハ密航ノ懲罰ニ關スル一九二三年三月三十日附法律ノ條文ノ再録ニ過キス一運送ノ爲ノ積荷目録ニ記載セラレサル貨物密搭載ノ行爲(第七十五條)等ヲ數フルコトヲ得

特ニ第七十條及第七十三條ニ付記載スルノ要アルヘシ第七十條ハ指揮ノミナラス法規ノ要求スル條件ヲ滿サスシテ船内ニ於テ行ハルル其ノ他ノ凡テノ職務ヲ規定ス

法律第四十五條ハ指揮權ノ奪取ヲ處罰スルモ其ノ定ムル制裁ハ凡テノ場合ニ對シテハ十分ナラサルモノトス指揮權ハ事實ニ於テ奪取セラレサリシコトアリ得ルナリ指揮權ハ船長ノ委任ニ依リ船員名簿ニ從ヒ行使セラレ得ルモ依然不法タリ得ルコトアリ即チ僞造又ハ借用シタル免狀ニ依リ指揮ヲ委託セラレタル者ノ如キ之ナリ第七十條ハ斯ル者ニ依リ犯サレタル犯罪ヲ處罰スルコトヲ認ム

同條ハ更ニ規則ノ要求スル免狀ヲ具ヘスシテ船内ノ職務ヲ行使スル凡テノ者ニモ適用アリ右ノ場合ハ一九〇七年四月十七日附法律第三十三條及第三十七條ニ定メラルル場合ト區別セラルル右ノ法律ハ資格アル職員ノ所要數ヲ乗船セシメサル船主又ハ船長ノミヲ目的トスルモノナルモ右ノ兩者ヲ自己ノ所有ニ非サル免狀ヲ提出スル者ニ欺カレタル場合ハ右法律第三十三條乃至第三十七條所定ノ犯罪ハ存在セス夫ニモ拘ハラス船員ニ依リ犯サレ且懲罰ノ要アル犯罪殘ルモノナリ之レ法律第七十條ノ規定アル所以ナリ

第七十三條ハ海員ノ雇入契約ノ保護ヲ目的トスル新犯罪ヲ創設セリ右ハ虚偽ノ身分證書ヲ故意ニ提出シテ海上雇入契約ヲ締結シ又締結セント試ミタル凡テノ者ヲ入獄ノ刑ニ處セリ海員ハ斯クシテ身分證書ノ窃盜及戸籍ノ横領ヨリ保護セラレ船主ハ偽名ニ依リ締結セラルル雇入契約ニ對シ保護セラルヘシ

六 航海ニ關スル特殊ノ違反

航海ニ關スル違反ハ今日ニ至ル迄一方一八九一年三月十日附法律ノ規定ニ依リ他方一八五二年三月二十四日附大統領令第八十七條ノ適用ニ依リ抑壓セラレ居タリキ一九一三年六月十六日附命令ニ依リ定メラレタル明瞭ナル規則ハ水先人カ航海事故ノ際責任ヲ負フヘキトキ適用セラル一八〇六年十二月十二日附法律第三十一條所定ノ刑事制裁ハ不可能トナリタルヲ以テ水先人ノ航海上ノ過失ハ單ニ紀律上ノ制裁ヲ生セシムルニ過キサリキ

右ノ舊規定ハ今日ニ於テハ新法第八十六條實施ノ爲制定セラレタル本年三月十九日附命令ノ規定ニ依リ既ニ補足セラレタル右法律第七十九條乃至第八十七條ニ依リ代ハラレタリ而シテ右ハ商船廳長官ノ航海者ニ對スル紀律上ノ權限行使ノ條件ヲ定メ且新法第二十三條ノ創設スル調査委員會ノ組織及權限ヲ規律スヘキ同法第二十三條ニ定ムル命令ノ公布ニ依リ近ク同様有利ニ補足セラルヘシ

第七十九條乃至第八十七條ノ規定ハ一般的ニ船舶操縦ノ責ヲ負ハサレタル者又ハ航海事故ヲ惹起ス

ルニ至レルカ如キ過失若ハ怠慢ヲ爲シタル凡テノ者ニ適用セラル第八十條乃至第八十三條ハ外國船ニ適用アルコト從ツテ之ヲ第三十八條ノ規定即チ佛蘭西領海ニ於テ惹起セラレタル航海事故ノ結果責任ヲ問ハルヘキ船舶ノ船長、士官又ハ乗組員ニ對シ宣告セラレ得ヘキ刑ノ執行ヲ確保スルカ爲外國船ヲ差押ヘ且保證金ノ寄託（第八十七條）ヲ要求シ得ルノ權限ヲ海事登錄官ニ與ヘタル規定ト關連セシムルヲ便宜トスルコトヲ特記スルノ要アルヘシ

海事犯罪ノ裁判管轄及訴訟手續ニ關シ前述セルコトハ全部航海ニ關スル犯罪ノ場合ニモ同様適用セラル從テ斯ル犯罪ヲ審理スル權限ヲ有スルハ輕罪裁判所ナルカ之ニ關シ新法實施ノ際或ル地方ニ於テハ二三ノ批評ヲ試ミタルモノアリシモ其ノ反響ナカリキ故ニ之ニ對シテハ何等耳ヲ藉スノ要ナカルヘシ如何トナレハ右ハ普通法ノ裁判管轄ヘノ復歸ノ一般原則ノ適用ニ過キササルモノニシテ其ノ利益ハ不利益ニ比シ遙ニ大ナルモノアルナリ——右ノ如キ輕罪裁判所ノ管轄ハ同様ニシテ本質的ニ技術的ナル鐵道事故ニ關シテモ嘗テ爭ハレタルコトナシ——更ニ民事訴訟ハ一八九一年三月十日附法律第二十一條ニ從ヒ特別海商裁判所ニ於テ受理セラレサルヲ以テ普通法ノ裁判所ハ既ニ以前ヨリ民事事件ニ於テハ航海事故ニ引續ケル訴訟ヲ審理シ且海事ニ關スル重大ナル責任問題ヲ判決セサルヘカラサリシヲ以テナリ

尙特ニ海事犯罪ノ種類ニ本質的ニ入ルヘキ船舶ノ喪失、坐礁、衝突等ノ犯罪ニ付テハ初審裁判所ノ檢

事ハ第三十六條所定ノ原則ニ從ヒ海事登録官ノ適當ナル意見ニ基クニ非サレハ之カ懲罰ヲ起訴スルコトヲ得サルヘシ

特ニ技術的複雑且面倒ナル此ノ問題ニ付新法制ハ海事登録官ニ自ラ甚タ重大ナル責任ヲ執ルヘキコトヲ委任シタルコト確實ナリ一八九一年三月十日附法律ノ制度ノ下ニ於テハ同趣旨ノ決定ハ行政及技術各當局ヨリノ事件記録ヲ審査シタル後大臣ニ依リテノミナサレタルモノナルヲ以テ右ノ責任ハ實際ニ於テハ愈々重大ナルモノノ如ク認メラレタリ然シ乍ラ右ノ責任ハ檢察官又ハ豫審判事ノ職ヲ行フ司法官カ毎日執ルヘキ責任ト同一性質ノ責任ニシテ且右ハ正シク海事登録官ノ職務ヲ次第ニ擴張シ個人的權限ヲ許容シ眞ノ司法官タラシメントスル客年十二月十三日及十七日附法律ニ依ル此ノ新法制ノ特色ナルコトヲ注意スルノ要アルヘシ此ノ種職員カ速ニ其ノ新シキ任務ニ順應シ其ノ規律スヘキ此ノ種事件ノ實行ノ結果次第ニ責任ノ習慣ヲ得ルニ至ルヘキコトハ疑ヲ容レサル所ニ屬ス

尙又紀律及刑罰法第八十六條ハ第八十條乃至第八十五條ニ定メラルル犯罪ニ關シテハ海事登録官ハ命令ニ依リ定メラルヘキ條件ニ從ヒ其ノ行フ對質調査ニ依テノミ之ヲ檢事ニ訴ヘ得ル旨ヲ定ム右命令ハ關係職業團體ノ最モ重要ナル代表者ノ贊成ヲ得テ作成セラレ最近一九二七年三月十九日ノ日附ヲ以テ公布セラレタリ

余ノ去ル二月八日附電報通牒ハ第八十六條所定ノ對質調査ニ付守ルヘキ條件ニシテ既ニ本命令カ規律シタルモノニ關スル概略ノ訓令ヲ與ヘタリ此ノ調査ハ海事登録官カ二人ノ立會人ノ協力ヲ得テ之ヲ行ハサルヘカラス右ノ立會人ノ一人ハ必ス航海監督官ニシテ他ハ各場合ニ應ジ依頼スルノ要アル特別ナル能力ノ性質ニ從ヒ選擇セラレタル遠洋航路船長、水先人又ハ他ノ技術家（機關士、造船技師、海軍士官）等トス

右調査ノ實行ハ海事登録官自身ニ依リ又ハ自身ノ爲ニナサルヘキモノナルヲ以テ調査委員會ニ何等關係スルモノニアラス申立ヲ蒐集シ供述ヲ聽キ又ハ必要ト認ムル檢證及對質ヲ行フコトニ關スルモノナルコトニ留意スヘシ調査員タルノ唯一ノ官吏ハ海事登録官ニシテ立會人ノ補助的任務ハ純然タル諮問且技術的性質ノモノトス立會人二人中ノ一人ハ既ニ舊制度ノ下ニ於テ行ハレタル方法ニ從ヒ宣誓ヲナシタル官吏タル航海監督官タルヘク他ハ實際的且出來得ル限り専門的ノ技術家トシテ特ニ參加スルモノタルヘシ立會人タル船長ハ成ルヘク港内ニ現在シ得ヘキ現職ノ船長又ハ安全検査委員會ノ委員タル船長中ヨリ選擇セラルヘシ水先人ニ關シテハ同一ノ詰所ノ水先人又ハ之ヲ缺クトキハ隣ノ詰所ノ水先人中ヨリ之ヲ選擇シ得ヘキモノトス右兩者共其ノ海事登録官ニ立會ヒ臨席スルハ責任ヲ問ハルヘキ船長、水先人又ハ其他ノ職員若ハ普通船員ノ利益ヲ擁護スルカ爲ニアラスシテ單ニ事件ノ内容ヲ明瞭ナラシメ責任ヲ表ハスカ爲ナリトノ觀念ヲ十分了解スルヲ要スヘシ從テ右ノ立會人ハ凡ユル職業的連帶ノ意識ヲ除外シ且眞實ノ探索ニ付最大ノ公平ヲ示ササルヘカラス

本年三月十九日附命令第二條ハ航海監督官及航海者又ハ技術家タル第二ノ立會人ハ海事登録局長ニ依リ指名セラルヘキコトヲ定ム此ノ場合當然問題トナルハ航海事故ニ關シ調査ヲ行フノ必要生シタルトキハ直ニ登録區ノ長ヲシテ信任シ得ヘキ立會人ノ協力ヲ要求シ得シムル様其ノ提議ニ基キ豫メ右立會人ノ指名ヲ爲シ置クコトトス多數ノ検査官存在スル中心地ニ於テハ各登録區ノ監督官中ニ於ケル割當ハ資格ヲ有スル監督官カ必要ナル場合直ニ召集シ得ラルル様ニ定メラレサルヘカラス官吏ニアラサル立會人ニ關シテハ——其ノ協力ニ對シテハ何等ノ報酬ヲ與ヘス必要アル場合唯其ノ旅費ヲ支拂フニ過キス——右ハ一定ノ時期ニ定メラルル名簿ニシテ其ノ中ニハ十分證明セラレタル其ノ職業上ノ價值及技術上ノ能力ニ基キ選擇セラレタル専門家ノミヲ記載シタルモノニ付各箇ノ場合ニ選擇スヘシ右ノ表中ニハ先ツ第一ニ平素頻繁ニ港ニ來リ且相當長期ニ亘リ定期的ニ同處ニ滞在スル現職ノ航海者ニシテ且之等ノ専門家カ航海ノ規則及其ノ最近ノ進歩ニ關スル智識ニ付最モ嚴肅ナル保障ヲ提供シ得ルモノヲ包含セシメ次テ第二ニハ其ノ場所ニ現在シ且直ニ要招ニ應シ得ヘキ非職ノ航海者ヲ包含セシム後者ハ先ツ第一ニ緊急ノ場合次テ沿岸小型船舶ノ事故ニ關スル場合、最後ニ或ル忌避ノ理由カ海上登録官ヲシテ右ノ表ニ掲載セラレタル現職ノ航海者ヲ立會ハシムルコトヲ妨クル場合ニ之ヲ召集スルモノトス此ノ技術者ノ協力ニ依リ海事登録官ノ任務ハ著シク容易ニセラルルモノナリ兎モ角海事登録官ハ

此ノ調査ノ重要性ヲ十分考慮ニ入ルルコト肝要ナルヘシ右ノ調査ハ動モスレハ長期ニ亘リ且經費嵩ムヘキ鑑定ノ代リニ職業的及航海的ノ過失竝其ノ責任ヲ明瞭ナラシムル詳細ナル調査ニ基キ初審裁判所及輕罪裁判所ノ検査ヲシテ必要ニ應シ犯人ノ罪責判斷ノ基礎ヲ作成セシムルニ足ルヘキモノナラサルヘカラス

調査ノ對質的特質ハ船長、水先案内人又ハ訴訟關係船員ノ訊問ニ在リ右ノ船員ハ自己ニ對シ提起セラレタル告訴ノ各々ニ付必要アル場合ニハ其ノ補佐人ノ面前ニ於テ防禦方法ヲ講シツツ聽問セラレ且一九二七年三月十九日附命令第三條及第四條所定ノ條件ニ從ヒ防禦方法上其ノ必要ト認ムル凡ユル補足的取調ヲ要求スルコトヲ許可セラレサルヘカラス

余ハ特ニ一九二七年三月十九日附命令第五條第二項ニ付注意ヲ喚起セントス右ノ條文ハ船長、船舶職員、水先案内人及普通船員ニ付指摘セラレタル過失カ第八十條乃至第八十五條所定ノ犯罪ヲ構成セサル場合ト雖右カ重大ナル過失ノ場合ニハ法律第二十三條所定ノ調査委員會ヲ召集シタル後大臣ヲシテ紀律上ノ權限ヲ行使セシムルヲ妨ケサル旨ヲ定ム輕罪裁判所ニ訴訟ノ提起セララルヘキハ明確ニ特性ヲ示サレタル犯罪ノ場合ニ限ルモノトス

第二十三條及第二十四條ニ依リ大臣ニ附與セラレタル紀律上ノ權限ト第七十九條乃至第八十七條所定ノ刑事制裁トハ調和シ得ヘク且航海上ノ過失ノ全然特別ナル性質ヨリ觀ルモ場合ノ輕重ニ應シ右ノ

何レカ行使シ得ルハ甚タ便利ナルモノト認めラル
然シ乍ラ法律第三十六條ニ從ヘハ犯罪ヲ分類シ之ヲ起訴スルハ初審裁判所檢察ノ權限ニ屬スルモノ
ナレハ調査ヲナスヘキ海事登録官カ或ル事件ハ司法上ノ追及ヨリモ寧ロ紀律上ノ追及ヲ受クヘキモノ
ナルコトヲ決定スル前ニ初審裁判所ノ檢察ト協議スルハ常ニ多大ノ便宜アルヘシ
第三十七條ニ基キ上ニ述ヘタル如ク被害者ハ——難破又ハ衝突ノ場合ニハ常ニ大ナル利害關係アリ
——犯人ヲ輕罪裁判所ニ直接召喚シ得サル場合ニハ少クトモ事件ヲ豫審判事ニ提起シ得ルモノナルコ
トヲ忘ルヘカラス從テ此ノ場合明瞭ニ輕罪又ハ重罪ノ性質ヲ有スル事件ヲ紀律裁判所ニ送致スルコト
ハ著シキ不便ヲ來スコトトナルヘシ

特別海商裁判所ハ航海事故ヨリ生シ得ヘキ私訴ヲ審理セサリシモ輕罪裁判所ニ於テハ提起セラレタ
ル犯罪ニ關シ其ノ審理ヲ行フモノナルコトヲ記憶スルノ要アルヘシ被害者ハ刑事訴訟法所定ノ條件ニ
從ヒ右裁判所ニ訴訟ヲ提起スルコトヲ得ヘク右裁判所ハ斯クシテ第七十九條又ハ第八十一條ノ規定ニ
對スル違犯ノ爲船長ニ對シ訴訟ヲ提起セラレタル場合ハ坐礁、難破、衝突ノ民事上ノ結果ニ付判決ス
ルコトヲ要スルモノトス

一九二七年三月十九日附命令第六條ハ調査ノ結果船長、士官又ハ水先案内人ニ對スル特ニ重大ナル
嫌疑明瞭トナリタル時ハ之等ノ者ヨリ一時指揮又ハ水先案内ノ權利ヲ剝奪スルノ權限ヲ貴下ニ與ヘタ

ルコトニ氣付クヘシ此ノ場合貴下ノ決定ニ對シテハ商船廳長官ニ上訴シ得ルモノトス

七 海員特ニ商船士官ノ紀律規則

前記ノ如ク商船廳長官ハ海員特ニ船内ニ於テ指揮權ヲ行使スル者ニ對シ其ノ紀律上ノ權限ヲ保持ス
新法制ハ乗船中ノ船長、小船船長、士官又ハ海員ノ犯シ得ヘキ重大ナル職務上ノ過失ニシテ刑事制裁
ヲ免レタルモノニ付自ラ判決スルノ傳統的特權ヲ確保セリ右ノ法制ハ又多クノ場合調査委員會ノ意見
ヲ聽クノ義務ヲ伴フモ凡ソ體面ヲ毀損スル重大ナル過失ヲ犯シ加辱刑ノ言渡ヲ受ケ船舶ノ全損ヲ惹起
シ又ハ不治ノ身體的無能力ヲ曝露シタル航海者ヨリ其ノ受有免狀ニ附與セラレタル權利ノ全部又ハ一
部ヲ一時的又ハ確定的ニ剝奪スルノ權利ヲ保持ス最後ニ右ノ法制ハ刑事制裁ニ附加セララルル紀律上ノ
制裁ヲ與フル爲本法自身ノ定ムル輕罪又ハ航海ノ安全ニ關スル一九〇七年四月十七日附法律ニ依ル輕
罪ニ付確定的ノ有罪判決ヲ受ケタル凡テノ海員ヲ調査委員會ニ送致スルノ權利ヲ保持セリ之航海者ノ
紀律上ノ憲章ヲ構成シ且此ノ特別法中最セ興味深キ特色ノ一ヲ示セル條文タル一九二六年十二月十七
日法律第二十三條乃至第二十四條ノ目的タルモノトス新法以前ニ於テハ船長ニ對シ指揮權行使ノ權利
ヲ又免狀受有ノ航海者ニ對シ其ノ免狀行使ノ權利ヲ停止又ハ剝奪スルコトヲ定メタル法制ハ可成リ混
雜セルモノナリキ右ニ關シテハ一方一八九一年三月十日附法律ノ規定特ニ第六條アリ他方附加刑ノ名
義ヲ以テ指揮ノ禁止ヲ宣言セル一八五二年ノ大統領令中ニ散在セル規定例ヘハ第八十一條ノ如キモノ

アリ此ノ後者ノ規定ハ一八九八年四月十五日附法律ニ依リ一八五二年ノ法律中ニ挿入セラレタル第八十二條ノ二ト結合セシムヘキモノトス最後ニ本件ニ關シ大臣ニ相當ノ權限ヲ與ヘタル右大統領令（一八五二年）第八十七條ノ規定アリキ

是等ノ諸條文ノ對照ヨリ次ノ如キ結果ヲ生シタリ即チ若シ船長カ不注意又ハ無能ノ爲（一八九一年法律第六條）其ノ船舶ヲ喪失シ又ハ航海規則ノ違反ニ依リ負傷者ヲ出セル衝突ヲ惹起シ（同法第二條）又ハ衝突ノ後救助ヲ爲サスシテ衝突ノ後救助ヲ爲サスシテ衝突ノ相手船舶ヲ放棄シタルトキハ船長ハ指揮權剝奪ヲ以テ處罰セラレ得ヘク特別海商裁判所ハ右ノ刑罰ニ關シテ上訴シ得サルモノト宣告シタリ

他方船長カ權力ノ濫用、暴行又ハ一八五二年ノ大統領令中ニ限定的ニ列舉シタル或ル種ノ他ノ犯罪ヲ犯シタル場合之ニ對スル指揮權ノ決定的又ハ一時的剝奪ノ附加刑ヲ規定シタル場合モ亦此ノ刑罰ニ處セラレ得ヘキモ此ノ度ハ通常海商裁判所ニ依リ宣告セラルルモノニシテ此ノ場合ニ於ケル決定ハ上訴ノ途ナキモノニアラス大臣ニ對シ爲シ得ヘキ特別ナル性質ノ上訴方法アリ（第八十二條ノ二）

最後ニ其ノ他ノ凡テノ場合例ヘハ重大ナル怠慢ニ依ル坐礁ノ場合、負傷者ヲ出ササル衝突ノ場合一言ニシテ云ヘハ條文ノ示ス如ク「其ノ必要ト認ムルトキ」ハ大臣ハ繼續シテ即チ舊法ノ傳統ニ從ヒ（參事院一九〇六年一月十九日）指揮權ヲ剝奪又ハ停止セシムルコトヲ得ヘシ

右ノ法制ハ同一性質ノ行爲ニ對シ異リタル裁判管轄ヲ認メ且各種ノ上訴方法ヲ與フルノ不便アリ他方最モ重大ナル場合ニ於テハ右ノ法制ハ船長ニ或ル保障ヲ與ヘ刑ノ期間ヲ定メタルモ右ノ刑罰ニ付テハ何等ノ限界ヲ定メス又士官ニ對スル被害ノ訴カ不正確ナルカ爲最モ危險ナル專横ト最モ容易ナル權力濫用ヲ惹起シタル場合ニ於ケル對質調査以外ニ何等ノ手續ヲモ定メサリキ從テ更ニ合理的ナル制度ニ到達スルコト必要缺クヘカラサルモノナリキ

指揮權ヲ行使スル爲又甲板部又ハ機關部ニ於ケル次席或ハ當直主任トナルカ爲ニハ或ル免狀ヲ受有スルコトヲ要スル旨ヲ法律ニ於テ定ムル所以ハ右ノ職務ニ就クヘキ者カ免狀交付ノ際試験セラレタル或ル理論上ノ智識及實際上ノ技倆ヲ有スヘシトノ確信ヲ得ルカ爲ナリ

所有權ヲ侵スコトナクシテ免狀受有者ヨリ之ヲ剝奪スルコトハ到底ナシ能ハサル所ナルヘシ其ノ修得シタル所ヲ保證シ其ノ年金ノ計算ヲ爲スカ爲ニハ免狀受有者ハ免狀ヲ保存スル權利ヲ有ス然レトモ次ノ事實ハ確實ナリ即チ或ル時期ニ於テ其ノ智識及職業的技術失ハレ或ル特定ノ職務ニ關シテハ最早空名ニ過キササル免狀ヲ交付シ置クコトニ満足シ居ルハ法ノ精神ニ反スルコトトナルヘシ右ノ事實ヨリ次ノ如キ第一ノ結果ヲ生ス即チ免狀受有者ニシテ例ヘハ盲者トナリ記憶力ヲ喪失シタル者一言ニシテ云ヘハ無能力者トナリタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スル權利ヲ失ハサルヘカラス他方免狀ノ交付ハ之ヲ受クル者ノ爲ニ之ニ相當スル職務ヲ適當ニ遂行シ得ルノ嚴肅ナル推定ヲ與フルモノナルコトヲ認ムルコ

トヲ得然レトモ如何ニ右ノ推定有力ナルニセヨ事實ハ之ヲ打破スルコトヲ得ルモノナリ重大ナル過失ヲ犯シタル者自己ヲ制禦スル力ナキコトヲ示シタル者必要ナル智識ヲ用フルコトヲ得ス又ハ之ヲ有セサルコトヲ曝露シテ無能ナル行爲ヲ爲シタル者等ハ自己ノ無能力ナルコトヲ證明セルモノトス右ノ點ヨリ第二ノ結果ヲ生ス即チ職務上ノ過失ニ依リ其ノ免狀ヲ行使シ得サルコトヲ證明セル免狀受有者ハ之ヲ利用スルノ權利ヲ失ハサルヘカラス

最後ニ免狀ハ單ニ航海上ノ資格ヲ表ハスモノニアラスシテ之カ資格者ノ爲ニ特別ノ性質ヲ有スル權利ヲ發生セシムルモノナリ船内ニ於テ公權ノ一部ヲ附與セラルル船長ハ一種ノ司法官ナリ法律ハ乘組員ニ船長ニ對スル服從及尊敬ノ義務ヲ課スルモノニシテ之ニ反スルトキハ制裁ヲ加ヘラルルモノトス右ノ事情ヨリ觀レハ指揮權ノ行使ハ完全ナル尊敬ヲ受クルノ資格アルコトヲ要スルモノニシテ且信用シ難キ者ヲ除外セントセハ之等ノ者ノ過去カ船主ニ知レサルコトアリ得ルモノナレハ之ヲ單ニ船主ニノミ委ヌルコト得サルモノナルヲ以テ體刑又ハ加辱刑ニ處セラレタル免狀受有者ハ其ノ免狀行使ノ權利ヲ喪失スヘキコトヲ認メサルヘカラス況ンヤ現法律ニ定メタルカ如ク免狀受有者カ其ノ職務執行中犯シタル罪ノ爲メ處刑セラレタルトキハ其ノ免狀ノ利益ノ全部又ハ一部ヲ剝奪セラレサルヘカラス

之機關士ノ免狀ニ關シ一八五二年ノ法律第八十七條ニ依リ定メラレ更ニ一九〇七年七月十七日附法

律第十七條ニ依リ確メラレタル原則ニ從ヒ第二十三條ノ制定ノ基礎ヲナスモノニシテ商船廳長官ハ取締ノ目的ヲ以テ免狀ニ附隨スル特權ヲ停止シ又ハ之ヲ廢止スルノ權限ヲ保持スルモノナレトモ體刑又ハ加辱刑ニ處スル場合ニ非サレハ直接ニ右ノ權限ヲ行使スルコトヲ得ス右ノ場合以外ニ於テハ右長官ハ商船士官ノ眞實ノ職業的裁判所ヲ構成セル調査委員會ノ意見ニ基クニ非サレハ判決ヲナスコトヲ得ス法律ハ右裁判管轄ノ組織ヲ詳細ニ亘リ規定セサリシカコハ士官ノ地位ニ關スル一八三四年三月十九日附法律ノ場合ト同シク調査委員會ノ組織及權限ノ規定ハ之ヲ命令ニ委ヌル方望マシト認メタレハナリ然レトモ第二十三條ハ右委員會構成ニ必要ナル各種ノ要綱ヲ定メタリ即チ右委員會ハ海事登錄局長又ハ主席海事登錄官ニ依リ主宰セラルヘク委員トシテハ海事法規及慣習ニ通曉セル他ノ海事登錄官一名遠洋航路船長一名最後ニ問題トナリシ免狀ト同種ノ免狀ヲ受有スル者ニシテ四年間其ノ職ヲ執リタルモノ二名ヲ包含スヘシ職業的構成分子ニ大ナル地位ヲ與ヘタルヲ知ルヘシ

海軍士官ニ對スル規則ト同様ニ大臣ハ調査委員會ノ意見ニ基キ判決スルニ當リ當事者ノ利益ノ爲ニ非サレハ之ヲ變更スルヲ得サルヘシ

第二十三條ハ單ニ船長ヲ目的トスルモノニアラサルコトヲ注意スルノ要アルヘシ凡テノ免狀受有者ハ右條文ノ適用ヲ受クルモノニシテ同様ノ保障ハ凡テノ免狀資格者ニ附與セラルルモノトス更ニ右條文ハ一般的用語ヲ以テ條文ノ適用セラルヘキ場合ヲ限定的ニ定ム即チ名譽ニ反スル過失、

職務執行上ノ重大ナル過失又ハ身體的無能力カ存在セサルヘカラス

名譽ヲ毀損スル過失又ハ職務上ノ過失ニ付テハ手續ヲ開始スル際ハ事實カ正確ニシテ具體的ナルヲ要スルコト勿論ニシテ專斷ニ導ク虞アルヘキ職業的無能力ノ稍々現實的ナル一般的状态又ハ失行ノ稍々一般的ナル嫌疑ニ依ルヘカラス

身體的無能力ノ場合ニ付テハ大臣ノ行フ活動ハ最早紀律的ノモノニアラスシテ更ニ正確ニ云ヘハ行政的ノモノナリ右ハ年齡又ハ不具ニ依リ無能力トナリタル士官ヨリ指揮權ヲ剝奪スルカ爲ニ行ハルルモノニシテ此ノ場合専門的醫師ノ協力ヲ得ヘキコト勿論トス

此ノ點ニ關スル行政的ノ行動ハ特ニ慎重且適當ナラサルヘカラス右ハ治安ヲ保障スルヲ目的トスヘキコト固ヨリナルモ最早航海スルノ意思ナキ免狀受有ノ老士官ヲ調査委員會ニ召喚スルノ煩ヲ無益ニ加フヘカラサルモノトス

従前ノ法制ノ下ニアリテハ刑ノ期間ハ裁判所カ宣告スル度毎ニ定メラレ居タリキ右ノ期間ノ最長限ハ危難ニ遭遇セル船舶ノ放棄ノ制裁トシテ五年ニ及ヒタリキ(一八五二年大統領令第八十條)剝奪ハ累犯又ハ船舶全損ノ場合ノミニシテ之ニ反シ大臣カ刑ヲ宣告スル場合ニハ(第八十七條)其ノ期間ハ任意ニ定メラルモノナリキ

新法ハ更ニ確定的剝奪ヲ認ムルモノハ現實ノ明文ニ依リ現ニ定メラレタル場合尙ソレ自身證明セラ

ルル著シキ身體的無能力又ハ體刑若ハ加辱刑ニ處セラレタル場合ニ限ルモノトス其ノ他ノ凡テノ場合ニ於テハ最長限ハ三年ニシテ從テ刑ハ決シテ任意ニ定メラルモノニアラス

第二十三條第三項ハ次ノ如キ原則ニ基キ制定セラレタルモノナリ即チ海員特ニ船内ニ於テ權限ヲ附與セラレタル職務ヲ有スル士官カ職業的性質ノ犯罪ヲ犯シ之カ爲確定的トナレル刑ニ處セラレタルカ如キ場合ハ常ニ紀律上ノ見地ニ基ク情況ノ審査ヲ爲シ且大臣カ適當ト認メタルトキハ右ノ者ヲ調査委員會ニ送致スルノ要アル無能力者又ハ無資格者ナリト推定スルモノトス

新法制ハ斯クシテ一八五二年三月二十四日附大統領令第八十七條ノ採用セル舊法ノ原則ニ復歸シタルモ他方裁判所ニ對シ刑事制裁ノ名義ヲ以テ免狀ヲ剝奪スル權限ヲ附與セル同令及一八九一年三月十日附法律ノ規定ヲ支配セル原則ト關係ヲ斷テリ即チ以前ニ於テハ權力分割ノ原則ヨリ生スル規則ニ對スル憂フヘキ牴觸アリタルモノナリキ抑々免狀ハ行政官廳カ其ノ性質及科目ヲ定メタル試験ノ結果行政行爲ニ依リ資格者ニ授與シタルモノナリ右ハ公ノ秩序ヲ高ムル使命ヲ果スノ能力ヲ附與セルモノニシテ是ヲ以テ免狀受有者ハ政府ノ權威ヲ高ムルモノナリ從テ免狀ニ附屬セシメラレタル權能ヲ剝奪スルノ權限ハ行政官廳ニノミ屬スヘキモノトス

更ニ此ノ場合職業的犯罪ニ付裁判所ニ依リ科セラルヘキ刑事制裁ト本質的ニ區別スヘキ行政處分ナカルヘカラス之右ノ二箇ノ處分カ第二十三條所定ノ場合ニ於テ相次テ行ハルルモノ紀律上ノ手續ハ司

法上ノ判決アリタル後ニ行ハルコト勿論トス—何等法律ノ一般の原則ニ對シ牴觸スル所ナク寧ロ反對ニ全ク合理的且論理的ナル所以ナリトス

尙此ノ場合適當ニ且嚴格ニ過キサル様行動スルコト肝要ナルヘシ

然レトモ或ル資格者ニ免狀ヲ受有セシムル所以ハ其ノ資格者カ法規ニ適應シ且其ノ依託セラレタル特ニ重大ナル利害關係事項ノ善良ナル管理ニモ適應スル如ク之ヲ使用スル爲ニ外ナラサルコトヲ屢々例示シ且動モスレハ國家ヨリ交付セラレタル免狀ノ性質及之ニ課シタル職業的及道德的性質ノ義務ヲ十分考慮セサル航海者ニ對シ右ノ事實ヲ示スハ必要ニシテ且海運並海員ノ利益ニ合致スルモノナルヘシ

吾人ハ尙最近ニ於テ船長カ海員名簿ヲ備ヘス又ハ航海許可書ヲ有セス或ハ特ニ士官ニ關シ成規ノ構成ヲ缺ク乗組員ヲ以テ海上ニ出ツル如キコトヲ敢テシテ海事官憲ヲ侮辱スルヲ見タリ更ニ吾人ハ毎年或ル大漁業地域ニ於テ漁業船長ノ制度アルニモ拘ハラヌ船主カ航海ノ實際ノ指揮ヲ我規則ニ規定セサル職タル所謂漁獵長ニ委ネ唯表面上規則ノ要求ヲ充スカ如ク見セシムル爲ニ海員名簿ニハ船長ト記載シアルモ全ク許スヘカラサル屈辱的棄權ニ依リ常用語ニ從ヘハ單ニ「持參人」タルニ甘シ且船内ニ於テハ實際ニ於テハ下僚又ハ普通船員ノ役目ヲ果スニ過キサル免狀ヲ受有スル船長ヲ右ノ漁獵長ト相並ヘテ乗船セシムルヲ見タリ右ハ船長、船主及我船舶ノ三者ニトリ相應シカラサル種類ノ恥ツヘキ習

慣ナルヲ以テ之ニ對シテハ事件發生ノ場合一九二六年十二月十七日附紀律法第四十五條及第二十三條第三項ヲ相次テ適用シ峻烈ニ訴追スルノ要アルヘシ

右ハ一般的ニ第四十二條（暴行）及第五十六條（酩酊）所定ノ犯罪ノ責ヲ負フヘキ船長、士官又ハ水火夫長及第四十三條、第八十三條、第八十四條及第八十五條所定ノ條件ニ於テ其ノ義務ヲ著シク怠リタル船長ニ關シテモ亦同様タリ得ヘシ

海事登録官ヲシテ法律第二十三條第三項所定ノ條件ニ於ケル意味ノ提議ヲ余ニ爲サシムルカ爲輕罪裁判所カ船長又ハ海員ニ對シ凡ユル處罰ヲ宣告シタル後ニ於テ右裁判所ノ長カ其ノ判決ノ寫ヲ受刑者ノ登録區又ハ船籍港ノ登録官ニ送付スルノミナラス右ノ事件ヲ初審裁判所ノ檢事ニ提起シ右ニ關スル訴訟手續ノ凡ユル經過ニ付事件ヲ注意スヘキ登録官ニ對シテモ右ノ寫ヲ送付スル様訓令ヲ發セラレシコトヲ司法大臣ニ要求シタリ

事件ヲ調査委員會ヘ移付スルトキハ原則トシテ訴訟手續ノ全期間中免狀ニ附屬スル特權ヲ喪失セシムルモノナルモ第二十三條ノ末項ハ右ノ原則ニ對スル緩和ヲ規定セリ即チ手續ハ通常ノ期間以上ニ延長セラレルコトアリ得ルモノニシテ又最初指摘セラレタル責任ハ豫備的調査ノ期間中ハ緩和セラレ得ルモノナルヲ以テ斯ル場合同情アル衡平ノ處置ヲ採ルコト望マシカルヘシ仍テ法律ハ大臣カ特別ノ決定ニ依リ確定的決定アル迄一時的ニ士官ヲシテ其ノ受有免狀ノ特權ヲ維持スルコトヲ認メタリ

之ヲ要スルニ第二十三條ノ規定ノ全體ハ從前ノ法制ニ對シ法律的ノ進歩ヲ來シタルノミナラス商船士官ノ組合ニ對シ完全ナル規則ト結合的保障ノ制度ヲ齎セリ斯クシテ不信用ナルニモ拘ラス他ノ善良ナル士官ニ道德上及物質上ノ損害ヲ與ヘ免モスレバ指揮權ヲ獲得セントスルカ如キ墮落シ又ハ落伍セル或ル士官ヲ容易ニ組合ヨリ除外シ得ルコトトナルヘシ

之ニ對シ善良ナル士官又ハ一時的ニシテ宥恕セラルヘキ危機ヲ通過シタル者ハ專横及其ノ專横ヨリ生シ易キ過失ノ機會ヲ避ケ得ルノ其ノ利益アルヘシ

第二十四條ハ商船廳長官ハ免狀受有ノ士官カ其ノ職務執行ニ際シ重大ナル過失ヲ犯セルトキハ第二十三條第一項及第二項ニ定ムル所ト同様船内ニ於ケル職權ノ行使ヲ禁止スルノ處置ヲ執リ得ヘキ旨ヲ定ム船内ニ於ケル善良ナル秩序ノ維持ハ例ヘハ前科者ノ如キ危險ナル人物又ハ胡散ナル人物カ其ノ以前ノ處罰又ハ顯著ナル無能力ノ爲眞實ナル職業上ノ無能力者トナサレタルカ如キ場合ニ於テハ之ヲ商船ニ乗船セシメサルコトト密接ナル關係ヲ有スルモノナリ斯クノ如クニシテ第二十四條ハ第四十六條、第五十一條、第五十二條、第六十條、第六十一條、第七十三條、第七十四條第五項及第六項等ニ規定セラルルカ如キ或ル重罪又ハ輕罪ヲ犯セル船員ニ對シ之ヲ適用スヘク特ニ水火夫長又ハ監督等ノ如ク船内ニ於テ船員ニ對シ或ル種ノ權限ヲ有スル職務ヲ行ヒ且斯ノ如キ權限ヲ有スルカ爲ニ完全ナル尊敬ヲ受クヘキ海員ニ關スルトキハ殊ニ然リトス

一般的安全ノ爲ニ第二十四條ハ例ヘハ能力ノ衰弱ノ爲肉體的無能力トナレル凡テノ者ニ對シ一時的又ハ確定的ノ職務執行ノ禁止ヲモ定ム

右ノ條文ニ依リ定メラルル禁止ハ關係者ノ審問セラルル對質的調査ヲ經ルニ非サレハ之ヲ宣告シ得サルコト固ヨリ當然ノコトトス

一九二六年十二月十七日附紀律及刑罰法ノ主要規定ニ付以上ナサレタル解説ハ右ノ法律ハ其ノ補足セル海上勞働法ニモ劣ラス海事法制ノ根本的改革ヲ爲セルモノナルコトヲ示セリ

從テ余ハ之カ適用ニ際シ重要ナル任務ヲ果スヘキ海事登錄官ニ對シ此ノ重要ナル法律ヨリ生スル新海上刑法ヲ特ニ慎重ニ研究スルコトヲ如何ニ薦ムルモ過キタリトナスコトヲ得ス

同様ノ勸告ハ其ノ紀律上ノ權限カ一層明カニセラレ且過去ニ於ケルカ如ク司法警察官ノ權能ヲ依然トシテ附與セラルル船長ニ對シテモ向ケラル凡テノ訴追ハ若シ犯罪ノ審理及豫備的訊問ニ關シ本法ニ定ムル形式ニ正確ニ合致セサルトキハ根本的ニ無効トナルノ危險アルコト船長ノ忘ルヘカラサル所トス曩ニ發セラレタル多數ノ訓令ハ右ニ關スル船長ノ任務ノ重大ナルコトヲ既ニ之ニ示シタリ之等ノ訓令ハ何等其ノ價值ヲ失ハス海事犯罪ヲ審理スヘキ裁判所カ如何ナルモノニセヨ刑事訴訟法第三十二條、第三十三條、第三十五條乃至第三十九條、第四十三條及第四十四條ニ依リ定メラレタル規則ニ從

6710
14

ヒ紀律及刑罰法第二十八條所定ノ審査ヲ行フハ常ニ船長タルモノナリ凡ユル手續ハ凡テ此ノ審理ノ結果如何ニ依ルモノニシテ若シ或ル船舶内ニ於テ犯サレタル明瞭ナル特質ヲ有スル犯罪カ懲罰セラレサルカ或ハ其レカ爲ニ其ノ後船内ニ屢々不紀律カ發生シタリトセハソハ多クノ場合ニ於テ船長カ一八五二年三月二十四日附舊法所定ノ紀律上ノ手續ヲ履行シ得サルカ又ハ右ニ關スル法律ノ明確ナル規定ニ從フコトヲ躊躇セルカ爲ニ外ナラサルコトヲ斷言シ得ルモノナリ

紀律及刑罰ノ新法制カ實施セラレントスルニ當リ船内紀律ノ根本條件ハ船長カ其ノ權限ヲ適當ニ行使スルコトヲ知り自己ノ處理スル警察上ノ一般權限ヲ慎重ニ行使シ且船内ニ於テ行ハレタル犯罪行爲ニ直面セルトキハ實際ニ司法官ノ如ク行動シ且其ノ審理ヲ無效ナラシムルノ危險ヲ慮リ法律所定ノ凡ユル手續規定ニ正確ニ準據スヘキコトヲ船長ニ留意セシムルコト必要ニシテ且右ノ點ニ關シ同様船主及航運會社ノ凡エル注意ヲ喚起スルノ要アルヘシ

右ノ點ニ關シ從前ノ制度ヲ持續シ且船内ニ犯罪行ハレタル場合正當ノ理由ナクシテ必要ナル審理ヲナスコトヲ拒ミ又ハ之ヲ怠リタル凡テノ船長ヲ處罰セル新法第四十三條ノ規定ニ付キ注意ヲ喚起スルコト無益ニ非サルヘシ

乗船セル陸海軍軍人ノ紀律及刑罰制度ニ關シ第一條末項ノ規定セル法規的性質ノ規定ハ命令ノ定ムル所トナルヘク之ニ關シテハ余ハ既ニ起草ニ著手シタルヲ以テ後日ニ至リ貴下ニ通達スルニ至ルヘシ

寄贈

12.4.10
圖書館

昭和四年三月二十七日印刷
昭和四年三月三十一日發行

發行者 遞信省管船局

印刷者 小川邦孝

印刷所 東京製本合資會社

電話銀座 六六六
五五五
二一〇

東京市京橋區瀧山町六、七番地

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

發行部

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

東京醫學本會

